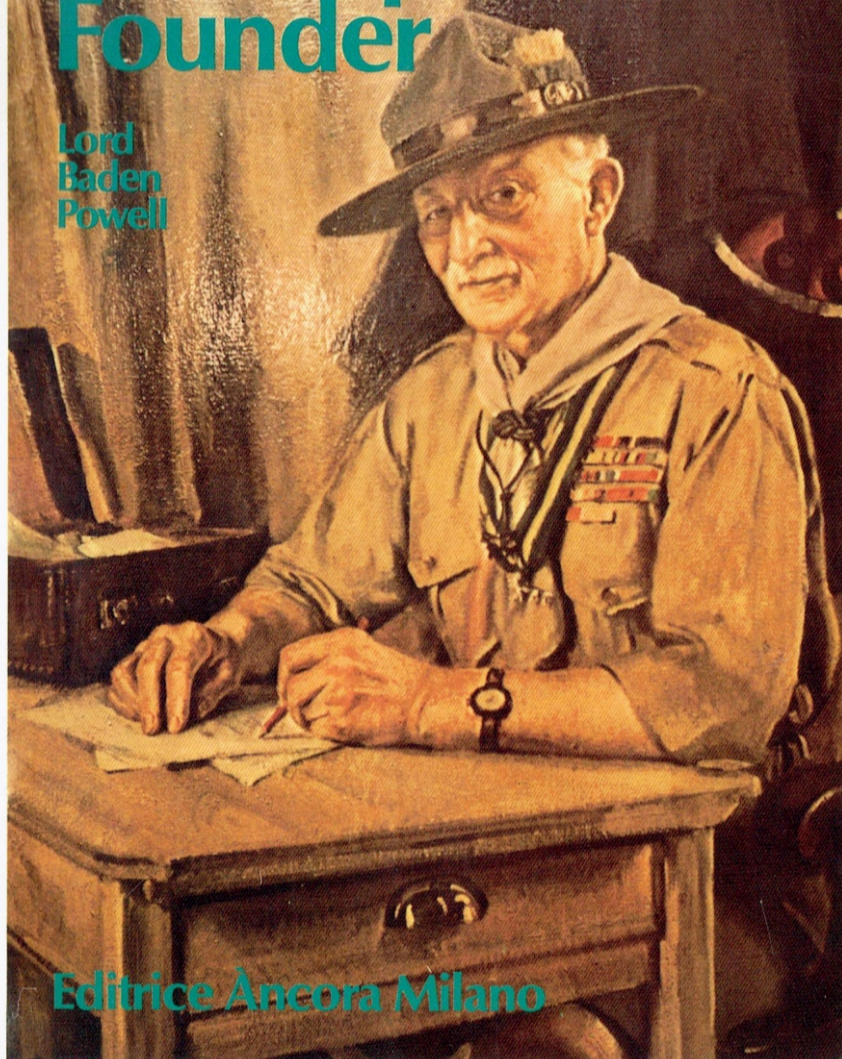


Footsteps of the Founder

Lord
Baden
Powell



Editrice Ancora Milano

京都連盟80周年記念出版



はじめに

県コミッショナー

篠 田 常 生

京都連盟創立80周年を記念して、メインテーマ「高めよう“やさしい心”と“スカウトの技”」、サブテーマ「21世紀へひろげよう、感謝の心でスカウトの輪を！」のもとに、関係各位の情熱と努力によって、多くの意義深い記念事業が展開されてきました。また、ここに記念事業の一環として、記念出版「B・Pの足跡」を訳者の於保信義氏の絶大なるご理解と協力を得て、刊行することができますことは大変ありがたく感謝申し上げます。

今やスカウト運動は、全世界に加盟国140ヵ国、1,800万人の加盟員数を擁する、国際的で平和的な青少年健全育成団体として発展するに至りました。これは創始者ベーデン・パウエルの高貴な理念を堅持しつつも、常に時代のニーズに対応する柔軟性を発揮してきたからであります。

本書には創始者ベーデン・パウエル自らのすばらしい言葉によって、独創的なインスピレーションや、スカウティングの基本理念が示されており、あらゆる活動の場面で私たちに示唆と、感動を与えてくれる事と確信致します。創始者ベーデン・パウエルが残した言葉の真理をご理解いただき、指導者研修や種々の活動に広くご活用いただければ幸いです。更にその上で地球的規模での視野と見識と強い信念をもって、21世紀に向かって楽しいスカウティングを展開しようではありませんか。

刊行に当たり、関係各位のご尽力と他方面からのご協力ご支援に感謝し、ボーイスカウト運動に対する理解と認識が一層高まることを期待します。

邦訳版について

本書は、マリオ・シカ著「創始者の足跡」（1983年改訂版）の全訳である。初稿は（1981年版）、1988年4月から1991年2月までスカウティング誌に「たどってみようB・Pの足跡」として連載されたものだが、連載中に引用文を100近く追加した増補改訂版が発行されることが分かり、その版によることにしたため、元の訳文も全面的に見直した改訂版である。

引用文の頭につけた番号は、原書にはなく、読者が項目を探す上での便宜を考えて訳者がつけたものである。原書の項目は、アルファベット順となっているが、順番はそのままとし、巻末の索引はこの文頭の番号で引けるようにした（スカウティング誌に連載したものと番号は異なっている）。引用文の下に小文字で出典が示されているが、すでに邦訳があるものについては探せるだけは調べて掲載した。

訳文には、訳者の思いや思想が投影したものなので、訳文が異なることも必然であると思っている。訳者が英語を専門的に学んだことがなく、もともと自分自身の学習のために訳したもので、スカウティング誌連載の折に試訳としたのはこのためである。

（訳者）

創始者の足跡

ボーイスカウト運動の創始者

ロバート・ベーデン-パウエル卿

の著作からの650余りの引用文

資料収集と編集

マリオ・シカ

訳 者

於 保 信 義

英国連盟総長-世界スカウト委員会議長

ウィリアム・グラッドストーン卿の序文

世界スカウト事務局事務総長

ラズロ・ナジによる紹介文

初 版 : 1981.6

増補第2版: 1984.4

本書（原書）は、スカウティング75周年記念事業の一つとして世界スカウト委員会の承認により出版されたものである。

序 文

マリオ・シカが、B-Pの著作から選んだ、この素晴らしい引用文集の序文を書くよう求められたことを、私は大変光栄に思う。アズロ・ナジ氏が、本書の紹介で述べていることだが、この本は、通読よりも、むしろ拾い読みに適した本である。しかし、青少年の訓練や教育について、非常に真剣に考えさせられることなしに、ほんの数分間でも、この本に目を通すことは出来ない。

B-Pの才能は、その当時の人々によって、認められたものである。彼独特の思想と表現方法は、多くの人々から賞賛され、彼の著作に対する国内、国外における評価も同様であった。しかし、必然的に、彼を時代遅れだと非難した時代もあった——スカウトとガイドの運動が世界中でますます盛んになり、多くの若者とそのリーダーたちが熱心に活動しているという事実にもかかわらずである。今日B-Pは再び本来の地位を得、二十世紀初頭の偉大な教育思想家の一人として認められている。この五十年以内にB-Pの名声は不動のものとなり、より多くの人々が、彼の示唆を求めるであろう。また、それだけでなく、現代の教育思想の基盤となる考え方の多くが、彼の業績の賜物であることを、歴史が正しく証明するだろう。

B-Pは教師としての二つの優れた資質である、少年に対する深い理解と、彼らに楽しみながら学ばせるコツとを備えていた。今では、教育の中で比較的ありふれたものになっている概念の大部分も、彼が導入した当時は、革命的であった。特に、実行によって学ぶ、誤りから学ぶ、一人の個人として学ぶよりは、グループで学ぶことなどがそれに当たる。B-Pは純粋に知的で肉体的な資質については、勤勉と忍耐が重要であるということを認識しており、余暇を建設的かつ楽しく過ごすことの社会的重要性を理解していた。また、社会的、経済的、政治的、国際的違いは、もし、様々な背景の若い人々が共通の課題と経験を通して、お互いを知るならば、小さくすることができることを如実に示した。そしてさらに、彼は自然保護の先覚者でもあった。

自らの思想を端的に若者に訴えていく彼の天才的な表現力がなければ、こ

れらは全て重要なものであるにもかかわらず、比較的目立たないものであったに違いない。いくつかの彼の文章は、今では古くさく見えるかもしれない。しかしその大半は初めて発表された時と同じ位、今なお新鮮で生き生きとしたものである。現代的な響きをもたないものですら、ある種の懐かしい魅力を持ち、その意味するところも明白である。

我々英国人は、創始者B-Pと同じ国民であることを誇りに思っている。B-Pのスカウティングの多くがインド、アフリカで考案され、その最たる成果がアメリカと極東であげられているという事実にもかかわらず、ある種七光り的な栄誉に浴しているような気持ちすら抱いているのである。しかし、私は国際的なスカウティングの場に足を踏み入れてからというもの、英国人よりも、その他の国々の人々の方がB-Pの格言をよく知っていることに、しばしば恥ずかしい思いをさせられてきた。よって、この引用文集が英国はもちろんのこと、世界中から然るべき歓迎をもって迎えられようであろうと確信する次第である。

E. W. グラッドストーン

英国第5代総長（訳注；在任は1972年-1982年）

世界スカウト委員会議長

1980年8月

本書の紹介

スカウティングは「運動」である。ウェブスター辞典によると運動とは「特定の方向、または特定の目的に向かっての前進」を意味し、またオックスフォード英語辞典は、運動とは特定の方法で物事を動かすことと定義している。言葉の定義がどうであれ、運動が変化を伴うことは明らかである。過去十年間、スカウティングには革新的な変化が見られた。一時期は主としてやや恵まれた階級の少年少女たちの余暇活動であったものから、次第に全ての人々に開かれた教育運動へと変貌していったのである。これこそ、従来の基本原則に忠実でありながら、同時に将来を見据えた変革であろう。今日的であること、役に立つこと、忠実であること——これらは、急速に変わる世界に留まり続けようとする運動にとっての三つの「智の柱」である。スカウト活動が相次ぐ成果をあげ、加盟員も増え続け、活動が世界的なアピールを持ち続けていることから、この運動が今日まで若い人々の関心と熱意を保っていることは明らかである。ボランティア運動として、もし、そのプログラムが適切さを欠いていたなら、多数の加盟員を迎え入れるどころか、むしろ失ったに違いない。社会に対する有用性は、加盟員の両親、宗教団体、協会組織から常に支持されていることから推し量ることができる。

このように、スカウティングは明らかに今日的であり、かつ有用性を保ち続けている。もう一つの重要な三番目の柱は、我々の創始者であるロバート・ベーデン・パウエルによって敷かれた原点、原則、方法に忠実であるということである。言わずもがなだが、これらのいわゆる「基本理念(Fundamentals)」に忠実でなければ、我々はとっくに運動の本質を見失ってしまっていたに違いない。だが、今までのところ、そのようなことは起こっていない。

しかし、医学論文が五年で、物理学の本は二年で時代遅れになるものがある現代において、創始者の著作はどの程度、通用するのであろうか？

およそ75年前に出版された「スカウティング・フォア・ボーイズ」の本質的な原理は、長い年月を経て、なお健在である。ベーデン・パウエルの思想

の中には、単に生き残ってきただけでなく、最初に書かれた時と同じように、今日でもなお新しいものがある。この点に関しては、班制度について思い起こすとよい。班制度の基礎となっているのは、今日「グループダイナミックス」と呼ばれるものである。また、スカウティングの基本的教育原則である自己学習(self-education)の概念も、ベーデン・パウエル時代には、あまり日の目を見ず、後になってクラッパレード（訳注；Eduard Claparede, 1873-1940 スイスの児童心理学者、リトミック（律動教育）の主唱者）、モンテッソーリ（訳注；Maria Montessori, 1870-1952 イタリアの女性教育家・医師で1907年にモンテッソーリメソッドを提唱した）、フレネ（訳注；Celestin Freinet, 1896-1966 フランスの教育実践者）といった幾人かの教育学者が、それぞれ、ほぼ同時に提唱したことになる。

ベーデン・パウエルの考え方は、発表された当時、明らかに進歩的なものであったという事実にも拘らず、この教育界の偉才は諸外国でもあまねく認められた訳ではなかった。ベーデン・パウエルが、よく知られていなかった訳ではない。ベーデン・パウエルが時代と大英帝国の必然的な産物であり、当時の社会的価値観が、それ以後、大きく変わってしまったからである。公式的に見ても創始者は「輸出」のためではなく、英国の若者の熱望と自国の明白な要求を満たすためであったことを忘れてはならない。

ベーデン・パウエルは、スカウティングを自分から広めようとはしなかったのに、多くの他の国々で、直ぐにまねられたということに、最初は驚いた。確かに当時は、スカウティングを広める国際的な組織はなく、この運動が急速に世界中に広まったのは、自発的なものだった。何故だろうか？それは、ただ単にベーデン・パウエルのビジョンの世界性（普遍性）により、英国以外の文化、伝統、社会的必要性にも適用できるメッセージだったからである。もし、これらが全て本当なら、何故ベーデン・パウエルの思想の中には、今日つまらなく、矛盾していたり、また内容にもムラがあるように見えるものがあるのだろうか？つまらなく思われるという点については、今から75年後に、今日の最も進歩的な教育者のどんな概念が残るか確かめてみればよい。明らかな矛盾と思われるものも、よく読めば、創始者の思想の論理的な展開であることが分かる——一体84年の人生において、考え

方が進化していかないということがあるだろうか。

最後に、均質でないということだが、この点については、専門的教育者は同業者や将来の専門家のためにのみ書いたのだが、ベーデン-パウエルは多くの著作をなし、彼の発言は様々の場で、子供たち、青年、ボランティアリーダーやいわゆる一般大衆に向けてなされたものであることを思い起こしていただきたい。

職業外交官であるボランティアスカウターがベーデン-パウエルの著作のほとんどを精力的に調べ、この引用文集として出版したことは素晴らしいことである。この本は聖書、コラーン、タルムード（訳注：ユダヤの律法）、マルクス全集のような本の抜粋にしようとしたものではない。この本は、様々な問題について、様々な状況でベーデン-パウエルが述べた考えを集めたものである。この本は、スカウト運動の関係者、とりわけスカウトリーダーに、男女を問わず、折りにふれては目を通していただき、スカウティングの連帯の基盤となったこの運動の原点に立ちかえっていただくためのものである。

ラズロ・ナジ

世界スカウト事務局事務総長

1981年3月

編者のノート

本書は、創始者の書いたおよそ20冊の本とザ・スカウト、ザ・スカウター、それにジャンボリー誌への数え切れない寄稿文、その他の出典から抜粋した650以上にのぼる引用文集である。全てではないが、B・Pの著作の大抵のものは調べて照合した。

ここにはスカウト・メソッドとその主な見解を詳しく述べた多くの引用文に加えて、B・Pの独特の見方、または哲学を伝えるものも収録した。したがって、本書はスカウトリーダーやトレーナーに役立つだけでなく、教育学の学生、歴史家、あるいは単に夕食後にテーブルスピーチをする人たちにも役立つものである。

B・Pのスケッチから選んだ挿絵も掲載した。彼は、しばしば自分の考えを絵にして示すという芸術的な技能を駆使しており、彼の本は、それ無しでは成り立たないものである。

引用符を付けた引用文は、B・P以外の人のものか、よく知られた言葉でB・Pがしばしば好んで引用したものである。最も典型的なものか、重要なものだけ再び掲載した。その内、出典の分かるものは、脚注に示しておいた。所々、B・Pの句読点と大文字を改めている。「B・Pの文体」を可能な限り保つために、原文を大幅に現代文に直すことはしなかった。しかしながら、ほんの僅かではあるが、単語や表現の中で、今日分かりにくかったり、誤解を招く（一例だけだが）かもしれないと思われるものに関しては、同義語に置き換えた（*）

（*）ここに、完全なリストを挙げておく。

原書頁	原文	改訂
21	grouser	grumbler
37	grouse	grumble
52	make love to	play at love with
59	jolliest	most enjoyable
71	jolly	merry
75	jolly	pleasant

83	insects	animals
123	jolly	enjoyable
145	grousing	grumbling

(訳注；翻訳不能なので、原文どうりあげておいた)

なんら結果に影響しないような、ほんの少しの結果上の置き換えもしている（例えば、引用した段落よりも前に出てきた特定の主語を「彼」、「彼女」あるいは「それ」というふうに、置き換えた）これらの変更については、示していない。些細な事柄やB・Pが言わんとすることと全く無関係な単語や文章は、しばしば省略した。考えてみると、これらの改訂を例えば、括弧に入れた三つ点の省略符号などで示す必要はなく、読者にとってもわずらわしいことであろうと思われる。長年の間に、莫大な量のB・Pの著書(特にスカウティング・フォア・ボーイズと隊長の手引きの世界友愛版)に改訂が加えられていることを考えれば、無意味ですらある。

[]内の単語は、編集上挿入したものである。しかし、強調は全てB・P自身によるものである。

客観的に見て、明らかな矛盾でも敢えて訂正することはしなかった。ここに収録したのは、様々な文脈から引用され（引用をどこから始めて、どこで終わるかは任意に決めざるをえない）様々の状況で、様々な読者を対象にして書かれた文章であり、その動機も異なるわけである。従って、例えば「スカウティング」やその「目的」、「宗教」について、非常に多くの定義がなされていても当然であろう。

最後に、同じ項目内の引用文は書かれた年代順に並べるようにした。これは、読者がB・Pの思想の展開を追えるようにしたものである。しかしながら、これは常に可能だったわけではない。というのは、止むを得ない理由で、一般論から各論の順に並べる必要があったり、あるいは引用文の正確な日付が確定できなかったからである。B・Pの思想の展開が当然ではあるが、複数の項目間に及んでいるものもある。これを把握するために、本書では項目の終わりに相互参照の項目を記載した。

私に資料や示唆を与えてくれた多くの友人に感謝の意を表したい。長い間、世界事務局で用いられてきたB・Pのいくつかの引用を、私に提供してくれ

たパーシー・シーボルト氏には、特に感謝したい。世界事務局の前司書モード・ムレイ夫人には、事務局にある豊富なB-Pの著作を自由に引用させていただいた。オーストラリア連盟ヴィクトリア支部のリチャード・ミルン氏（Facets of B-P の編者）には、原稿のチェックと様々な示唆を頂き、タイムズ新聞社は、1918年7月14日付けでタイムズ紙に掲載されたB-Pの手紙の掲載を許可して頂いた。そして、特に世界スカウト委員会の前議長であるボウアー・カーティ氏には、本書全般に目を通して、貴重な忠告をして頂いたことに感謝する。

本書の表紙に使ったサイモン・エルウェスの素晴らしい肖像画と1924年のフォックスリースにおける世界ガイドキャンプでの総長の歓迎演説からの二つの引用文は、ガールガイド英国連盟の好意によって使わせて頂いた。最後に、このプロジェクトはスカウト運動の75周年記念のプログラムの一環として、世界スカウト委員会の承認のもとに行われたものであることを強調しておきたい。そして、この引用文の選択と配列は、私一人の責任である。

マリオ・シカ

1981年4月1日 ベルン

1983年8月1日 モスクワ

引用文献の略語

a) 単行本

AA	アフリカの冒険 (1937) (African Adventures)
AD-AC	冒険と不意の出来事(1934) (Adventures and Accidents)
Aids(1919)	隊長の手引き (1919) (Aids to Scoutmastership, 1919 edition)
Aids, WB	隊長の手引き (1944) 世界友愛版 (1944 World Brotherhood edition)
ATM	男への挑戦 (1936) (Adventuring to Manhood)
ATS	下士官と兵のための斥候の手引 (1899) (Aids to Scouting for N.C.O. and Men)
BBA	アフリカの鳥獣 (1938) (Birds and Beasts of Afrika)
BPO	B-Pの展望：スカウター誌からの抜粋 1957年版 (B-P's Outlook: Selection from The Scouter, 1957 edition)
CI	騎兵教典 (1885) (Cavalry Instructions)
DP	プレンペの没落 (1896) (The Downfall of Prempeh)
GG	ガール・ガイディング 1938年版の1966年再版 (Girl Guiding)
IM	インドの思い出 (1915) (Indian Memories)
LS	人生における暗礁とその対処の仕方 (1927) (Life's Snags and How to Meet Them)
LVL	人生大学からの教訓 (1933) (Lessons from the Varsity of Life)
MFB	少年たちのための射撃術 (1915) (Marksmanship of Boys)
MSK	さらなるケニアのスケッチ (1940) (More Sketches of Kenya)
OWF	ある老狼のお気に入り (1921) (An Old Wolf's Favourites)
PYOC	自分のカヌーは自分で漕げ (1939) (Paddle Your Own Canoe)
QTW	戦争のための緊急訓練 (1914) (Quick training for War)
RTS	ローバーリング・ツウ・サクセス 1922年版の1959年再版 (Rovering to Success, 1959 reprint of 1922 edition)
SFB, WB	スカウティング・フォア・ボーイズ 1946年世界友愛版 (Scouting for Boys, 1946 World Brotherhood edition)
SFB, 26th	同著 26版 (1951) (26th edition, 1951)
SRW	世界を巡るスカウティング (1935) (Scouting Round the World)

SYM	スカウティングと青少年運動(1929) (Scouting and Youth Movements)
WCH	ウルフ・カブス・ハンドブック決定版17版(1977) (Wolf Cub's Handbook, definitive edition 17th 1977)
WCH, 15th	ウルフ・カブス・ハンドブック15版(1960) (15th edition, 1960)
WSCD	スカウトたちに何ができるか(1921) (What Scouts Can Do)
YFBS	ボーイスカウトたちのための夜話(1909) (Yarns for Boy Scouts)
YKE	帝国の若き騎士たち(1916) (Young Knights of the Empire)
b) 定期刊行物	
HQG	本部広報(Headquarters' Gazette)
Jamboree	ジャンボリー (Jamboree)
TS	ザ・スカウター(The Scouter)

邦訳するにあたって参考とした翻訳書

スカウティング・フォア・ボーイズ	昭和47年修正版	絶版	日本連盟
スカウティング・フォア・ボーイズ	昭和55年改訂版		日本連盟
隊長の手引	昭和35年	絶版	日本連盟
ウルフ・カブス・ハンドブック	昭和35年		日本連盟
ローバーリング・ツウ・サクセス	昭和42年		日本連盟
スカウト運動	昭和49年		日本連盟
ベーデン・パウエル伝	昭和55年改訂再版		日本連盟
よい青少年を作るには	昭和41年再版		中央出版社
B-Pのことば	昭和58年2版		G S 日本連盟

冒険

- 1 少年たちというものは、古く汚れたあひるの池のような、つまらない場所であっても、冒険心を、そそられるものである。隊長も少年の心を持った大人 (boy-man)¹であれば、少年たちと同じように、そこに冒険を見い出せるものだ。

SFB(26版)308頁 旧邦訳531頁とAids, WB, 20頁 邦訳29頁

(1) この言葉の意味は、No480を参照のこと

- 2 どの少年も生まれつき、冒険心というものは持っている。しかし、建物が密集し、道のいりくんだ街中で冒険を見つけるのは難しい。

TS, 1932.10 (BPO, 153頁に再録)

野心

- 3 正しいことをしようという野心こそ、野心に値する。

RTS, 143, 168頁 邦訳216, 254頁 GS訳58頁

個人教育／技能章の項も参照のこと

できの悪い少年

- 4 指導者の目標は、見込みのある少年たちを援助してやるだけではなく、少々飲み込みの悪い少年に、それ以上の力を注いでやることである。

SFB(1940の序文)26版22頁 旧邦訳51頁

訳注：スカウト運動81頁に類似のものの訳がある

- 5 競技をする時に、勝ち抜き戦ができるくらいの人数がいたら、決勝戦は普通どおりに勝者同士がやるのではなく、敗者同士でやらせるべきである。つまり、ゲームは一番上手な者を見つけるのではなく、一番下手な者を見つけるようにすべきである。ちゃんとした者なら、賞を取るのと同じように、ビリにならないように努力するだろう。そして、こうした競技のやり方ならば、下手な者にとっても最高の練習となるのである。

SFB(26版)93頁 旧邦訳172頁とAids, WB, 45-46頁 邦訳70頁

(同趣旨のものがSFB, WB, 100-101, 142, 172頁 旧邦訳192-193, 245, 293頁)

- 6 少女たちは、一対一で競技するよりも、常に班対抗での競技をしなさい。そうすれば、一番下手な者も、チーム全体の平均点をあげようと

努力し、一所懸命やるだろう。そして、競技は班のためにするのであって、自分自身のためにするものではない。

GG,160頁

- 7 一番遅い者のペースにあわせなさい。以前、私は、スカウトのための特別礼拝から抜け出してきたスカウトに、牧師が、どんな話をしたのか、聞いてみたことがある。その少年は「男らしく振る舞えだったよ」と答えたので、「ほう、それはどういう意味かね」と聞いたら、「よく分らないけど、教会から出る時には、大人のようにちゃんと出ていきなさいということだと思うよ」と答えた。

Aids(1919年版),100-101頁

訳注：「男らしく振る舞え(Quit ye like men)」は聖書、コリントの信徒への手紙1 16章13節 サムエル記上 4章9節 また、この語には「立ち去れ」という意味もある

- 8 騎兵隊で、我々は最も遅い馬に足並みを合わせるよう教えられた。

SYM,63頁〔での悪い少年の訓練に特にふれて〕

ゲーム／班長たち／祈り／技能章の項も参照のこと

悪い習慣

- 9 悪い習慣とは、虫歯のようなものである。取り除いてしまえ。しかし、その隙間は埋めないといけない。それは単に、うわべを取り繕うためではなく、使うためにである。

LS,49頁 GS訳68頁

自制心の項も参照のこと

バランスの練習

- 10 身体のバランスを保つ努力をすれば、精神のバランスもとれるようになる。

GG,35頁

美

- 11 ガイドは（訳注：イギリスではガールスカウトのことをガールガイドと呼ぶ）あらゆるものの何が美しいのかを見極めれるように、自分を訓練すべきである。そうすれば、下品で不潔な話を聞いたり、そうし

た話に加わったりするようなことはしないような強い意志を持てるようになる。

GG,62頁

- 12 美しいものを鑑賞することのない人生は、日差しのない、どんよりとした日のようなものである。

LS,76頁

絵を描くこと／自然の項も参照のこと

本

- 13 本は、金や宝石や金貨が一杯つまっている大きな宝物の箱のようなものである(もちろん、中にはがらくたもある)。その中から、自分にとってどれが大切で、どれがそうでないのか、取っておきたいものはどれで、何が嫌いなものかなどを決めながら、あれこれ探すのは、とても楽しいことである。

WCH(15版),162頁

- 14 本は、人間にとって最良の友である。好きなものを選んで、何時も頼りにすることができる。そして、仕事や余暇を過ごす時の助けとなり、悲しみをまぎらわせてくれる。気の向いた時は、何時でも手に取れるように側に置いておきなさい。

RTS,150頁 邦訳227頁 GS訳64頁とTS,1932.10(BPO,152頁に再録)
スカウティング誌61年10月号

少年の本質

- 15 よく思うことだが、少年たちを魅きつけて、よい影響下におこうとしている人と、魚を獲ろうとしている釣り人はよく似ている。
もし、釣り人が自分の好きな食べ物を餌としてつけたなら、魚をたくさん釣ることはできないだろう。だから、魚の好む餌をつけることである。少年たちに対しても同じことが言える。もし、あなたが少年たちを向上させようと考えて説教をするなら、彼らの心を捉えることはできないだろう。少年たちにとって魅力的で興味のあることをすることこそ、少年たちを魅きつける唯一の方法である。

SFB(26版)299頁 旧邦訳516頁とAids, WB, 13頁 邦訳18頁
(同趣旨のものがTS, 1932.3(BPO, 145頁に再録))

- 16 私たちは、年をとって気難しくなればなるほど、自分もかつては、若者であったということを忘れがちになる。

IM,序文

- 17 先ず、その少年自身を知ることである。彼の好きなもの、嫌いなもの、そして長所と短所などを知り、それに応じて訓練をしていくことだ。

WCH,159頁 邦訳370頁とGG,180頁 (少女たちに)

(同趣旨のものがAids,WB,7頁 邦訳9頁)

- 18 少年たちは、変化を好む。彼らが、一つのことに飽きたからといって、驚いてはいけない。次を用意しておくことだ。

HQG,1911.11.

- 19 子供たちは、10分もじっとしていることはできない。ましてや、学校のように何時間もというのは、なおさらのことである。これは、少年が心身ともに「むずむず」しているからだ、ということを覚えておかねばならない。これを治す一番良い方法は、テーマを変えて外に出て走らせるとか、戦いの踊りをさせることである。

WCH,161頁 邦訳375頁

- 20 どんな悪い人間でも、5%は良い所があるものだ。その良い所を見つけてやり、80%にも90%にも伸ばしてやるのは楽しいことだ。

Aids,WB,4頁 邦訳3頁 (同趣旨のものがSYM,25頁)

- 21 少年は一般的に自分の能力に自信を持っている。だから、子供扱いをされて、ああしろ、こうしろと指図されることを嫌うのである。

少年は一般的に言って、針のように鋭いものである。

少年は、一ヶ月も二ヶ月も一つのことをし続けることはできない。それは、少年が常に変化を求めているからである。

少年は、誰かが自分に関心を抱いてくれていると感じたなら、その人の指導に応え、従うものである。

少年たちは普通、お互いに忠実な友人同士である。

友情は、少年に生まれつき備わっている。

Aids,WB,8頁 邦訳10-11頁の抜粋

- 22 少年の心理が、ヴァイオリンの弦に似ていると言われるのは何故だろうか？ それは、うまく調律しないと、本当の音楽が演奏できないからである。

HQG, 1922.8(BPO, 104頁に再録) B-Pの「ひげ剃り紙ノート」の一文
訳注：B・Pが、何故ひげ剃り紙をメモに使ったかは、BPO, 103頁に風呂に入った時、思いつきを書いておくのに使ったと述べている。

- 23 大多数の少年は、健全な行動を通じて健全な精神を身につける。一方、大人の行動は精神によって触発される。したがって、我々はカブを励まして、スカウトに上進しても、善い行いをする練習をし続けるようにする。このような行動を通じて、少年は人の役に立つ精神を身につけていき、最後にはローバーや大人として犠牲と奉仕の精神で行動するようになる。

(ヨーク会議での演説, Jamboree, 1928.7)

- 24 少年を10分以内に引きつけることができないような人は、放り出してしまえ。

TS, 1928.11(BPO, 125頁に再録)

冒険／広い心／カビング／実例による訓練／救急法／善行／遊び／演劇／宗教／スカウターの役割／スカウティングの定義の項も参照のこと

少年の力

- 25 もし、大人がみんな引き下がって、少年たちに世界を支配させると面白いと思う。そうすれば、善意と友情に満ちた世界になるに違いない。

PYOC, 63頁

広い心

- 26 広い心は、それを持っている人たちでなければ、分け与えることのできないものである。

Jamboree, 1926.7

- 27 自分の意見を押しつける前に、他人の意見を知ることは、スカウトとしての務めである。

私たちは、あらゆる面で、気高くて寛大な展望を持ちたいものである。

1935.8 スtockホルムで開かれた第8回国際スカウト会議の開会演説

- 28 相手と議論したり、口論したりする前に、何時も相手の考えを理解するようにしてみよう。そうすれば、九分九厘は相手と仲よくなれるだ

ろう。

PYOC,61頁 GS訳100頁

陽気さ／旅行の項も参照のこと

キャンプ

- 29 キャンプは、少年たちを引きつけるスカウティングの大きな特徴で、自立心と創意工夫することを教えてくれる機会であり、健康をもたらししてくれる。

SFB, WB, 109頁 邦訳146頁 旧邦訳208頁

(同趣旨のものが1913.7.9のHQG, (BPO, 33, 37頁 Aids, WB, 35, 50頁 邦訳68, 78頁)

(またHQG, 1913.7 (BPO, 33頁に再録)に「求められる精神を備えていれば、キャンプこそ隊長が少年たちを夢中にさせることのできるものである。」)

- 30 キャンプは広い所で行われる。しかし、一人そこに置けない者がいる。それは、沢山の細々とした半端な仕事を分担しようとししない者のことである。キャンプには、なまけ者や不平屋がいるような余地はない。

SFB, WB, 112頁 邦訳151頁 旧邦訳208頁



Camp cook

- 31 新米は「キャンプはつらい」と言う。しかし、キャンプで生活することを心得ているスカウトにとっては、決してつらいものではない。

SFB(26版)66頁 邦訳137頁 旧邦訳195頁(SFB, WB, 48頁に少し違った表現である。邦訳61頁 旧邦訳129頁)(またIM, 289頁に「無知な者だけが、不便な生活を送る」;またWCH, 137頁 邦訳228頁、GG, 112頁)

- 32 キャンプの目的は(a)スカウトとして野外生活をしたいという少年たちの欲求にそうことであり、(b)少年の性格、独創力それに肉体的、精神的発達を促す個人的訓練のために一定期間、少年たちを完全に隊長の手にゆだねることである。

HQG, 1909.10(BPO, 9頁に再録) スカウティング誌60年4月号

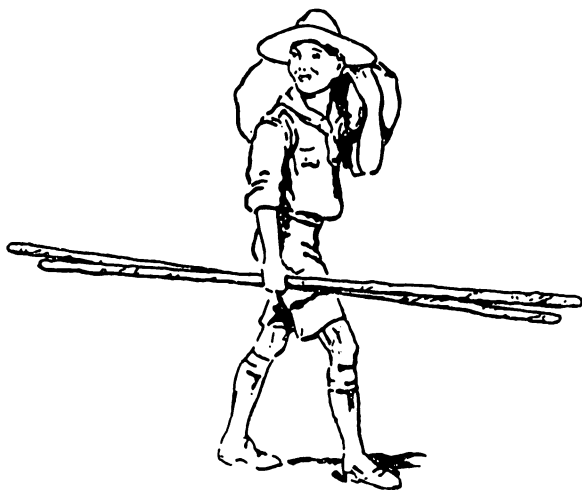
- 33 全てのスカウトは、キャンプを終えるに当たり、二つのことを残しておかねばならないことを知っている：

- 1、何も残さないこと
- 2、あなたの感謝の心——楽しい時を過ごせたことを神に、また、キャンプ地を使わせてくれた土地の所有者に対して

PYOC, 51頁(SFB, WB, 123頁 邦訳165頁 旧邦訳207頁にも「第二点は土地の所有者に感謝を残すだけ」とある。)

(さらに, HQG, 1919.10(BPO, 90頁に再録)には「アイルランドのキャンプのモットー」として紹介してある)

(また, WCH, 141頁邦訳235頁に「キャンプを去る時は、感謝と良い評判だけを残す」とある) GS訳92頁に類似したものがある。



- 34 キャンプ生活では、家にいれば必要と思われる多くの物が無くても済ませられることを学び、普段自分ではどうすることもできないと思っていた多くの事ができることが分かる。

GG, 63頁 GS訳28頁

- 35 自然を研究することを適切な方法で本当に学べるのは、キャンプの期間中だけである。というのは、キャンプでは朝から夜まで、ずっと自然に接しているからである。

GG, 64頁 GS訳40頁



- 36 ガイドのおきてに従って生活し、実践するにはキャンプ生活に勝るものはない。

GG,65頁 GS訳40頁

- 37 キャンプを軍隊式にやるとつまらなくて、退屈なピクニックになってしまう。スカウティングや森林生活は、我々が求めているものであり、少年たちが最もやりたいと思っているものである。少年たちを心ゆくまで存分に楽しませてやりなさい。

HQG,1917.7

- 38 隊にしても、班にしても、キャンプに慣れていなければ、一人前のスカウトになったとは言えない。

HQG,1919.3

- 39 キャンプは、少年たちにとって理想郷であり、隊長にとっては絶好の機会である。さらに言うならば、これこそスカウティングなのである。

HQG,1919.7

- 40 キャンプが、ぶらぶら遊んだり、怠けるための単なる言い訳に使われるなら、キャンプをしないよりもっと始末が悪い。

- 41 私が理想とするようなキャンプは、みんなが陽気に忙しくしており、班はどんな状況下においても平静である。そして、班長もスカウトも、自分たちのキャンプとその工作物に心から誇りを持っている。

Aids, WB, 51頁 邦訳79頁

- 42 キャンプについて強調しておきたいことが一点ある。私が、昔から言っている言葉だが、「広く見よ (Look Wide)」ということだ。そうすれば、どんなに完全なキャンプをしようとも、それがスカウティングの究極の目的ではないということが分かるだろう。キャンプは幸福で健康的かつ、役に立つ市民¹ を作り上げるという我々の目標に通じる(可能性の最も高いものではあるが) その一段階に過ぎない。

D.F.Morgan著 Standing Camps(1924年ロンドンピアソン社発行) への序文より

(1) B-Pの「3H」(訳注; happy, healthy, helpful)については、No492を参照のこと

- 43 私がブタペストの会場に着いた途端に、物凄いどしゃ降りの雨が降り、同時に私は、「ベーデン総長」という歓呼の声を浴びた。

私は、少年たちに君たちの能力を試すために、わざと雨を連れて来たのだと説明した。なぜなら、私はスカウトたちが良い天気の時だけキャンプをするようなことをして欲しくないからである。

Jamboree, 1928.7

また、もっと簡単に「好天なら、どんな馬鹿でもキャンプはできる。雨は真のスカウトを教えてくれる」1929年のアローパークジャンボリーでの演説。E.E. Reynolds著 Boy Scout Jubilee(1957年ロンドン、オックスフォード大学出版発行) 83頁

スカウト運動 邦訳240頁

- 44 キャンプやハイキングをする時、ボーイスカウトは大きな期待を寄せられていることを忘れてはならない。したがって、スカウト運動の良い評判を汚してはならない。

ATM, 91頁

訳注；出典は、そのままだが文章はNo41のものとなっている。初版では、この文章となっているので差し変えた

- 45 キャンプはスカウトと違って、カブには必須のものではない。したがって、必要な施設や経験がない限り、全くキャンプはしないほうがよい。

良いキャンプというものは、カブたちにとって何時までも価値あるものだろう。まずいキャンプは、あなたにとってもカブ隊にとっても、また恐らくこの運動全体にとっても永遠の不名誉となるだろう。こうした危険を犯すよりは、あまり魅力がなくても、もっとのんびりとした方法で少年たちを訓練したほうがよい。

WCH,167-168頁 邦訳387,389頁(WCH(15版)の末尾には「それを実行する危険を犯すのは害である」とある)

- 46 カブのキャンプは、カブたちを研究するには最もよい機会である。なぜなら、毎月の日常の集会より、この数日間のほうがカブたちのことをもっと多く知ることができるし、性格や清潔さ、健康などをどうすれば長く続く習慣として身に付けられるようになるかという点で、カブたちに影響を及ぼすことができるからである。

WCH,167頁 邦訳387頁

清潔／実例による訓練／幸福／班制度の項も参照のこと

性格

訳注；原文はcharacterである。これまで、人格、品性などと訳されていたがどれもしっくりこない。この言葉については、スカウト運動邦訳55頁にB-Pの定義が掲載されている。訳者としては、適当な訳が考えつかないので、文意により人格、性格、気質などの言葉を使いわけることとした

- 47 一つの国が他の国より優位に立つには、その国民性によるものであって、軍事力によるものではない¹。

HQG,1914.1(BPO,43頁に再録)Aids,WB,29頁(引用として)邦訳41頁

(1)「一国の価値は、結局その国を構成している個人の価値にある」

(ジョン・スチュアート・ミル 自由論,第5章)訳注;John Stuart Mill 英国の経済学者、哲学者 1806-1873 邦訳岩波文庫 229頁

- 48 役に立つ国民を作るには、人格形成が単に本で教え込むことと較べて重要であることは、よく知られている。にもかかわらず、それをせめて本による教育ほどにでも、教育の中にとり入れようとする具体的な計画すらない。

WCH,156頁 邦訳365頁

- 49 一般的に言って、子供の人格に最初に影響を与えるのは母親だという

ことには疑う余地はない。しかし、母親は自分自身が持っていないものを子供たちに与えることはできない。したがって、我が国の母親たちが高潔な人格を子供たちに植えつけるためには、母親たちも高潔な人格を持たなくてはならないということが、非常に重要である。

GG,173頁

- 50 性格というものは、主として環境と訓練それに経験によるものである。性格は、学校の中で教え込まれるものよりは、学校外の環境によってより多く形成されるものである。したがって、環境によって良くもなれば、同時に簡単に悪くもなったりしやすいものである。

GG,173,174頁

- 51 道徳的・倫理的な特性を伴わない知識は、パイの皮のようにくずれやすい。

Jamborre,1921.7

- 52 品性は、人生におけるどんな特性よりも価値がある。

RTS,97頁 邦訳147頁

- 53 仕事における成功は、運、援助、引き立てさらには学習によるものというよりは、能力と人格の賜物である。仕事上の専門的技能も確かにものをいうが、さらに昇進するには、人格——すなわち、絶対的な信頼感、機知、活力——が不可欠である。

RTS,125頁 邦訳190頁(Aids,WB,29頁 邦訳41頁にも引用として)

- 54 人格というものは、教室で教えられるものではない。個人が自ら培ってゆくものである。そして、それは生徒自身の努力によるところが大きい。

LVL,302頁(またAids,WB,29頁 邦訳42頁に「人格は少年に訓練して教え込むことはできない」)

- 55 私が意味する調和の取れた性格というのは、集団の中の一員として穏やかで常識ある視点を持つことである。そうすれば、群衆心理やパニックに押し流されることもなく、落ち着いて、勇気と楽観論を持って先を見つめ、何が地域社会にとって最も良いことかを知ることができ、相対立する考え方が混在して、霧の中にいるような状況の国家を平和と繁栄という明るい環境へ無事に連れ出す手助けをすることができる。

1933.1.28-29にギルウェルパークで開かれたローパー担当副州コミッショナー

会議に寄せたメッセージ

キャンプ／常識／教育と教示／元スカウトとガイド／ゲーム／女の子たち／個人と地域社会／軍事訓練／母親／観察と推理／班制度／肉体的健康へのヒント／計画／演劇／技能章／宗教／スカウト訓練法の継続／スカウティングの目的／スカウティングの定義／自制心の項も参照のこと

陽気さ

- 56 笑いが欠けていることは、健康が損なわれていることを意味する。できるだけ笑いなさい。そうすれば、健康になる。だから、笑える時は何時でも笑い続けることだ。そして、できれば他の人たちも笑わせなさい。そうすれば、その人たちも健康になる。

もし、苦しんだり困ったりすることがあれば、それに向かって笑いかけなさい。このことを覚えておいて、自分でそうするようにしむければ、本当に違いがでることが分かるだろう。

SFB, WB, 217頁 邦訳306頁 旧邦訳358頁(同趣旨のものがYFBS, 158頁)
(第二段落以下はLVL, 313頁)

- 57 困難は、あなたがそれに向かって笑いかけ、取り組んだ途端に困難ではなくなる。

SFB, WB, 255頁 邦訳361頁 旧邦訳417頁 YKE64頁とLS 頁にも(またSFB, WB, 248頁 邦訳350頁、旧邦訳406頁にも「あなたが笑った途端に、困難の大部分は消え去ったかのように思え、全く簡単にとり組めるようになる。」)GS訳46頁 SFB, 邦訳361頁 旧邦訳417頁に類似のものがある。

- 58 スカウトの生活はとても愉快なので、スカウトは何時も笑っている。
YFBS, 13頁

- 59 「笑いは、がみがみ怒鳴るより2倍の効果がある。」背中を軽く叩くのは(訳注; 褒めたり、激励すること)針で一突きするよりはもっと効果的な励ましとなる。

HQG, 1919.9(BPO, 25頁に再録)

- 60 本物の狼を見たら、口から大きな歯をむき出しているのが分かるだろう。だから、カブの少年も何時も微笑んでいるべきである。たとえ、笑いたくなくとしても(時には、泣き出したいこともあるだろうが)カブは、決して泣かないことを覚えておきなさい。事実、カブは何時

も笑っている。そして、困難や苦痛、困ったこと、危険などがあったとしても、カブは何時も歯を出して笑い耐えるものだ。

WCH, 43-44頁 邦訳72頁 (GG, 23頁「ブラウニーは何時も笑っている」

訳注；ブラウニーとは8-11歳のガールスカウトのこと。元々は、スコットランド伝説の夜ひそかに家事の手伝いするといわれる小妖精。

- 61 カブたちにとって、スカウトの笑い (Scout smile) とは、声を出して笑うことであるべきだ。大きな声を出して笑うということは、若者たちの悪い性分の大部分を押さえ、陽気な仲間意識と広い心を作る。よく笑う少年は嘘をつかないものだ。

WCH, 163頁 邦訳378頁

- 62 「働いている時は、笑顔で」

GG、説明文にあるガイドーに示したモットー

(RTS, 235頁 邦訳353頁にも「少年たちに、笑いながら働く方法を教えてやりなさい」)

- 63 ガイドは辛い時に、決してぶつぶつ不平を言うことはないし、お互いに泣き言を言うこともない。それに困った時にも不愉快な顔をしたりはしない。

GG, 61頁 邦訳34頁

- 64 ガイドは何時もほほ笑みを浮かべ、歌を口ずさんでいる。そうすれば、自分も楽しいし、他の人も楽しくする。特に危険な時に笑っていられたら、何時もと同じように振る舞うことができる。

GG, 61-62頁 GS訳34頁に一部訳がある。(また、SFB(26版)46頁 邦訳ix頁旧邦訳94頁にも「スカウトは、何時も口笛を吹き笑っている」)

- 65 我々スカウトは、キリスト教徒としての七つの徳目に、もう一つ「陽気である」という徳目を付け加えたいと思う。

WSCD, 14頁 GS訳48頁

訳注；キリスト教徒としての七つの徳目とは、思慮分別、公正、不屈の精神、節度、誠実、希望、慈善である。

- 66 一般的には最悪の時でさえ、滑稽な一面があるものだ。

WSCD, 142頁

- 67 楽しいユーモアは、はしかのように感染する。

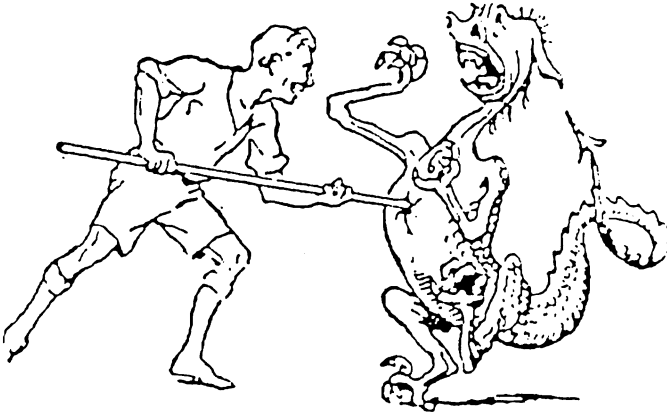
WSCD, 142頁

- 68 「善良な人間になれ、そうすれば幸福になれる」というモットーがある。私流にいうと「陽気であれ、そうすれば幸福になれる」だ。

WSCD,142頁 GS訳46頁

- 69 ちょっとした楽しい笑いは、私にとって頭の洗濯のようなものだ。

RTS,83頁 邦訳122頁



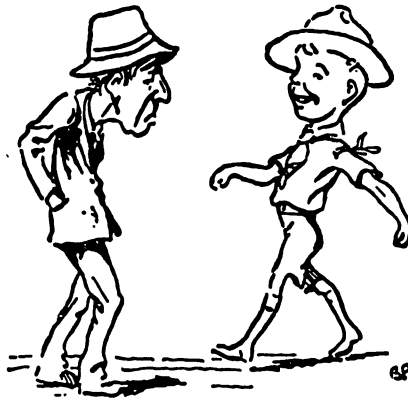
- 70 困難に立ち向かえ、一本の杖とほほ笑みが解決してくれるだろう。

訳注;stickには杖という意味の他に、執着心、一突きという意味もある。出典はLS,111頁

- 71 ずっと以前のことだが、「一本の杖と笑いがあれば、この世のどんな困難も切り抜けられる」¹ ということが経験から分かった。そして、その後の経験で、杖は普段は家に置いておけばよいということが分かった。

LS,114頁(同趣旨のものがLVL,313頁)GS訳126頁に類似のものがある

(1)これは、セオドア・ルーズベルト(訳注;アメリカ第26代大統領1858-1919)の言葉としてよく知られている。「穏やかに話し、実力に訴えれば、きつとうまくいく(訳注;原文のcarry a big stickというのは実力行使に訴える、強行策をとるの意)」(1901.9.2のミネソタでの演説)B・Pは1910年と1912年の2度セオドア・ルーズベルト(その当時はボーイスカウトアメリカ連盟の副総裁)に会い、著者の中で何度もそのことについてふれている。(編者注)



- 72 もし、少年が何時も明るい顔つきで街を歩いていたとすれば、それは素晴らしいことだ。(このことを少年は、隊長を見て学ぶものだということをお忘れなく) 沢山の不機嫌な顔に出会う中で、明るい顔とすれちがうことは、多くの人たちを幸せにし、明るくする。不機嫌な顔も明るい顔も同じように、人にうつりやすいものである。

TS,1929.1(BPO,127頁に再録)(また、Aids,WB,37頁 邦訳55頁にも)

- 73 「笑顔は多くの人の心を開く鍵である」

ATM,168頁

- 74 物事の暗い面より、明るい面を見よ。

スカウトたちへの最後のメッセージ SFB,WB,295頁 邦訳421-422頁 旧邦訳493頁 GS訳104頁(また、RTS,236頁 邦訳354頁に「最悪のものを見ないで、最善のものを見るようにしよう」)

訳注；「スカウトたちへの最後のメッセージ」の訳は、SFB,旧邦訳492-493頁 邦訳421-422頁 ベーデン・パウエル伝242-243頁 スカウト運動339-340頁 B-Pの言葉に一部訳がある。

規律／善行／障害児スカウティング／幸福／不屈の精神／進歩／自制心／先見性の項も参照のこと

騎士道

- 75 騎士道精神のない男は、男ではない。

RTS,108頁 邦訳164頁

肉体的健康の項も参照のこと

キリストの模範

- 76 私が不思議に思うのは、良きキリスト教徒だと高言している人たちが、困難な状況の時、「キリストだったら、どうされただろうか？」と単純に自らに問いかけ、それに従って導かれるということをよく忘れがちになるということである。この次の機会に、困難や疑問にぶつかって、どうしたらよいかという時には、試してみなさい。

HQG,1911.3(BPO,19頁)(同趣旨のものがATM,22-23頁 LVL,315頁 Jam-boree,1928.7)GS訳126頁に類似したものがある。

- 77 キリストは「常に備えよ」という例を示すために、その命を捧げられた。それが、我々にとって、どんな犠牲を払うものであっても、他の人に善いことをするように備えよということである。

ATM,22頁 GS訳86頁

訳注;このキリストの例とは新約聖書「ルカによる福音書12-40 あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである」がB-Pの頭の中にあつたものではなからうか。

日本聖書協会発行

「聖書共同訳 旧約聖書詩篇つき」新 133頁

宗教の項も参照のこと

市民性

- 78 市民性を端的に定義するならば、「地域社会に対する積極的な忠誠心」である。自由な国では、自分の仕事をしながら、政治やスポーツ、様々な活動を自由に選択することを主張していても、国家の福祉については「他人まかせ」であるような者が、自分は法に忠実な良き市民であると思っていることも珍しいことではない。これは、消極的な市民性である。しかし、消極的な市民性では、世界の自由や公正さ、名誉といった美德を維持するには不十分である。積極的な市民性だけが役に立つ。

Aids,WB,16-18頁 邦訳24頁

性格／教育の成功／個人と地域社会／軍事訓練／ゲームをする／できる悪い少年／準備／スカウティングの定義の項も参照のこと

清潔

- 79 スカウトは何時もきちんと整理整頓をしている。それがキャンプであ

ろうとなかろうと、習慣としてするのである。もし、家できちんとできなければ、キャンプに行ってもきちんとはできないであろう。そして、キャンプできちんとできなければ、単なる新米でしかないし、ましてヤスカウトとはいえない。

SFB, WB, 121頁 邦訳163頁 旧邦訳218頁 GG, 112頁(ガイダーにむけて)GS
訳34頁

- 80 キャンプというのは、明らかに困難な条件の中で、隊長が清潔さを要求する場である。

HQG, 1919.10(BPO, 89頁に再録)

- 81 「清潔にすることは、神を敬うことに並ぶものである¹」

洗濯章のモットー、WSCD, 164頁

(またRTS, 131頁 邦訳199頁とJamboree, 1928.7)

(1) ジョン・ウェスレー (訳注; 英国の神学者、メソジスト教派の創始者1703-1791)の「説教(Sermon)」xiiiからの引用; しかし、この言葉は、恐らく元はヘブライ語であろう

- 82 どんなに貧しくとも問題ではない。少なくとも、きれいに整理整頓はできるし、それにお金はかからない。

ATM, 158頁

キャンプ／規律／実例による訓練の項も参照のこと

共学

- 83 [ボーイスカウト運動と] 同じ、組織と訓練の原則が、ガールガイド運動に加わっている少女たちにも当てはまる。一方の部門がもう一方の部門を助け、共に家族、仲間として尊重する。両者の協力は、共学のより良い形を予知させるものである。なぜなら、共通の興味を通して、少年少女たちに働きかけるものだからである。

SYM, 39頁 「一方の部門が……」以下がGS訳72頁に

常識

- 84 常識というものは、人格の中で最も役に立ち、価値あるものである。

PYOC, 19頁

救急法の項も参照のこと

協力

85 フットボールをしていて、ボールを持った場合、君もよく知っている通り、あまり長くボールを持ち続けるべきではない（どの位、長く自分がボールを持ってプレーできるか、やってみるのは楽しいことではあるが）決して自分勝手なゲームをすることなく、君のベストをつくして、味方に素早くパスしなさい。

他のことでも同じようにすれば、きつとうまくいく。自分自身で抱え込まずに、他の人たちと分担しよう——「他の人に渡すことだ」

YFBS, 180頁

訳注；挿絵説明

上から、ビルマにおける協力の教訓

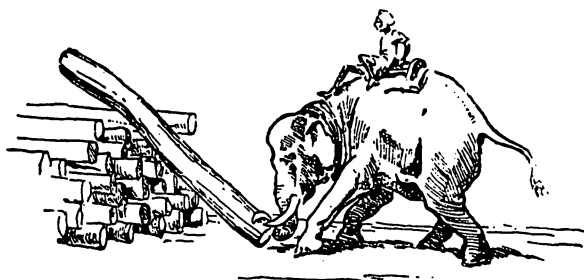
象がチーク材を積み上げる

丸太が重すぎて、自分だけで運べないときは、仲間に手助けの鼻を貸してもらう

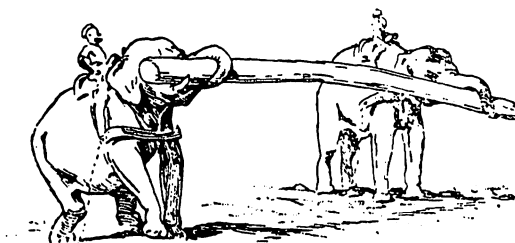
LVL, 90頁

RTS, 邦訳253頁 SFB, WB, 邦訳404頁に同じ挿絵がある。

LESSONS IN CO-OPERATION FROM BURMA



Elephants piling teak.



When one has a log that is too heavy for him he finds a pal to give him a helping trunk.

- 86 大きな目的のために大きな運動をする際、小さな個人的努力の入る余地はない。小さな思いつきは無視して、全体として効果的に進めるために、大きな「連帯」の輪を作らねばならない。
成功を勝ち取りたいと思うなら、協力こそが唯一の方法である。

HQG, 1910.5 (BPO, 13頁に再録) スカウティング誌60年7-8月号

- 87 南太平洋では、数百万のちっぽけな生き物が一緒になって働き、少しずつ珊瑚礁を作り、やがては大きな島を作り上げる。
このことで、多くの人たち全体が一緒になってやれば、何かを成し得るものであることが分かる——ボーイスカウトは、次から次へと友情と善意を実践していくことで、大きな仕事をしようとするものである。そうすることで、全世界の国々が何時の日か皆友達になれるだろう。

MSK, 37頁

(同趣旨のものが、Jamboree, 1924.1とSFB(26版)1940年版の序文23頁 旧邦訳53頁)

キャンプ／つとめ／ガイディング／班制度／演劇／スカウト運動の項も参照のこと

勇気

- 88 (軍の)スカウトに必要とされる勇気は、非常に質の高いものだ。

ATS, 11頁

- 89 目前に危険がある時は、立ち止まって見ないことだ。見れば見るほど、それが嫌になるだろうから。思い切って突っ込んでいって、大胆にその中に入ってみれば、実際は前に見えた半分も悪くはないだろう。

SFB, WB, 246頁 邦訳346-347頁 旧邦訳403頁

(同趣旨のものがWCH, 150頁 邦訳254-255頁とWSCD, 165頁)

- 90 ある者は、生まれつき勇敢であり、ある者は人から押されて勇敢になる¹。しかし、多くの場合、勇気は養うことのできる資質である。

QTW, 16-17頁

(1) 構文は、シェークスピアの「十二夜」II、v(158)からの借用：「しかし、偉大さを恐れてはいけない。ある者は生まれつき偉大であり、ある者は努力して偉大になる。そして、ある者は人から押されて偉大になる。」邦訳 岩波文庫「十二夜」66頁

- 91 恐ろしいと思った時には、それを表情に出してはいけない。そういう

時こそ、あたかもそれが好きだというように、口笛を吹いてにっこり笑うことである。

PYOC,77頁 GS訳102頁

つとめ／上進／独立心／不屈の精神／ビジョンの項も参照のこと

礼儀正しさ

- 92 本当の男というものは、礼儀正しいものである。すなわち、彼は人に敬意を払い、人間としての思いやりと完璧なユーモアを身に付けている。

RTS,87頁 邦訳130頁

カビング

- 93 カブの訓練は、スカウトたちのものとは異なるが、それに一步近づくものである。

WCH,157頁 邦訳366頁

- 94 我々のカブの訓練は、彼らの生涯の中で最も重要な時期に行われる。この時期の少年というものは、良い指導を受けることにより、最も影響されやすいものである。

WCH,157頁 邦訳365頁

- 95 カブ隊を扱う大原則、そして少年を引きつけ、間違いを治せるものという、カブたちを一つの幸せな群れにすることである。それは単なる群れではなく、幸せな群れである。

少年たちは騒ぎたがるものだから、そうさせてやりなさい。遊ぶ時は、思いっきり遊ばせてやることだ。

WCH,163頁 邦訳378頁

- 96 バッジを沢山取得しているかどうかで、カブ隊が本物かどうかを見極めることはできない。幸せな群れ意識こそ何物にも替え難いものである。

WCH(15版)144頁 邦訳269頁

- 97 最も根本的なことは、カブの活動をできるだけスカウトの活動とは違ったものにするのである。そして、カブがその年齢に達した時、心からスカウトになりたいと思うようにすることである。成長期の少年

は、変化と多様性を望んでいるものであり、スカウトの活動が、もしカブの活動の延長のようなものであったなら、すぐに退屈してしまうだろう。彼はスカウトになったら、新しい技能や知識を身に付けたいと思っているのだ。

1928年に書かれた論稿。J.S. ウイルソン(訳注;1923年-1942の間ギルウェル第2代キャンプチーフ、後に世界事務局長を務めた)の「スカウティング・ラウンド・ザ・ワールド」(訳注;B・Pに同名の著作がある)15頁からの引用。(同趣旨のものがWCH,168頁邦訳391頁とHQG,1920.2) 良い青少年を作るには 104頁に類似したものがある。

キャンプ／陽気さ／最善をつくす／上進／幸福／両親／遊び／スカウト訓練法の継続／組長の役割／スパルタ精神／お話の項も参照のこと

好奇心

- 98 何が(what)に満足しないで、なぜ(why)、どうやって(how)ということを知ろうとしなさい。

RTS,169頁 邦訳255-256頁

困難

- 99 我々が強くなるのは、努力によってであり、努力によって成功する。笑顔で困難に立ち向かうようにすれば、聖ジョージが希望に満ちた教えを授けてくれよう。

HQG,1918.4

訳注；聖ジョージとスカウトとの関係については、SFB,邦訳324頁 旧邦訳381頁に詳しく述べてある。

- 100 人生が全て砂糖みたいに甘かったら、つまらないに違いない。塩はそれだけをなめたら苦いが、料理の一部分として味わう時は、肉に風味をつけてくれる。困難は、人生の塩のようなものだ。

RTS,15頁 邦訳19頁

(同趣旨のものがAids, WB,6頁 邦訳7頁 GG58頁 GS訳58頁それにLVL,313頁に)

- 101 困難という扉のない壁にでくわした時には、思い出して欲しい。最初はそれが高く見えるかもしれないが、近寄って調べて見ると、裂け目や割れ目があり、それが乗り越えれそうだとすることが分かるだろう。そして、もしその壁によじ登れないとしても、十中八九は回り道があるものである。

- 102 私は若い友人に、敵と直面した時は「ポロ」をするようにと、よく奨めたものだ。すなわち、がむしゃらに攻撃するのではなく、相手の横につけて走り、じりじりと敵を自分のトラックに引き入れてしまうのだ。

LVL,315頁 GS訳126頁(同趣旨のものが、困難に言及してAids,WB,11頁 邦訳16頁)

- 103 困難な仕事に取り組まなければならない時は、それを助けてくれるよう神にお願いしなさい。そうすれば、神はあなたに力を与えてくれるだろう。しかし、それでも、取り組むのはあなた自身である。

ATM,169頁 GS訳14頁

- 104 一時的な敗北や失望に落胆する必要はない。こうしたものは、時々必ずやってくるものだ。これらは我々の進歩に味を付けてくれる塩である。困難を乗り越えて、私たちが目指す大きな意味を見つけよう。

TS,1936.10(BPO,166-167頁に再録)

キャンプ／陽気さ／キリストの模範／不屈の精神／創意工夫／危険／ローバーリングの項も参照のこと

規律

- 105 船は天国にも地獄にもなりうる。それは正に、その船の乗組員しだいである。乗組員が無愛想で不平を言ったり、だらしなれば、彼らは不愉快な船の道連れになるだろう。もし乗組員たちがスカウトたちのように陽気で、最高のものを作り上げようと考えたり、お互いに譲り合い、自分たちの持ち場をきちんときれいにしておくならば、彼らは楽しい仲間として航海を楽しめるだろう。

SFB,WB,67-68頁 邦訳86頁 旧邦訳153頁

- 106 スカウト（ガイド）は命令を受けた時には、陽気に進んで従うべきで、のろまで役立たずのような振る舞いをしない。

SFB(26版)46頁 邦訳ix頁と旧邦訳93頁とGG,61頁

- 107 国を繁栄させるには、よい規律が必要である。そして、個人の規律によってのみ集団の規律ができる。この場合の規律というのは、権威やその他の義務に対する命令への服従のことである。これは、抑圧的な

方法ではできないもので、まず少年に自己規律を教育し、さらには他の人のために、自己とその喜びを犠牲にするよう教育することによって可能となる。この教育は模範を示し、少年に何らかの責任を与えて、高い基準の信頼性を要求することによって、大きな効果がえられる。

SFB(26版)309頁、旧邦訳533頁とAids,WB,32頁 邦訳47頁 GS訳6頁に一部訳がある。

- 108 隊長は規律を強調すべきで、小さなことでも徹底して、すぐに従わせるようにする。少年たちを自由に行動させるのは許可した時だけにする——これを時々するのは、良いことである。

SFB(26版)309頁、旧邦訳533頁とAids,WB,33頁 邦訳48頁

- 109 規律はどこでも必要である。しかし、大切なことは、若い時に些細なことでも規律正しくするようにすることである。そうすれば、大きな困難や危険に直面した時には、それにきちんと対処できるようになるだろう。そのためには、まず第一に、自制心を培わないといけない。

YKE,59頁 GS訳20頁に前半部分の訳がある。

- 110 規律には二つの形がある。一つは行動によって忠誠を示すものであり、いま一つは、罰の恐ろしさから命令に服従するものである。

HQG,1918.6(BPO,71頁に再録) GS訳108頁
(同趣旨のものがYFBS,159頁)

- 111 命令に服従させるには、自分自身に服従の精神がなければならない。他の人に従ってもらう気持ちを育てるには、自分自身が自己規律を身に付けるようにすることである。

GG,171頁

- 112 我々のルールは規則(rule)であって、規制(regulations)ではない。我々のルールは、フットボールやクリケットを、皆が公正なゲームとして行うのに必要とする約束事のようなものである。我々のルールは、進むべき一定の方向への手助けになるもので、官僚的形式主義的なものではない。

事実、この運動の規律は全て、自分のチームのために「立派に役割を果たしたい(play the game)」という一人一人の願いから自発的に生じたものである。

RTS,217-218頁 邦訳327頁

訳注；play the game には、規則に従って行動〔競技、試合〕をす

る、正々堂々と振る舞う、公明正大に行う、立派に役割を果たすなどの意味がある。

女の子たち／個人と地域社会／リーダーシップ／軍事訓練／準備／スカウト運動／スカウターの役割／スポーツマンシップの項も参照のこと

最善をつくす

- 113 グランド・ホウル(Grand Howl 訳注;WCH,邦訳26-29頁を参照)は、君が両手を使って最善をつくすという意味です——大抵の少年のように右手だけを使うといった片手だけということではありませんよ。両手を使って、君が最善をつくせば、普通の少年の倍になります。「最善をつくせ」というのは、カプのモットーです。

WCH,22頁 邦訳27頁

- 114 この世界を、あなたの時よりは少し良くして残すように努力しなさい。そうすれば、あなたに死が訪れた時、少なくともあなたは時を無駄に過ごすことなく、最善をつくしたと感じて幸福に死んで行くことができる。

スカウトたちへの最後のメッセージ SFB,WB,295頁 邦訳422頁 旧邦訳493頁、一部GS訳104頁(最初の部分は、RTS,128頁 邦訳195頁)

有能／宗教の項も参照のこと

絵を描くこと

- 115 やってみれば、誰でも絵は描けるものである。これは学ぶ必要はない。世界中に知られた有名な画家も、小さな子供よりうまく絵が描けなかった時期もあったのである。すぐに画家のようにうまく描けると思っ
てはいけない。最初は、かなりへたくそにしか描けないだろう。しかし、一所懸命にやればきっとうまくなるだろう。
これは、学校で学ぶものではない。

WCH(15版)153頁 邦訳294-295頁 「世界中に…」以下が、GS訳114頁に

- 116 どんな幼稚な絵であつたとしても、絵を描くことを奨励すれば、少年たちは色や形の美しさを知り、汚い環境の中にも光と影や色彩と美があることが分かるようになる。

Aids,WB,61頁 邦訳95頁

飲酒

- 117 ビールやワインや強い酒を毎日一杯やる習慣のある男は、スカウティングではほとんど使い物にならないし、他のことでも役に立ちはしない。

SBF(26版)39頁 邦訳79頁(また、SFB,WB,214頁 邦訳302頁 旧邦訳353頁
「酒を飲む男がスカウトになるのは、全く不可能であるに違いない」)



- 118 飲酒の習慣を持っている人は、しばしば自分自身の健康、幸福さらに家庭を破壊してしまう。古い諺に言う「強い酒は、弱い人間を作る」というのは、本当のことである。

SFB,WB,215頁 邦訳303頁

- 119 我慢しようとする気持ちを、内なる意志の力で育んでゆかせるのではなく、外側から強引に止めさせようとしても無理である。

スカウト運動における我々の目標は人格（すなわち、道徳的な意志の力、自尊心、自制心）を高め、生活に楽しい趣味や活動を与えることによって、無理矢理でなく、自然に飲酒から遠ざけることである。

HQG,1920.6(同趣旨のものがHQG,1923.9「我々は今、それを治そうとしているより、次の世代に有害なものを残すまいとしているのである」と付け加えられている)

つとめ

- 120 スカウトは自分のつとめだと思うから仕事をするのであって、ほうびをもらおうと思ってするのではない。

WSCD,155頁(SFB(26版)、46頁 邦訳viii頁 旧邦訳93頁 GG,61頁に「スカウト(ガイド)は人を助けたり、親切にしたからといって、報酬を受け取ってはならない」)

- 121 スカウティングは単に面白いだけでなく、あなたに求めるものも多い。
SFB,WB,22頁 邦訳28頁 旧邦訳95頁

- 122 先ず、自分のつとめを果たすことである。そうすれば、権利を手にすることができる。
SFB,WB,245頁 邦訳346頁 旧邦訳402頁(同趣旨のものがRTS,168頁 邦訳255頁)

- 123 立派なスカウトに怠け者はいない。立派なスカウトは、何時も人のために与えられた以上の仕事をしようとする。
WCH,35頁 邦訳57頁

- 124 つとめを果たしなさい。それがいかに面白くなく、誰からも注目されないものであったとしても。
WCH,93頁 邦訳147頁(また、GG,60-61頁に「ガイドは、たとえ自分の楽しみや快適さ、安全を犠牲にしても、まず自分のつとめを果たす」)

- 125 友人には忠実でありなさい。しかし、同時に自分のつとめに不誠実になってはならない。時として、友人とつとめを果たすことの板挟みになることもあろうが、その時はつとめを優先し、実行すればよい。
ATM,60頁 GS訳88頁

- 126 有能というのは全く結構なことだが、内面にはもっと何かがないといけな。勇氣や決断、そして、あなたにとって、どんな危険や難儀があろうとも、つとめを果たそうとする決意がないといけな。
PYOC,130頁 GS訳98頁
有能／名誉／肉体的健康／準備／自尊心の項も参照のこと

能動的教育と受動的教育

- 127 スカウトは積極的に善いことをするのであって、消極的な善良者ではない。
RTS,20頁 邦訳28頁 SFB,WB,250頁 邦訳355頁 旧邦訳411頁 (SFB,WB,250頁と、GG,67頁にも「善良であることは良いことだが、善いことをするほうがもっと良い。」;RTS,197頁 邦訳299頁に類似の記述がある。)

(また、GG,185頁に「子供は善良であることには興味はもたないが、善いことをすることには興味をもつものである」同趣旨のものがGG,180頁とWCH,159頁)

(また、Aids, WB,66頁 邦訳103頁「少年というものは、じっくり考えるよりは、何時も何かしようとしているものだ」さらに、SYM、43頁に「我々の訓練の原則は、青少年たちに何かをすることを与えることであって、単に暇な時間に何かを考えさせようというものではない」GS訳76頁)

- 128 追い求めて得た知識は長持ちするが、簡単に手にいれた知識は長持ちしない。

HQG,1916.1(BPO,59頁に再録)GS訳108頁



- 129 少年は、実行によって学ぶのであって、教訓によって学ぶわけではない。少年にとって愛するということは、単に心の状態である。しかし、愛を表現すること、すなわち奉仕するということは、自分で実践できることであり、その違いは大きい。

そこで、私たちは若い人たちに対して、宗教の精神を実際の行動に言い換えねばならない。だから私たちは、スカウトのおきてやちかいの中で「神を愛せよ」という抽象的な考え方の代わりに、積極的な考え方である「神へのつとめを果たせ」とうたっているのであり、「汝の隣人を愛せ」という抽象的な言葉を「何時も他の人々を助けよ」という積極的なものに置き換えているのである。

ヨーク会議で読んだ文書、Jamboree,1928.7

(同趣旨のものが1926.7.2のスカウト／ガイドコミッショナー会議での演説にもある)

訳注；実行は説法に勝る(Practice is better than Percept.)という諺がある。

市民性／肯定的教育と否定的教育／善行／幸福／実行によって学ぶ／奉仕／スポーツの項も参照のこと

教育の重要性

- 130 ソクラテス師(訳注; 469?-399BC アテネの哲学者、プラトンの師)が語ったことは真理である。すなわち、「自分自身の子供だけでなく、他人の子供までも正しく育てることに心を砕いている人ほど、立派な目的を持っている人はいない」

SFB(1940年版)序文 旧邦訳53頁

- 131 もし、あなたが世界を今より少しでも良いものにすることを目指すのであれば、あなたは幸せになるだろう。

この目的のために、父親としてできることは、あなたの子供をあなた自身より、良くしてやることだ。

RTS, 128頁 邦訳195頁

肯定的教育と否定的教育

- 132 指図、中でも命令は、少年たちにとって(我々が意図するものとは)異なった真反対の効果さえもたらすことがある。少年に、煙草を吸うなど命令したら、少年は冒険のつもりで、すぐにでも煙草を吸おうとするだろう。しかし、例を挙げて、馬鹿な奴は煙草を吸うが、賢いスカウトは吸わないということを示してやるとよい。反応は全く異なるであろう。

HQG, 1910.7(BPO, 15-16頁に再録)

- 133 「するな」と言って説教することは、悪いことをするようそそのかすようなものだ。それよりはむしろ、健全な精神を吹込んでやることだ。すなわち、弾丸に火薬を詰めるように、行動に健全な精神を吹込んでやることだ。

WCH, 158頁 邦訳369頁 GG, 179頁 GS訳26頁

- 134 教育は肯定的に行うべきであって、否定的に行うべきではない。また、能動的に行うべきで、受動的ではいけない。例えば、スカウトのおきては、各項目とも「スカウトは～します」というふうになっている。権威者たちは、スカウトのおきての改訂を行い、おきての能動的な面を認めないで、各項目を「～してはいけない」という全く逆のものに変えようとしている。「～してはいけない」というのはもちろん、時代遅れな抑圧的な制度の特徴、かつモットーであり、少年たちを挑発するものである。少年にとって、間違ったことをするのは、一つの挑戦

となるものである。

HQG,1916.1(BPO,59頁に再録) (同趣旨のものがAids, WB,66頁 邦訳103頁)

スカウトのおきて／喫煙の項も参照のこと

教育の成功

- 135 教育や教会によって良い市民を育てる費用よりも、警察や刑務所によって悪い市民を罰する費用の方が高くつくような地域社会を良しとする訳にはいかない。

Jamboree,1921.4

- 136 教育が成功したかどうかは、少年が学校の試験の後で、何を知っているのかではなく、十年後に少年が何をしているかで分かるものだ。

(B-Pの「ひげ剃り紙ノート」のひとつ HQG,1922.8 BPO,104頁に再録)

教育と教授

- 137 自己学習、すなわち少年が自分で学ぶのであれば、それは確実に身に付くものとなるし、将来の人生を導くものとなる。これは、教師から教え込まれたものとは全く異なったものである。

SFB(26版)243頁 旧邦訳422頁 (同趣旨のものが Aids, WB,59頁 邦訳98頁と SYM,40頁)

- 138 正しい教育の秘訣は、生徒一人一人が自分自身で学ぶようにしてやることで、型にはまったやり方で、生徒に知識を叩き込むことで指導することではない。

HQG,1912.1(BPO,27頁に再録)(同趣旨のものがSFB(26版)293頁 旧邦訳506頁とAids, WB,30頁 邦訳43頁)

- 139 若い人たちに、よい市民性を養うのに必要な点は

(1)性格

(2)学識

の二つである。

これらは、重要なものから順に並べたものである。

(2)は、学校で教えられるものである。(1)は、生徒が学校外で、それぞれの環境に応じて自分で培うものである。この(1)こそ、スカウト運動が与えようと努力しているものである。

訓練には、主として二つの方法がある。

すなわち、

(1)教育(Education)によるもの：少年一人一人が持っているものを「引き出し」、希望を与え、自分から熱心に学ぶ心を育む。

(2)教授(Instruction)によるもの：少年に知識を与えて、それを叩き込む。

第(2)は今もなお、しばしば行われているものである。スカウト運動において、我々は、第(1)の方法を取っている。

HQG,1913.10(BPO,39頁に再録)

- 140 訓練というものは、人々が興味を持ってやるようなものにしないといけないと、私は固く信じている。そうすれば、自分から熱心に学ぶようになるし、押しつけられた無味乾燥な教授に代わって、自分で自己教育の一つの形を作るようになる。

QTW,100-101頁(同趣旨のものがAids,WB,19頁 邦訳28頁とGG,説明でスカウティングに適用されている)

- 141 命令的な道德教育(例えば教練)は、見掛けのよいベニヤ板を作るようなものである。下地に適度に成熟した性格がない限り、そんなものは長持ちしない。

WCH,158頁 邦訳369頁 GG,179頁

- 142 カデット(学生軍事教練団)とスカウト運動は、共に立派な少年を作ろうと一所懸命である。この二つの訓練方法の顕著な違いは、その原則にある。すなわち、一方は押し付け(impression)によって行われ、他方は自らの意志を表すこと(expression)によって行われる。カデットの訓練は、外から少年に集団的な指導を押し付ける。一方、スカウト運動の方は個人の内面から自己の発達を促すものである。軍事教練は、少年を機械部品としての基準に合うよう形作る。一方、スカウティングの目的は、最初から個人の性格とやる気を伸ばすことにある。

ザ・タイムズ1918.7.14 Aids(1919年版)14頁に引用がある。

- 143 [ガールガイド]の精神は、内から養われる。すなわち、自己発展である。精神は、外から本による教えや規則を使って人為的に発達させることはできない。

GG,185頁

- 144 隊長は、少年の自己表現(self-expression)を促すことによって教育す

るのであって、警察のように抑圧的(repression)な方法を使って、少年を鍛えるのではない。

TS,1934.8(BPO,164頁に再録) (同趣旨のものがSYM,54頁)

- 145 学校で教えられたことに、全面的に頼ることはしない方がよい。教師が全てのことを教えることができる訳ではない。役に立つ知識を教えてもらったら、独力でそれを続けて物事を学ぶのは自分次第である。自分で学ぶ者は、人生に成功する者である。従って、自分から学び教えてもらうのを待つようなことをしてはならない。

PYOC,10-11-12頁

性格／自然／個人教育／肉体的健康／技能章／宗教／スカウト訓練法／スカウティングの定義の項も参照のこと

有能

- 146 「有能」という言葉で、私は単に金儲けの技術のことを意味しているのではない。一般的な知性と自由に生きる能力、それに豊かで幸福な人生を送る能力のことを意味しているのである。

WCH,158頁 邦訳369頁 GG,179頁

- 147 有能になるようにしなさい。そうすれば、自分に自信を持つことができる。自分の仕事、あるいは自分に与えられたどんな仕事でも、自分自身のやり方を考え出してやりなさい。

他人の助けを借りようなどと思っはいけない。自分自身でやることだ。自分のしたことを褒めてもらおうなどとは思わないことだ。善いことをしたら、それが十分に満足感を味合わせてくれる。それが、ほうびなのだ。考えねばならないことは、自分の最善をつくすこととつとめを果たすことである。

ATM,170頁

カビン／つとめの項も参照のこと

11番目のおきて

- 148 スカウトのおきてに11番目のものがあるとすれば、それは文字にはなっていないもので、「スカウトは馬鹿ではない」というものだ。

RTS,222頁 邦訳335頁 GS訳48頁 (また、喫煙に関連してRTS,75頁 邦訳109頁とATM,122頁)

独立心／喫煙の項も参照のこと



A Scout is not a fool

(挿絵の説明；左からばかな奴の破片、ローソク、爆発、ガス管、ガス漏れ 枠外に スカウトは馬鹿ではない)

実例による訓練



- 149 隊長のすることを少年たちはするものだ。隊長はスカウトたちの中に写しだされる。

Aids, WB, 13頁 邦訳20頁とJamboree, 1926.10 (同趣旨のものがHQG, 1910.7 (BPO, 15頁に再録)

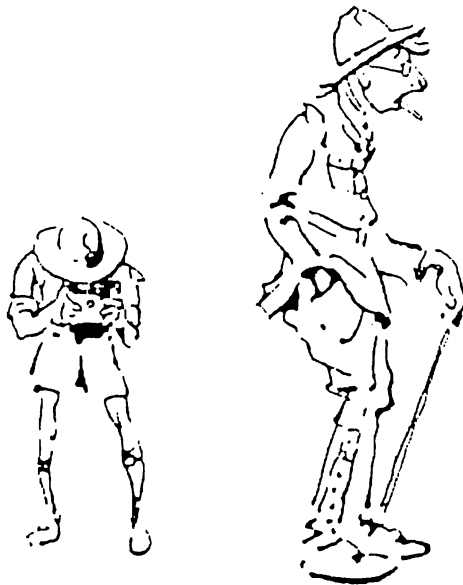
- 150 実例に勝る教育はない。

Aids, WB, 33頁 邦訳49頁(また、SFB(26版)298頁 旧邦訳515頁「我々の訓練の大部分は、実例によるものである」；同様の考え方がSFB(26版) 1940年の序文22頁 旧邦訳51頁にある；GG, 171頁；RTS, 128頁 邦訳195頁；Aids, WB, 4頁 邦訳4頁；TS, 1931.11)

- 151 少年たちの目からすると意味があるのは、大人のしていることで、決して口で言っていることではない、ということは疑いのないところである。従って、隊長は正しい動機に基づいて正しい行動をなし、それを見せびらかすのではなく、自分がしていることを見せるという非常に重い責任を担っている。

Aids, WB, 40頁 邦訳60頁

(1) サミュエル・ジョンソン博士(1709-1784) (訳注；英国の文学者、英語辞典を作ったので有名) の次の言葉も参照のこと「実例は教訓より、常に有効である」ラセラス (小説) 29章



- 152 小規模なキャンプでは、大抵のことが隊長の示す手本によって行われる。隊長は、少年たちの中で暮らし、少年たちに見守られ、無意識の内に真似をされるが、そのことに、恐らく隊長自身も気がつかないだろう。
- もし、隊長が怠け者なら、少年たちも怠け者になるだろう。もし、何

時も清潔にしていれば、彼らもそうするだろう。もし、隊長がキャンプの作品をうまく作れば、少年たちは直にライバルになるだろう。

Aids, WB, 51頁 邦訳79頁(同趣旨のものがHQG, 1919.8)

- 153 自分自身でしようと思わないことを他人に奨めたことはない。

RTS, 50頁 邦訳75頁

- 154 少年たちというのは、恐ろしいほどの模倣家である。私は恐ろしいという言葉をおざと使ったのだが、それは私たちが少年たちに示す例が、少年たちにどんな害を及ぼすか、あるいはどんな利益をもたらすかを考えると恐ろしい気持ちで一杯になるからである。

少年たちというのは、自分たちより年上の者で、人柄や行いを賞賛された者を英雄視したがるものである。

RTS, 233頁 邦訳350頁

陽気さ／規律／肯定的教育と否定的教育／班長たち／スカウターの役割／奉仕の項も参照のこと

名声

- 155 「噂されることと名声は、同じものではない」

RTS, 169頁 邦訳256頁

救急法

- 156 救急法は、重要で難しい問題である——難しいからこそ、細心の注意と正確さ、精密さ、それに常識を必要とする（これらは全て普通の少年には、自然には備わっていない資質である!）

WCH(15版), 175頁 邦訳315頁

一級スカウト（ガイド）

- 157 一級スカウトになるまでは、スカウト訓練の完全な価値を本当に手にしたとは言えない。

Aids, WB, 34頁 邦訳50頁とHQG, 1914.2(BPO, 49頁に再録)

- 158 二級スカウトの段階で腰を下ろして、留まっていることに満足しているようなガイドは三流の少女にすぎない。

GG, 121頁

元スカウト／ガイド

- 159 外国においては、数百万人の大人たちが、我々の訓練を経験している。性格、健康、積極的に人の役に立つこと、愛国心などの他に、階級や信教、国家にはこだわらない広い意味での友情や兄弟愛を学んでいる。このようにして、各国の人々の間には、相互間の仲間意識や平和への確固とした意志が、今は僅かでも、日を追う毎にしみわたっており、その機運は大きく育っているのである。

1931年のものだが、出典は不明;Facets of B-P 18頁からの引用(オーストラリア連盟発行)(同趣旨のものがJamboree,1937.1にもある)

友情

- 160 友情というのは、ブーメランに似ている。友情を他の人に次々と与えたなら、その友情はあなたに帰って来る。あなたから出た友情は、他の人に伝わるにつれて強さを増し、ブーメランが投げた人の所に戻って来るのと同じように、善意はあなたの所へ帰って来る。

SRW,98-99頁 GS訳84頁に一部訳がある

- 161 あなたが会った人に対して、恐怖感や嫌悪感を抱かねば、相手も同様に不安や疑いの念を抱かないで、あなたに好意を持ち友達になれるだろう。

PYOC,60頁

少年の本質／少年の力／協力／平和教育の項も参照のこと

ゲーム

- 162 スカウティングの目的の一つは、チームによるゲームや活動を少年たちに与えることである。これらは、少年たちの健康と体力を増進し、性格の発達を促すものである。

Aids, WB, 45頁 邦訳69頁

- 163 フットボール、野球、バスケットボール、ウサギ狩りごっこ、水泳、それにスカウトのゲームは、私から見て最高の体操である。なぜなら、そのほとんどは倫理教育をももたらすし、経費もかからない。その上、整備されたグラウンドや設備も必要としないからである。

HQG,1919.1(部分的にAids, WB, 45頁 邦訳69-70頁に再掲載されている)

- 164 重要なことは、可能な限りあらゆるゲームと競技を用意することである。そうすれば、スカウト全員が参加できる。というのは、我々は単に一人か二人の立派な選手を育てるだけで、後の者は全く駄目だというようにはしたくないからである。全員が練習をして、うまくなるべきである。

Aids, WB, 45頁 邦訳70頁

での悪い少年／スカウティングの定義／スポーツの項も参照のこと

贈り物

- 165 あなたが貰ったプレゼントは、それをくれた人に、あなたがお礼を言うまではあなたのものではない。

SFB, WB, 240, 250頁 邦訳337, 353頁 旧邦訳 394, 411頁 GG, 66-67頁 GS訳 8頁 YFBS, 188頁

- 166 ほとんどの人は、いわゆる「天分(gift)」と言われるものを隠し持っている。ある者は、生まれつきの画家であったり、俳優であるかもしれないのに、食料雑貨店に勤めていたり、大工さんとして働いている。また、ある者は巧みな手品師や歌手であるかもしれないのに、ウェ이터や機関車の火夫をして生計を立てている。

では、なぜ「天分(gift)」と言われるのであろうか？

そう、それは本来的な資質——神から与えられた贈り物(gift)だからである。それ故、その資質を持っている者は、神のためにそれを役立てるべきである。このことは、その贈り物を他の人々に再び与えることによって可能となる。

自分の才能を自分自身のためよりも、他の人の役に立つように使うようにしなさい。そうすれば、神の御業を行うこととなるし、また幸福の意味を見いだすことにもなる。

RTS, 152-153頁 邦訳231-232頁

ギルウェル訓練

- 167 ギルウェル・スカーフは自分は特別なものだと、あなたに思わせるためのものではない。隊や地区はあなたに、これまでと同様に最高の献身を要求するであろう（スカーフを外部に示すものとして、隊と行動する時は隊のものをギルウェル・スカーフに替えて身につけるべきである）

HQG, 1923.10

女の子たち

- 168 一緒にいるところを、母親や姉妹に見られたくないような女の子と時を過ごしてはいけない。

結婚する気がないような女の子と恋愛ごっこをしないこと。

妻や子供を養えるようになるまでは、結婚しないことだ。

SFB, WB, 240頁 邦訳337頁 旧邦訳393頁

- 169 今日の多くの女性は、その人生の中で困難な仕事に取り組みたがっている。困難と危険に相對し、立ち向かうには技術と勇気を身に付けねばならない。

GG, 58頁 GS訳28頁

- 170 社会で働くとき、女の子が男の子と同じ能力であるなら、その女の子にも男の子と同じ機会を与えるべきである。すなわち、性格、技能の修得、肉体的健康を同じように身に付けられるような機会と、それらを身に付けたら同じように使う機会を与えるということである。

GG, 164頁

- 171 女性にとって、仕事上の成功は終着点や目的ではないし、人生最大の喜びでもない。彼女の眼前には、仲間として、また保護者として人生を分かち心に叶った男性と人生の聖堂である自分の家庭を築くという輝かしい報酬がある。（彼女がいかに自分は独立し、自信があると感じていても、強い愛情のこもった健康的な腕の中で、身体を休めるといふ喜びが、そこにはある）そして、次に子供である（子供は本当に可愛いものだが）考え、行動ともに正しい方向へ導くべく熱心に教育することだ。

GG, 167頁



172 淑女と下品な女、女も色々いる。

RTS,121頁 邦訳184頁

173 この世には、きちんとした女性と飾りだけの女の両方がいる。

RTS,121頁 邦訳184頁

神

174 神へのつとめを果たす時には、常に感謝しなさい。楽しんだ時、面白いゲームをした時、善いことをするのがうまくいった時には、食事の時にお祈りをするように、例え一言二言でも神に感謝しなさい。

SFB, WB, 249-250頁 邦訳353頁 旧邦訳410頁 GG, 66頁 GS訳6頁

175 神に忠誠をつくすというのは、神のことを決して忘れず、何をする時にも神を思い出すということでもある。もし、神を忘れないなら、あなたは間違ったことは決してしないだろう。もし、あなたが何か悪いことをしている時、神を思い出すのであれば、それを途中で止めるだろう。

神は、いつもあなたに善いことをして下さったのだから、あなたはお返しに、神に何かをしなければいけない。すなわち、これが神への務めなのである。

GG, 20頁 GS訳24頁に前半部分の訳がある

176 自分の思考を目で見ることはできない。しかし、思考があることは分かっているし、何か仕事を成し遂げた時、それが思考の結果だということが分かるのである。同じように、神は目には見えないが、思考と全く同様に、存在している。そして、善い行いをした時に、神の存在

が分かるのである。時として、善いことをしなかったり、神が示さなかったような行いをするかもしれない。そういう時は、恥ずかしさを感じるだろうし再びそんなことはすまいと考えるだろう。そういうことから、何かをする前には、よく考えて自問してみることだ。「神は、私がこうすることをお望みだろうか?」と。もし、心の中に「そうだ」という言葉が浮かべば、実行することだ。逆に、「違う」という言葉が浮かべば、しないことである。最初に考えてから実行に移すなら、正直で清潔な人生を送ることは難しいことではない。

GG,101頁 GS訳28頁に前半部分、38頁に後半部分(同趣旨のものがRTS,195頁邦訳294頁)

- 177 自分の果たす「神へのつとめ」は、人生航路のために神が備えてくれた才能を神聖なる信託として、いつくしみ育てていくことだということ。少年は知らねばならない。素晴らしい理性と記憶力、それに感謝の心を持った知性は、動物の世界よりも高い次元のものである。そして魂、すなわち、心の内面にある神の片鱗である愛は、絶えまざる表現と実行によって、育て強くしていけるものである。このようにして、我々は単に神の情け深さにすぎるのではなく、隣人に愛を実行することで、神の意志を果たすことが、神へのつとめだということを少年たちに教えるのである。

Aids, WB, 67頁 邦訳103頁 GS訳74頁に一部訳がある。

- 178 神はある種の人々が想像するような何か心の狭い人ではない。それは、形式や教義、宗派などの細かな違いは問題にしないような大きな愛の心であり、自分の才能に応じて、全力を尽くして神に仕えようとしている者を祝福するものである。

RTS, 195頁 邦訳294頁

キャンピング／困難／能動的教育と受動的教育／贈り物／善意／幸福／動物への愛情／自然／肉体的健康／祈り／宗教／奉仕／戦争／世界兄弟愛の項も参照のこと

上進

- 179 昔の騎士は危険な所に赴き、自分の庇護者、国、貴婦人の名誉のために闘ったものである。
今日のカブは、カブ隊の名誉のためにボーイ隊に上進することができる。
前途に危険や困難が予想されればされるほど、カブたちは胸を張って、

前進しなければならない。

WCH,150頁 邦訳254頁

- 180 [上進するカブに] ボーイ隊では、自分自身で考えねばならないし、自立しなければならないだろう。もし、仲間がスカウトらしい働きをしていると思えなければ、仲間に従うのは自分から止めるべきである。物事が退屈で、困難に見えるからといって、自分から投げ出すようなことはないようにしないとイケない。必要なのは、本当の勇気と堅実さである。

WCH,151頁 邦訳255頁

カビングの項も参照のこと

善行

- 181 私は「善行」と言う言葉で、諸君が人々の役に立ち、ちょっとした親切をするようにということを意味している。その相手が友人であろうと知らない人であろうと。これは難しい問題ではない。これをするのに最も良い方法は、毎日誰かに少なくとも一回は「善行」をしようと決意することである。そうすれば、直に善行が習慣になるだろう。「善行」は、どんなに小さいものでも構わない——例え、それが老齡のご婦人が道を横切るのを助けることであつたり、悪口を言われている誰かに言葉をかけるといったことでも。大切なことは、何かをするということである。

1901.7にロンドンのボーイズクラブ宛にトランスヴァールから書いた手紙で、Facets of B-P,17頁より引用 GS訳118頁に同趣旨のものがある（同じ考えがYKE）



182 スカウトは他の人々、特にお年寄りや子供たちを助けるためには、あらゆることをする。スカウトは、一日に最低一つは善いことをする。
SFB, WB, 234頁 邦訳330頁

183 スカウトのちかいを立てたら、名誉にかけて「毎日、誰かに一つ善いこと」をすること。しかし、スカウトは一日にたった一つだけ、善いことをすればよいという風に考えてはいけない。スカウトは一日に一つは、善いことをしなければいけないが、もし五十個できるなら、それにこしたことはない。

SFB, WB, 15頁 邦訳19頁 旧邦訳 76頁
「良い青少年を作るには」27頁に後半部分の訳がある。

184 毎日の生活の中で、何か善いことをすべきである。
SFB, WB, 235頁 邦訳329頁 旧邦訳385頁

185 善行というものは、友達にするだけではなく、知らない人、例え敵に対しても行いなさい。
SFB(26版)225頁 邦訳329頁 旧邦訳386頁
(SFB, WB, 235頁 旧邦訳406頁に少し変えて)

186 少年というものは、生まれつき善いことをするという本能を持っているものだ。もし、その実際的なやり方さえ分かれば、この善行という仕事は、本能を満たし発達させる。そして、これを発展させることが隣人にキリスト教徒としての慈善の心をもたらすことになる。
Aids, WB, 41頁 邦訳61頁

187 どんな善いことをしたかとウルフ・カブに聞いたら、まだ一つもしていないと応えた。その大きな理由は、自分が小さすぎると考えているからだ。さてさて、彼の言っていることは馬鹿げたことだ。というのは、一つの小さな善行をするのに小さすぎるといふことはないからだ。例え、その善行が他の人に微笑むだけのことであっても、人々を幸せな気持ちにさせるからだ。

AA, 34頁
少年の本質／宗教／奉仕／チップ／ユニフォームの項も参照のこと

善意

- 188 善意(goodwill)は神のご意志(God's will)である。

RTS,16頁 邦訳22頁

協力／ジャンボリー／ローバーリングの項も参照のこと

ガイディング

- 189 ガールガイディングには、二通りの意味がある。ある者にとっては、ガールガイドとして、ゲームをする喜びであり、またある者にとっては少女たちを導くという「役割を果たす(play the game)」楽しみである。

GG,説明

- 190 ガールガイドは姉妹である。これは、この一員である者は上から下まで姉妹(年上と年下の姉妹)として働く喜びを持って共に働くということを意味している。

GG,173頁

- 191 個人的な考えだが、スカウティングとガイディングの二つの内、少女たちの部門の方がより重要だと思う。なぜなら、少女たちは次の世代の少年たちの母親になるからである。

SYM,17頁 GS訳72頁

- 192 「ガイズ (Guides)」という名称は、ロマンスと冒険の意味合いを意図したものだが、この名称には将来は男たちを導き、さらには自分の子供たちを良い方向に育て上げるという責任があることも示しているのである。

LVL, 303頁 GS訳128頁

スカウティングの目的／共学／ゲームをする／スカウティングとガイディング／世界兄弟愛と愛国心の項も参照のこと

障害児スカウティング

- 193 [オリンピア] ジャンボリーに、もっと肉体的な活動を増やすとすれば、我々は極端に耐久力を競うことが肉体的に可能ではない少年たちのことを考えて、機会を与えねばならない。我々は特に、体の弱い人たちに、その弱さを感じさせないようにし、希望と力強さを勝ち取ら

せたい。

HQG,1920.5

- 194 スカウティングを通して、数多くの手足、耳、口、目の不自由な少年たちが、今ではこれまでに得たことのない大きな健康、幸福、そして希望を手にしている。こうした少年たちの多くは、通常のスカウト考査の全てにはパスすることはできないので、特別に変更した考査を行っている。この少年たちの素晴らしい所は、彼らの陽気さと熱心さで、自分たちのできる限りのスカウティングをしようとしていることである。彼らは絶対に必要だと思わない限り、これ以上の特別な考査や扱いをしてもらいたいとは思っていない。スカウティングは、彼らを世界的な友情で結びつけ、何かしなければならないことを与え、さらには自分を試す機会を与えることによって将来を見つめさせ、自分には何かができるのだ、難しいことでもできるのだということを自分自身そして、他の者に対して証明する機会を与えることによって、こうした少年たちを援助している。

Aids,WB, 56頁 邦訳87頁

幸福

- 195 幸福になるということこそ、唯一の本当の成功である。

RTS,15頁 邦訳20頁 LVL,312頁

- 196 幸福になるための二つの鍵は、

——物事をあまり深刻に考えないようにするが、自分のベストをつくすこと。そして、人生はゲームで、世界はその競技場だというふうに眺めることである。

——自らの行動と考えを、神の愛によって導かれるようにすること。

RTS,16頁 邦訳21-22頁

- 197 幸福は誰の手にも届く所にある。それは、貧乏人であろうと金持ちであろうとだ。にも拘らず、幸せな人は比較的少ない。

RTS,17頁 邦訳23-24頁

- 198 多くの人は「快樂」と「幸福」を同じものだと思っている。これが間違いの元である。

RTS,18頁 邦訳25頁

199 本当の幸福というものは、ラジウムのようなものである。これは、愛の一種であって、与える量に比例して増すものである。

RTS,20頁 邦訳27頁 GS訳56頁(Jamboree,1928.7にも)

200 他の人たちの役に立てるような力を持った楽しい家庭は、最高の幸せをもたらすことができる。

RTS,20頁 邦訳28頁 GS訳58頁

201 [キャンプに] 行く前も行っている間も「他のカブたちのために、僕はこのキャンプを、これまでで一番楽しいものにするぞ」と心に言い聞かせることだ。

WCH,141頁 邦訳235頁

202 幸福というものは、座って待っていてもやって来ることはない。

LS,113頁(同趣旨のものがRTS,16頁 邦訳21頁)

203 後悔することの最も少ない人こそ、最も幸せな人である。

TS,1933.12

204 どんなにお金が無かったり、身体が弱かったとしても、何時でも他の人々に陽気な輝きをもたらすことはできる。そうすれば、自分自身に最高の幸福がもたらされるということを覚えておきなさい。

Jamboree,1939.7

205 私は最も幸福な人生を過ごした。だから、あなたたち一人一人も私と同じように、幸福な人生を送って欲しいと思う。

SFB,WB,295頁にあるスカウトたちへの最後のメッセージ

206 神は、私たちが人生を幸福に楽しむよう、この世界に送られたものと私は信じている。幸福を手にする本当の方法は、他の人に幸福を与えることである。

SFB,WB,295頁にあるスカウトたちへの最後のメッセージ

(同趣旨のものがATM,160,177頁;YKE,24頁;WCH,42頁 邦訳69頁;GG,20頁 RTS,15,128頁 邦訳20,195頁;HQG,1920.2(BPO,92頁に再録)(また、GG,166頁に「そんなことをするような怠け者を、私は無視する」と付け加えられている)

207 幸福とは、金持ちになったり、単に仕事の上で成功したり、ましてや好き放題にすることで得られるものではない。幸福になる第一歩は、

少年の間に自分を健康かつ強壮にしておくことである。そうすれば、大人になった時に役に立つことができるし、人生を楽しむこともできる。

SFB, WB, 295頁にあるスカウトたちへの最後のメッセージ

- 208 自分が手にしたものに満足し、それをできるだけうまく使いなさい。

SFB, WB, 295頁にあるスカウトたちへの最後のメッセージ

(同趣旨のものがWSCD, 141頁とMSK GS訳 104頁に「自分が手にしたものはベストをつくり、無いものねだりはしないこと」)

- 209 他の人々を幸せにしましょう。そうすれば、あなた自身にも幸せがもたらされるでしょう。これを実行することは、神があなたに望まれたことを実行することになるのです。

ガールガイドへの最後のメッセージ GS訳 104頁

スカウティングの目的／陽気さ／カビン／贈り物／善行／障害児スカウティング／結婚／宗教の項も参照のこと

天国

- 210 賢い人は、はっきりしない来世の天国などを当てにしたりはしない。それは、自分自身の天国を、今、生きている世界で自分自身で作ることができることを知っているからである。

天国は、天のどこにあるのかはっきりしないものではなく、この世界のすぐそこ、そう、あなたの心とその周囲にあるのだ。

RTS, 18頁 邦訳25頁 GS訳56頁 (同趣旨のものが、RTS, 127-128頁 邦訳194頁それに1926.7.2のスカウト／ガイドコミッショナー会議の演説とガイドへの最後のメッセージ)

趣味

- 211 趣味は悪魔の卑劣な策略に対する解毒剤である。

Aids, WB, 58頁 邦訳90頁 GS訳42頁

- 212 趣味を持っている人には、無駄に過ごす時間はない。

RTS, 46頁 邦訳69頁 GS訳52頁

名誉の観念

- 213 スカウトは、何よりも名誉を重んずるべきである。

- 214 ガイドが「その通りです」と言った場合、それは、彼女が最も厳粛な誓約をしたのと同じ位に、信頼できることだということを、皆が知っている。

もし、ガイドが命令あるいは仕事を実行する時は、名誉をかけて行うということで、信頼されるなら、それがどんなに困難であろうとも、全力をあげて実行しないとけない。

もし、ガイドが嘘をついたとするなら、彼女は自分の名誉を損なうだけでなく、仲間のガイドたちの名誉も落すことになる。

GG, 60頁(SFB(26版)45頁 邦訳vi頁 旧邦訳91頁にもほとんど同じものがある)

- 215 おきての第一は「スカウトの名誉は信頼されることにある」だが、これには、スカウト全員の将来の行動と規律がかかっている。スカウトは正直であることが期待されている。

信頼は我々の道徳訓練の全ての基礎である。

Aids, WB, 33-34頁 邦訳49-50頁 (同趣旨のものがSFB(26版)236頁 邦訳340頁 旧邦訳396頁)

善行の項も参照のこと

独立心

- 216 もし、11番目のおきてがあるとすれば、「スカウトは馬鹿ではない」といったものであるに違いない。スカウトは自分で十分に考え、物事を両面から眺めて、正しいと思うものを勇気を持って支持するものだ¹。

WSCD, 15頁(同趣旨のものが、WSCD, 17頁と Aids, WB, 31-32頁 邦訳47頁)

(1) ここと次に続く引用句の「問題の両面を眺める必要性」というのは、イギリスの伝統的自由主義の線に沿ったものである「問題を自分の側からだけ知ろうとする者は、問題がほとんど分かっていない」(ジョン・チュワート・ミル、自由論第2章 邦訳岩波文庫76頁)

- 217 自分のカヌーは自分で漕げ²。

WSCD, 164頁にある漕艇章のモットー(RTS, 22頁 邦訳31頁)

(2) この有名な文章は(また、B-Pが1939年に出版した本の書名である)フレデリック・マリアット大尉(1792-1848年、英国の海軍大尉で小説家)の「人は全て自分のカヌーを漕げ(カナダの開拓者、第8章)」の模倣であろう

- 218 あなた方の多くは、父親か友人が属しているのであれば、保守党や自由党、労働党あるいはどんな党であれ、所属する気になるであろう。もし私があなたの立場であれば、そうはしない。私なら、それぞれの政党が何を言っているかを聞くであろう。一つの政党に耳を傾けていると、それが正しくて、他党はみな間違っていると必ずや思ってしまうだろう。しかし、別の政党に行って話を聞けば、結局は前の方が間違っていて、後の方が正しいと思うこともあるだろう。

SFB(26版)269頁 邦訳403頁 旧邦訳469頁

- 219 群衆の中にいる時、みんなのすることで自分を見失わないようにするのは、良い習慣である。自分の視点から物を眺め、それに従って行動しなさい。

YFBS,172頁

- 220 個人の判断力は、重要である。我々が求めているのは、立派な男になろうとする男であって、臆病者ではない。

HQG,1912.6(BPO,29頁に再録)

- 221 群衆というのは、時として愚かなものである。自分たちで考えないし、問題の両面を見て悩むこともない。

RTS,39-40頁 邦訳58頁

- 222 問題と同様に、コートには、裏と表の両面がある。それを始末する前に、その両方を使ってみるべきである。

RTS,62頁 邦訳93頁

- 223 民主主義にとっての危険人物とは、自分で考えようとしなくて、まっすぐ歩くのを習ったように、右へ習え的に、真っ直ぐに考えようとする人である。

RTS,149頁 邦訳226頁

- 224 物事を行う過程の中で、自分自身が判断したり、良心に従う練習をしないままに、結論を下すようになることは、危険なことである。

SYM,14頁 GS訳72頁

スカウティングの目的／広い心／上進／平和教育の項も参照のこと

個人と地域社会

- 225 個性が発達しすぎると自分勝手な人間になってしまう。これは、我々が求めるものとは正反対のものである。性格を伴った個性というのは、これとは別のもので、自立、活力、能力、騎士道精神、忠誠心その他、立派な人間を作る諸々の資質を持っている人を意味している。そして、これらの資質が地域社会への奉仕に使われる時に、その人は立派な人間という以上に立派な市民といえよう。

RTS,97頁 邦訳146頁

- 226 個人の自由は、社会の幸福を全体として妨げない場合においてのみ正しいといえよう¹。人は誰でも自分の意見を持つことは、歓迎すべきことだが、それにも一定の限界がある。我々は、現在ほとんどの国（そこでは、人間は自分が決して過ちを犯していなくても、間違った組織と状況を通して、不幸かつみすぼらしい存在として、生きることを余儀なくされている）の文明を覆っている不名誉を取り除こうとする真に公正な社会主義には賛成である。神の手によって、この世に送られた全ての人間は、窮乏という人の作った境遇を最初からハンディキャップとして負わされることなく、最高の生活を楽しみ作り上げる公平なチャンスを持てるようにしたいものである。

RTS,140頁 邦訳210頁

(1)「個人の自由は、このように今後も制限しなければならない。すなわち、人は他の人の迷惑になってはならないのである」

(ジョン・スチュアート・ミル、自由論第3章 邦訳岩波文庫210頁)

率先

- 227 重要な仕事を引き受けたら、あれやこれや質問しないで、先ず実行すること。そうすれば、人生も成功するだろう。

YFBS,157頁 GS訳12頁

- 228 ゲームをしている時、キャプテンが「突っ込め」とか、誰かに「パスしろ」と何時も指示して欲しいと思っははいけない。そうしたことは全て自分一人ですることだ。キャプテンが自分に何を期待しているのかを知り、何も言われなくても自分でうまく処理することだ。

WCH,33頁 邦訳47頁

- 229 私が指摘したいのは、チャンスは決して逃がすべきではないというこ

とだ。さもなくば、後悔するだろう。チャンスは二度と巡ってはこないだろうから。あなたのモットーを「今、すぐにやる」にすべきだ。

YKE, 24頁 GS訳20頁

教育と教授の項も参照のこと

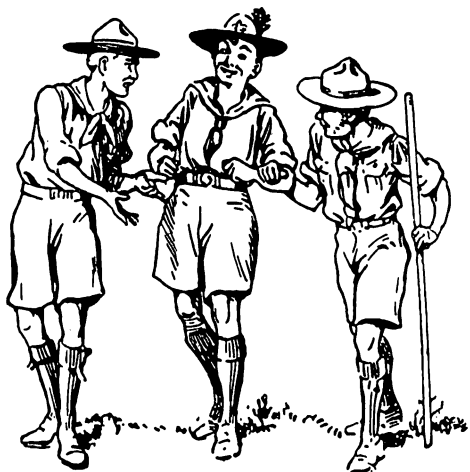
ジャンボリー

- 230 ジャンボリーと言えば、その提案がされた時は、何時も多くの批判がされるといのは、面白いものだ。その一つを書いてみると、「どうして『ジャンボリー』という言葉を使うのですか？」私の唯一の答えは「じゃー、あなたならどう言うんだね？」答えはなかった。

HQG, 1920.6

- 231 私が繰り返し言いたいことは、ジャンボリーの際、我々は少年たちに他の国の少年たちとキャンプをしているということだけで、満足させないようにすることだ。また、少年たちが共に過ごす少ない時間をうまく使って、未来の仲間である世界のスカウトたちと知り合いになり、そして友情を育てるように励まさなくてはならないということである。そうすれば、少年たちはそれぞれジャンボリーから自己への新たな責任感、すなわち、自分の地区に平和と善意の使徒が持つ責任感を携えて帰ってくることができるのである。

Jamboree, 1929.7



- 232 スカウト運動は、世界中に拡がった仲間たちである。何時かジャンボリーに行くことがあれば、様々な国から来たスカウトたちに会えるだろう。

SFB, WB, 284頁, 邦訳406頁

- 233 普通の少年のスカウト生活というものは、比較的短いものである。そして、様々な年代のスカウトたちが少なくとも一回はラリーに参加するのは良いことである。何故なら、そうすることによって少年は、自分が本当に偉大な友愛団体の一員だということが分かるようになるし、同時に他の地区や国のスカウト仲間と個人的に知り合いになることができるからである。

TS, 1932.9(BPO, 151頁に再録)

- 234 時折、私は次のような質問をしてみる「ジャンボリーは、少年にとって良いことなのか、それとも運動にとってか、国にとってか、あるいは国際関係にとってなのか？」個人的には、私はこれについて意見を持っているが、この種の決定をする前には、何時も私が最も良いと考えている権威者に相談することになっている——すなわち、それは少年たち自身にである。

1937年のハーグ国際会議での閉幕演説

リーダーシップ

- 235 よく引用される言葉に「先ず従うことを学んだ者のみが、指導することができる」というのがある。その通りだが、多くの決まり文句と同じように、この言葉にも限界がある。私は、指導することを学んだ者が、指導者になるのが好ましいように思う。

HQG, 1918.6(BPO, 71-72頁に再録)

- 236 「さあ、やろう」であって、「さあ、やれ」ではない。仕事を成し遂げたいならば。

E.K. ウェード (訳注; 1914年から1941年まで、B-Pの私設秘書を務めた人「B-Pと27年」という著書がある) による引用 GS訳 114頁

- 237 指導者であることと指揮者になることとは違う。どんなに馬鹿な者でも命令を拒絶する者に罰を与える力を充分に備え、自分を支持させることができる者であれば、指揮することはできるし、人々を命令に従わせることはできる。しかし、指導すること、すなわち人を自然に従

わせて大きな成果をあげるといふこととは別のことである。

LS,93頁(また、LVL,184頁「どんな馬鹿でも命令することはできるが、立派な指導者になるためには、人間についての大家にならないといけない」)(また、TS,1934.10)

- 238 リーダーシップは成功への基調をなすものである——しかし、リーダーシップは定義し難く、指導者は見つけ難い。私がしばしば言っていることだが、「どんな馬鹿でも、指揮者にはなれる。そして、訓練された者はしばしば教授者(instructor)になれる。しかし、指導者はもっと詩人に似ている——生まれるものであって、作られるものではない」指導者に求められる資質としては、四つの基本的なものがある。

- 1、自分の目的の正当性について、心から信頼と信念を持っていること。
- 2、陽気で精力的な個性と共に、従う人たちに対する思いやりと友情あふれた理解を持っていること。
- 3、自分の仕事をよく知ることを通して、自分に自身を持つこと。
- 4、自分が教え諭すことは、自分自身が実行すること。

リーダーシップの本質を電文風にまとめてみると、「仲間意識と能力」である。

TS,1936.11(BPO,167頁に再録)

- 239 個人的なふれあいによるリーダーシップは、この運動において我々が成功する基調となるものである。

TS,1936.11(BPO,168頁に再録)

班長たち／班制度／スカウターの役割の項も参照のこと

実行によって学ぶ

- 240 全てのスカウトは見習から始め、最初は多少の失敗をする。ナポレオンに言わせると「失敗をしたことがない者には、大したことはできない」ということだ。

YFBS,33頁(同趣旨のものがSFB,WB,255頁 旧邦訳417頁とLVL,219頁)

(1)この発言は、ここではナポレオンのものとされているが、B-Pはまたマフェキングの包囲戦の始まりに当たって(1989年10月)、守備隊員に与えた内務令の中でも、この言葉にふれている。そして、それによると別の出典でE.J.フェルプス(1899年1月24日のマンションハウスでの演説)とW.C.マギー主教のものだと言っている。

241 子供は何かしら、したがるものだ。だから、それを良い方向でやるよう励まして、自分のやり方でやらせることである。そして、失敗をさせなさい。子供が経験から学ぶのは、失敗することによってである。
HQG,1916.1(BPO,59頁に再録)

242 プディングがおいしいかどうかは食べてみることだ。(訳注；諺で、「論より証拠」)
料理章のモットーとして WSCD,164頁

243 少年たち自身がしないといけないことに、あまり手出しをしないことだ。彼らがすることを見ていなさい。「自分が何かしたい時は、自分でしないことである」というのは、正しいモットーである。
Aids,WB,51頁 邦訳80頁(GG,160頁に班長に対して同じ忠告がある)
絵を描くことの項も参照のこと

人生

244 この世で人生を過ごす間に、あなたの後続く人のために何か良いことをするようにしよう。
Aids,WB,250頁 邦訳353頁 旧邦訳411頁 GG,67頁 GS訳6,40頁

245 人生は議論したりするには短すぎる。
HQG,1914.8(BPO,53頁に再録)

246 少年が幸福な市民になるようにする訓練には、二つの単純かつ強力な助力を必要とする。すなわち
1、少年自身に生れつき備わっているわき上がるような情熱
2、訓練する人自身の人生経験
HQG,1920.2(BPO,90頁に再録)

247 死が刻一刻と迫り、一瞬一瞬が貴重である時の最大の苦しみは、大したことはない問題に、人生の多くの時間を使ってしまったという感情である。
GG,171頁

248 私は何時も奇妙に思うのだが、人は死ぬ時に人生で得た全ての知識を、そのまま持ち去ってしまう。
RTS,14頁 邦訳18頁

良い方法が分からない時は、心理学の本を研究する代わりに、この問題に関するより良い権威者——すなわち、少年自身——に相談するなら、時間と気苦労が省けて、思考力と視野が養われるであろう。

HQG, 1922.10

ジャンボリー／沈黙の項も参照のこと

地域的条件

- 257 隊長たちの多くは、私があらゆる項目を詳しく教えるべきだと思っていることだろう。しかし、現実的にはこれは不可能である。というのは、ある一定の場所の特定の隊あるいは、ある種の少年には向いているものが、そこから1マイル以内にある他の隊には向いていないかもしれない。ましてや、それが世界中に広がった全く異なった条件の場合は、もっと向かないであろうから。

Aids, WB, 25頁 邦訳38頁

- 258 スカウティングの方法を仕事に適用する場合、一定の規則を厳密に強制することはできないということを知っておかねばならない。また、その地方の事情や環境に合わせるには、かなりの常識を適用しなければいけない。

TS, 1931.10

退団

- 259 少年たちがやめるなら友達として去るように見送ってやり、「卒業生」としての関係を保つことだ。

彼らが去るに当たっては、悲しまないことだ——その多くは帰ってくるだろう。スカウトは全員、スカウトとして過ごした期間に何かを掴むだろう。それは、一生身についているだろう。

我々の仕事は単にスマートで「見せかけ」だけの隊を維持することではなく、我々が出来る限り、多くの少年たちを我々の性格形成工場を通過させるようにすることである。同時に我々が少年たちを長く磨けば磨くほど、結局は彼らはもっと優れた男になるであろう。

HQG, 1911.11

- 260 楽しい笑い声や競技に勝ったことの喜び、それに新たな冒険に対する新鮮な興奮などに満ちているような隊では、退屈から退団する者などはいないに違いない。

動物への愛情

- 261 スカウト（ガイド）はできるだけ、動物に苦痛を与えないようにすべきである。そして、どんな動物も不必要に殺すべきではない。神の作られた最も小さな生き物でさえもだ。

SFB(26版)46頁 邦訳viii頁 旧邦訳93頁とGG,61頁(また、SFB, WB,12頁 邦訳15頁 旧邦訳72頁)

- 262 自然の中にいる動物たちをずっと眺めていると、とても好きになって撃つところではない。動物狩りというスポーツは、全てウッドクラフトの追跡にあって、殺すことにあるのではない。

SFB, WB,12頁 邦訳15頁 旧邦訳72頁 YFBS,39頁 WSCD,70頁(同趣旨のものがLVL,105-107頁)

- 263 動物は、あなたと同じように神がお造りになったものである。従って、動物も我々の仲間である。動物は我々の言葉を話すことはできないが、我々と同じように喜びや苦痛を感じることができるし、親切にしてくれる人に感謝する気持ちも持っている。

スカウトは足、目、耳、口の不自由な人たちに何時も手を差しのべる。従って、スカウトはまた我々のもの言わない仲間の生き物たちにも善くしてやるのである。

OWF,10頁(同趣旨のものがJamboree,1939.7とMSK序文)

愛と恐怖または憎しみ

- 264 自由に愛が伴えば、奇跡を起こしうる。このことをよく考えて見よう。
HQG,1921.7

- 265 恐怖と抑圧の教育は、これまで余りに横行し、多くの人生を台無しにしてきた。

最近、私に、ある父親が息子の嘘つきを、どうやって治したらよいかと質問した。彼は、疲れるまで息子を叩いたが、効果はなかったと言うのだ。私の返事は「息子を嘘つきにしたければ、叩き続ければよい」というものだった。

嘘をつくのが習慣になるのは、恐怖からである。教育というのは、少年たちが仕事や言語において、最高かつ最も信頼できる自己表現がで

きるよう励ますことにあるのであって、少年を抑圧したり、「調教」するものではない。

HQG,1921.4(また、RTS,128頁 邦訳 195頁「自分の子供を恐怖よりは愛でしつけなさい」)

266 「父親の恐怖は、必ずしも尊敬を意味するものではない」

「鞭は、しばしば卑怯者と嘘つきを作りだす」

RTS,131頁 邦訳200頁

267 ブッダは言った「世界から憎悪を無くす方法は、たった一つしかない。すなわち、愛をもたらすことによってである」自己本位や敵意に代えて、来るべき世代の精神として、善意と平和を吹込むことができる機会、私たちの目前にある。

1924年 フォックスリースでの世界ガイドキャンプにおける歓迎演説
幸福／宗教の項も参照のこと

幸運

268 好機というものは、停留所のほとんどないバスのようなものだ。

SFB,WB,256頁 邦訳362頁 旧邦訳418頁

269 実のところ、一般的に幸運と呼ばれるものは、飛び上がって捕まえるという力によるところが大きい。あまりに多くの者が、座って幸運がやって来るのを待っており、決してやって来ることはないので不平を言っている。

RTS,50-51頁 邦訳76頁

270 「不運」は臆病者である。もし、あなたが不運を恐れたり信じたりすると、それに取りつかれてしまう。もし、あなたがそれに立ち向かって、蹴飛ばし踏みつけるなら、そんなものは無に帰してしまうだろう。

LS,29頁 GS訳70頁

271 幸運というのは、勇氣に似ている。いずれは、あなたも幾らかの幸運を掴むだろう。しかし、それを大きなものにできるかどうかは、あなた次第である。

LVL,16頁

男らしさ

272 本当に役に立つ人間になろうとするなら、三つのものを手に入れるようにしなければならない。

1、健康で強い身体

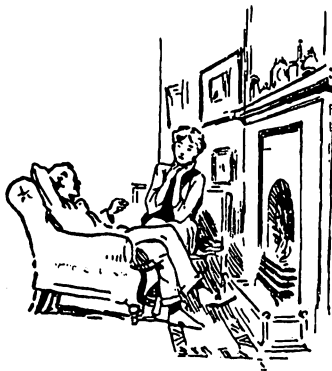
2、何が望まれているのかということを素早く見つけ、実行するに充分な賢さのある知性

3、どんな犠牲を払ってでも、善いことをしようという熱意のある精神

ATM、64頁 GS訳86頁

プレイヤーと見物人／スカウティングの目的の項も参照のこと

結婚



Comrades.

273 妻を選ぶのは、最もデリケートで難しい仕事である。そして、男というものは、美しい顔に惹かれて恋に落ち、その背後にある性格を充分にしっかりと見ない傾向がありがちである。性格こそが、その後の全てを左右するものである。

青年が結婚について求めた忠告に対する返信 GS訳 120頁

274 夫婦というものは、長靴とドアマットの関係に例えて描かれ、この場合は、どちらか一方が虐げられているということになる。しかし、別の描写も有り、それは男と女は友達であり仲間であるとするものである。後者の方が、結婚に対する正しい見方であり、それに沿うことが両方に最大の幸福をもたらすのである——それは、この世界で手にす

ることのできる最大の幸福である。夫と妻が苦楽を共にする仲間であるならば、喜びは倍になり、試練は半分になる。

しかし、そういう仲間になるためには、女の子は、予め自分自身が仕事を知っておかねばならないし、失敗と苦闘し成功を勝ち取る喜びを手にしておかなくてはならない。このことで、伴侶が困っている時、精一杯の思いやりを寄せられるようになるし、また助ける際に役立つことができるようになるのである。

GG,165-166頁

- 275 人生をうまくやっていく一番良いやり方について、私の考えをほんの数語、例えば、50語位で定義するよう言われたことがある。

私は3語で言えると答えた——すなわち、幸福な結婚(a happy marriage)をすることである。私が言っている幸福な結婚とは、数週間か数か月の楽しい新婚生活、そして、その後はお互いの忍耐といったものではなく、長い年月続く新婚生活のことを言っているのである。

LVL,13頁

女の子たち／性の項も参照のこと

軍事訓練

- 276 教練(drill)は個性を破壊する。そして、私たちの主な目的の一つは、個人独自の個性を発展させることである。

私たちの目的は森林開拓者のようなスカウトを作り上げることであって、兵隊のコピーを作ることではない。

SFB(26版)293頁と313頁 旧邦訳506頁 542頁 スカウト運動72頁に類似のものがある。



- 277 私たちの運動には、軍事的な目的や訓練はない。

SFB(26版)1940年の序文22頁と293頁 旧邦訳50頁 506頁

- 278 軍事教練は時代遅れである。集合訓練は、表面的な結果を求めて始まり、査閲によって評価される。一方、スカウトの訓練は少年個人の内にあるものを基礎に始められ、それらが作りだした性格によって評価される。

HQG, 1920.10

- 279 押し付けの規律は反発を誘う。内面からの規律は何も必要としない。
教訓：軍事訓練が、今日の市民性を育てるための最高の手段であると信頼してはいけない。

HQG, 1918.11 (BPO, 78-79頁に再録) (同趣旨のものがHQG, 1914.1 (BPO, 45頁に再録)



- 280 軍事的な訓練と規律は、我々がスカウト運動で教え込むものとは、全く反対のものである。

Jamboree, 1925.10

教育と教授／愛国心／スカウターの役割／スカウティングの定義の項も参照のこと

お金

- 281 ペンス(訳注; Pence, pennyともいう。イギリスの通貨単位で100分の1ポンドのこと)を貯金しなさい。そうすれば、ポンドを手にすることができる。
SFB(26版)239頁 旧邦訳415頁(またRTS、51頁 邦訳77頁「ペンスを大切にしなさい。そうすればポンドは自然に貯まるだろう。」そして、WCH、123頁 邦訳217頁「ペニーを大切にしなさい。そうすれば、ペニーは直にポンドになる。」)
- 282 ある人々は、お金を貯めるのが好きで、決して使おうとはしない。節約することは良いことだが、必要なところにお金を使うこともまた良いことである。事実、それがお金を貯金する目的の一つなのだから。
SFB、WB、235頁 邦訳329-330頁 旧邦訳386頁(同趣旨のものがRTS、52頁 邦訳78頁にある)
- 283 子供の時からお金を稼ぎ始めた人は、大人になってからも稼ぎ続ける。
SFB、WB、251頁 邦訳355頁 旧邦訳412頁
- 284 簡単にお金持ちになれると思ってはいけなない。大きな成果を手にしよ
うと思ったら、小さなことから始めないといけなない。それは、大人に
なるには、子供から始めないといけなないのと同じである。
WCH、125頁 邦訳220頁
- 285 ガイドは、お金を上手に使うことを学び、できるだけ無理なく貯蓄を
する。そうすれば、失業をした時にもお金はあるし、他の人の重荷に
なることもない。それどころか、必要な時には、他の人を助けること
もできる。
GG、62頁(また、SFB(26版)46-47頁 邦訳ix頁 旧邦訳94頁 ほとんど同じも
のがRTS、47、48、51頁 邦訳70、72、78頁)
- 286 お金持ちには限界がある。彼は二つから三つの家を持ち、それぞれに
多くの部屋を持っているかもしれないが、それらの部屋は代わるがわ
るに一部屋づつしか使うことはできない。それは、身体は一つしか
ないからである。そういう点では、お金持ちも最も貧乏な者と同じと言
える。お金持ちも夕暮れを眺めて感動し、夕日を楽しむかもしれない
が、貧しい者でも楽しむことができるのだ。
RTS、16頁 邦訳21頁

287 あなたの周りには、生活必需品に事欠く人がいるというのに、自分自身の贅沢のために、お金を使うことはできない。

RTS,52頁 邦訳78頁

288 最も富んでいる人は、最も欲しがらない人である。

LS,126頁 LVL,12頁

母親

289 母親が自分の息子として誇れるようなことをしなさい。そして、母親を悲しませたり、恥ずかしがらせるようなことは決してしないことだ。母親は、あなたに沢山のことをしてくれたのだから、今度はあなたが母親のためになることをしてあげる番だ。

WCH,35頁 邦訳55頁

290 世界で有名になった人たちの多くが、自分たちの性格と成功は、母親の影響によるところが大きかったということを認めている。これは当然のことである。というのは、母親は彼らが生まれた時から、彼らの世話をし、しつけを行ってきた人だからである。そして、母親は自分の持っているものの最高のものを子供に与えたのである。子供たちは、決して返すことのできない程の恩義を母親に負っているのだ。しかし、この恩を返す最高の方法は、母親の努力に対して感謝の気持ちを示し、彼女の努力に見合うだけの成功を納めることである。

RTS,112頁 邦訳169-170頁(同趣旨のものが The Scout 1914.10.31, WSCD,158頁に再録)

性格／女の子たち／ガイディングの項も参照のこと

登山

291 登山というのは、我々の間ではあまり重要視されていない運動である。しかし、これは若者にふさわしいものであり、筋肉の強さを引き出すだけでなく、これまでのどんな量の教練も作り出したこともないような知力、勇気、そして忍耐力と自立心を引き出すものである。

HQG,1920.5

292 仲間と一緒に山に登って、巨大でこの世のものとは思えない景色の頂上に着いたなら、皆から離れて一人座って考えなさい。

そして、考えながらそこにある全ての素晴らしいインスピレーション

を受け入れなさい。

再び地上に降りた時は、肉体、知力、精神ともに別人のようになったことに気づくであろう。

RTS, 45頁 邦訳67-68頁 Jamboree, 1923. 7

- 293 私にとって山に登ることは、単にスポーツとしての登山のための登山である以上に、何か精神的に高揚するものがある。したがって、身体を鍛えるということ以上に心にとって良いものである。

LVL, 108頁

自然

- 294 自然学習の目的は、創造主である神を実感させる心を育み、自然の美しさが分かるような感覚を吹込むことである。

GG, 110頁 GS訳32頁

- 295 自然学習は、単に学校の正規の授業の様に教えるのではなく、少女一人一人が実際に手で触れたり、やってみたりして、その中でも特に気にいった分野に興味を持って追求することである。

GG, 185頁(同趣旨のものがHQG, 1917. 7(BPO, 64頁に再録))

- 296 自然を研究すると無限のものや歴史上のもの、微小のものが偉大な創造主の御業として、調和のとれた統一体であることが分かる、その中で性と生殖は重要な役割を果たしている。

Aids, WB, 22頁 邦訳33頁 GS訳80頁

- 297 あらゆる不思議なことで最も不思議なことは、教師たちが簡単かつ確かな教育(education)方法である自然学習をいかに無視してきたかということである。そして、教師たちはじっとしていない元気一杯の少年たちが、より高い次元のことを考えるようになるようにするために、聖書教授(instruction)を少年たちに押し付けようと四苦八苦しているのだ。

Aids, WB, 41頁 邦訳61頁



298 戸外はスカウティングの本当の目的であり、成功の鍵である。

Aids, WB, 49頁 邦訳76頁(同趣旨のものが「ウッドクラフト」に言及して
HQG, 1920.10 (BPO, 97頁に再録) GS訳42頁)

299 奥地の森林での生活が、真の男を作るということは、単に肉体的資質の問題ではなく、むしろ精神の発達にある。その時には、自分自身が極めて小さな存在で、自然と顔をつき合わせ、心を通い合わせて毎日つきあっていることが分かる。

夜、遠くの暗闇の中でたった一人、キャンプファイアーの側に座っていると、人は物思いにふけり、深く考えることができる。香りのよい薪の煙が鼻を刺す時、頭上には輝く星が散りばめられ、透き通るような紫色の空が見られる——そして、最も深い沈黙が支配し、時々、鱒が突然飛びはねたり、アビの奇妙な鳴き声に静寂が破られるだけである。心が大きく開かれ、偉大な考えと天啓を受けることができるのは、こうした所だけである。

HQG, 1915.8

300 自然の美しさが分からない者は、人生の半分を失っている。

RTS, 199頁 邦訳300頁

301 一日の終わりに、薪の小さな炎で食事の用意をするに勝る喜びはないし、その火の匂いに勝る香りはない。

丘の中腹の森林地帯に作った寝床からの眺めに勝るものはない。そして、暖かい毛布か薄い紙を下に敷いて、戸外で寝ることに勝るものは

ない。

RTS, 121頁(訳注;212頁の誤り) 邦訳318頁

- 302 ハイキングで、広々とした道を行くのは、自分が至って健康だという喜びをもたらしてくれる。快調そのものだという感覚はなんと素晴らしいものだろうか。また、ハイキングは鳥、植物、そして人を観察する楽しさ全てをもたらしてくれる。それと共に、新たな場所と景色を見するという冒険や自然の美と驚異による高揚感をもたらしてくれる。そして、この全てをあなたの住んでいる場所のすぐ近くで、手にすることができるのです。

しかし、それ以上にハイキングは様々な経験を持った新しい人々と付き合えるようになるし、それは興味深いだけでなく、しばしば非常に役立つものである。こうした付き合いそのものが教育であり、道すがら出会った人々と語り合う機会を見過ごすような者は馬鹿に過ぎない。例え、その相手の容姿、年齢、地位がどんなものであろうと。

TS, 1930.10

- 303 神の作られた丘や木々、鳥や獣たち、そして海や川に囲まれて生活すること——すなわち、自然と共に生き、自分自身の小さなキャンパスの家と道具を持ち、自分の料理を作り探検をする——こうしたものは全て、町中のレンガや煤煙の中では、決して手にすることはできない健康と幸福をもたらしてくれる。

ATM, 90-91頁 GS訳94頁

- 304 自然は春に大掃除をする。私たち、人間もそれに従おう。もう一度、キャンプやハイキングに出掛けて、心も血液もきれいにしよう。

ATM, 157頁 GS訳90頁

- 305 女性のカブ隊長が、カブに博物学を教えて質問をした。「兎は何に覆われていますか——それは、髪か毛か柔らかい毛か、それとも他のものかな？」そのカブは答えた「おやまー、アケイラ（訳注；カブの隊長のこと）は兎を見たことがないの？」

BBA, 108頁

- 306 どうしてアフリカが好きなのかだって？そう、アフリカでは映画、ジャズ、バス、人ごみ、騒々しい通り、ガソリンのムツとする臭い、それに我々が文明と呼ぶあらゆる人口的な生活から逃れることができるんだ。

どうか私に、広い南アフリカの草原とその輝かしい太陽の光を与えて下さい。そこでは、自然の山々、密林、そしてそこに住んでいる現地人たちと顔をつき合わせて生活するのです。私が行ったことのあるケニアやタンガニーカでそうであり、再び行ってみたい所なのです。

AA,73頁

- 307 神は、私たちが住むために美と驚異に満ちた地球を、お与えになった。神は、私たちにそれを見るために目を与えられただけでなく、理解するために心をお与えになった。もし、私たちにその輝きのままに眺められる感覚さえあれば。

ガールガイドへの最後のメッセージ GS訳 106頁

キャンピング／お金／登山／宗教／スカウティングの項も参照のこと

観察と推理

- 308 訓練された二つの目は、訓練されていない1ダースの目に値する。

ATS,3頁

- 309 スカウトが学ばねばならぬことで、最も大切なものの一つは、それが戦争スカウトや狩り人または平和のスカウトであったとしても、彼の目からは何物も逃さないようにすることである。

SFB,WB,132頁 邦訳178-179頁 旧邦訳234頁

(またガイド向けにGG,102頁 GS訳38頁)

- 310 スカウトは前を見るだけでなく、両側と後ろも見なければいけない。諺に言うように「頭の後ろに目」を持たねばならない。

SFB,WB,140頁 邦訳190頁 旧邦訳243-244頁

(また、ATS,38頁、この考えはすでにCIに見られる)

- 311 細かいことに注意して、それらを覚えておくことは、スカウトの訓練の中で最も大切なものの一つである。——これは何時どこにしようとも学び練習することができるものだ。

SFB(26版)28頁 旧邦訳60頁(同趣旨のものがATM,133頁とGG,70頁 GS訳30頁「ガイドは鋭い目で見なければならぬ。もし、ガイドとして立派になりたいならば」)



- 312 大きな珊瑚礁の島は、海の小動物たちが組合わさって、作り上げたものである。人の偉大な知識もまた、あらゆる種類の小さな事柄を注意して覚えておき、心の中で組立てることによって作られる。

SFB, WB, 225頁 邦訳361頁 旧邦訳418頁

- 313 スカウトが普通の人たちと一緒にいる時に、スカウトよりも先に彼らは何らかの物を見つけるとしたら、それが大きいか小さいか、近いか遠いか、高いか低いか拘らず、スカウトの恥である。

SFB, WB, 13頁 邦訳16頁 旧邦訳73頁(また、YFBS, 39頁; WSCD, 70頁; ATM, 133頁; GG, 102頁; ATS, 27, 41頁)

- 314 観察と推理はあらゆる知識の基礎である。したがって、若い人たちにとっての観察と推理力の重要性はいくら評価しても、し過ぎることはない。子供たちは、すぐに観察力を身につけるとよく言われるが、それも大きくなるに従って、やがては衰えるものである。その主な理由は、初めて経験することには、注意を引き付けられるが、同じ経験に繰り返し注意し続けることができないからである。

観察力は事実、少年が訓練によって身に付けるべき習慣である。追跡は観察力を身に付けるには興味深い第一歩である。推理力は推論を引き出し、観察したものから意味を引き出す技術である。少年が一度、観察力と推理力を習慣として身に付けたなら、性格形成において大きな進歩を遂げたことになるであろう。

SFB(26版)139頁 旧邦訳248頁に一部訳がある(Aids, WB, 60頁 邦訳94頁に再録)

- 315 私は、ガールガイドが探偵のように、小さなサインに気がつき、その意味が読み取れるように鋭敏であって欲しい。それは単に、動物や鳥たちを研究するという目的のためではなく、同時に我々人間そのものを研究するためである。
人が苦悩していたり、お金に困っている小さな兆候に気がつくことで、しばしばそういう人たちを最もよい方法で助けることができる。
GG, 71-72頁 前半部分はGS訳32頁 後半部分はGS訳28頁
- 316 些細なことに注意を払うようにすると、特に動物の場合、非常に興味深いだけでなく、あなたの生活に大きな喜びと楽しさを与えてくれる。
GG, 72頁 GS訳30頁
- 317 道を発見するのは、スカウティングの本質である。これは、独力で道を知るという意味である。そうすれば、他の人たちに道を教えることで役に立てるだろう。
HQG, 1918.8
追跡の項も参照のこと

継続する教育

- 318 多くの若者は、22歳の時には知っておかねばならないことはほとんど知っていると考えている——そして、彼らは他の人たちに、その事実を知ってもらいたいと考えている。
32歳になると、あと一つや二つのことは学ばねばならないと考える。
そして、42歳となると一所懸命に勉強する（私は73歳の今もそうしている）
RTS, 147頁 邦訳222頁

両親

- 319 カブ隊をうまく運営していくのに、大きな助けになるのは、カブたちの両親と接触することである。アイデアを彼らと相談し、これまでとは違ったことをする理由を説明するなどして、彼らに心から興味を持ってもらう。少なくとも、年に一回は両親たちを訪問し、カブ隊の諸行事やキャンプに招待する。そして、家庭におけるカブたちの作業を援助してもらうべきである。

WCH,165頁 邦訳383頁

- 320 成功への第一歩は、少年たちを知ることであり、次は彼らの家庭を知ることである。その少年が、スカウトから離れている時の環境を知っている時だけ、その少年にどんな影響を及ぼせば効果的であるかが分かるからである。

少年たちの両親から、共感と支持が得られ、彼らが隊の作業とこの運動の目的に全面的に興味を抱き、相互に協力できるような家庭であれば、隊長の仕事は比較的楽になっていくものである。

Aids, WB, 11頁 邦訳15頁

- 321 両親を訊ねる時、スカウティングの価値を強く心にとどめてもらおうと思うあまり、少年たちの訓練についてどう思うか、またスカウティングに何を期待し、どこに不備な点があるかなどと聞き出そうと考えてはいけない。

Aids, WB, 20頁 邦訳30頁

スカウティングの目的の項も参照のこと

辛抱

- 322 辛抱することだ。アフリカの西海岸の住民が猿を捕まえるときのように。彼らは言う「走って行って、猿を捕まえるのは駄目です。そう、静かに静かに猿を捕まえるのです！」

WCH, 31頁 邦訳43頁(また、Aids, WB, 63頁 邦訳99頁; YFBS, 179頁; Jambo-ree, 1922.1; RTS, 235頁 邦訳353頁; LVL, 314頁)

- 323 辛抱は目的への誠実さを除く、その他のどんな特質よりも成功に必要なものである。辛抱とこつこつ働くことが、最後には勝利につながる。頑張りとは難事を克服する。

E. K. Wade著「B-Pとの27年」からの引用(またRTS, 235頁 邦訳353頁とJambo-

ree,1922.1「辛抱は、どんな仕事の場合でも成功の鍵である¹⁾」GS訳 114頁)

- (1)「成功の秘訣は、目的への不変性である」ディズレイリー (訳注； Benjamin Disraeli 1804-1881 英国の政治家・首相)



頑張ってこそ、事はなる。

- 324 飲酒、嘘、ワイン、女などのために仕事を駄目にしてしまった男たちが沢山いる。しかし、辛抱が足りなかったために、仕事を駄目にしてしまった男たちは、それ以上にいる。

TS,1929.8(BPO,128頁に再録)(また、Aids,WB,6頁 邦訳7頁)

- 325 忍耐力を身に付けるのは難しい。すぐに結果が知りたいだろう。しかし、忍耐力というものは、もし君が将来の目的を見据えて、その中間段階がいかに必要なことかということを知るならば、身に付けれるものである。

TS,1940.4(BPO,179-180頁に再録)

お金／不屈の精神／演劇の項も参照のこと

愛国心

326 「私自身より国を先に」をあなたの目標にすべきだ。

SFB, WB, 17頁 邦訳22頁 旧邦訳81頁

327 国に対する忠誠心は、釣り合いの取れた物の見方をし、正しい展望を抱かせるという点で、最高に価値あるものである。他の人々への奉仕と自己犠牲は、外敵の侵入に対して国を守らねばならぬという必要性が生じた時には、自らの国に対して何時でも奉仕できることを含まねばならない。そして、これは全ての国民の義務である。しかし、このことは血に飢えていたり、攻撃的精神があることを意味するものではないし、少年が軍事的義務や戦い方の知恵を訓練されなければならないということを意味するものでもないのである。

Aids, WB, 42頁 邦訳63頁

ゲームをする／利己主義の項も参照のこと

班長たち

328 [班長たちへ] 素晴らしい少年が、一人か二人だけで、残りは全然駄目ということでは全く役に立ちもしない。班長は、皆をかなりな程度にまで良くしないとイケない。そうするのに最も大切な一步は、君自身がお手本を示すことだ。というのは、君がやればスカウトたちもするだろうからである。

覚えておかねばならないことは、君がスカウトたちに与えるのは「指導(lead)」であって「強制(push)」ではないということだ。

SFB, WB, 30頁 邦訳41頁 旧邦訳107頁 (最初の部分はGG, 160頁; Aids, WB, 45頁 邦訳70頁 SFB(26版)93頁 邦訳172頁、スカウト運動158頁に一部訳がある)



329 権限と責任が班長たちに委ねられている隊は、最高度に発展する。班

長に多くを期待しなさい。彼らは十のうち九までは、あなたの期待に応えてくれるだろう。

HQG,1910.7(BPO,14-15頁に再録)とAids,WB,23頁 邦訳36頁
スカウティング誌60年9月号 良い青少年をつくるには119頁

- 330 班長になった時、覚えておかねばならないことは、自分が本当に大きな責任と重要な地位についているのだということである。というのは、あなたは多くの女の子たちの面倒を見なければならなくなるし、彼女らはあなたのお手本と指導で性格を形成することになるからだ。したがって、もしあなたが怠け者になれば彼女らも、そうなることだろうし、逆にあなたが立派なガイドになれば、彼女らもほとんどそうなるものだ。

あなたは自分の班を導いていかないといけない。そう、自分自身を信頼できる時だけ、班員たちの信頼を得られる。そして、自分の仕事を充分によく知っている時にだけ、自分に自身を持つことができるのである。

あなたは、あなた自身が自らお手本を示すことによって完全に指導できるのだということを忘れてはならない。これこそが効果的でかつ成功を手にする簡単な方法なのである。そして、これは簡単な方法であるだけでなく、唯一の方法なのである。

GG,159頁

- 331 班長は班員たちの規律を保たなければいけない。それは、命令したり大声を出したりするのではなく、個人的な友情を通して、彼らを従わせたり、自分で全てのことができるという模範を自ら示すことによって行う。そうすれば、彼ら一人一人は、それぞれ強力な忠誠心を持って仕事をし、自分たちのリーダーを後押ししたいと思うに違いない。

HQG,1916.3

- 332 自分の班と共にうまくやっていった班長が、社会に出て成功する機会はいくらでもある。

PYOC,143頁

班制度

- 333 我々の訓練が他のあらゆる訓練とは相異なる点で唯一絶対的な特徴である。

Aids, WB, 22頁 邦訳34頁 SFB 旧邦訳499頁

- 334 私は六ヶ班くらいで小さなキャンプをするよう強く奨める。各班は別々のテントを別々の場所に分かれて張る。そうすれば、スカウトたちは大きな群れの中の一員だとは思わず、独立した責任ある組織の一員だと感じる。班はあらゆる状況の下で結束を強めないといけない。

HQG, 1910.6(BPO, 14頁に再録)

- 335 班制度から第一級の成果を挙げたいなら、班長に全面的な責任を与えなさい——もし、部分的な責任しか与えなければ、部分的な成功しか得られないであろう。

HQG, 1914.5(BPO, 51頁に再録)とAids, WB, 24頁 邦訳36頁

- 336 班制度は、正しくそれが使われたなら性格訓練をする上で、大きな価値がある。班制度は、少年たちにそれぞれが班をよくするには共通の個人的責任があることを分からせる。また、班制度を通して隊長はスカウトたちを指導できるだけでなく、スカウトたちに道徳的な物の見方について、自分の考え方を伝えることができる。そしてさらに、スカウトたち自身は隊が実施することについて、様々な意見が言えるということを少しずつ学ぶのである。隊を形成し、あらゆるスカウティングの問題に心から協力的な努力をすることこそ、班制度である。

Aids, WB, 4頁 邦訳3頁

- 337 スカウティングは、少年たちを友情あふれる仲間集団にする。それは、ゲームやいたずら、ぶらぶら歩きなどをするために自然に編成される組織である。

Aids, WB, 18頁 邦訳25頁(同趣旨のものがSFB, (26版)293頁 旧邦訳 505頁)

- 338 少年たちを、6人から8人の恒久的な班に編成し、それぞれに責任を持った指導者をつけ、別個の単位として取り扱うことが立派な隊を作る鍵である。

班は常に、仕事や遊び、そして任務や訓練のためのスカウティングの単位である。

- 339 班は個人にとって、性格養成学校である。班長たちにとって、班は責任と指導力を実行する機会を与えてくれる。スカウトにとっては全体の利害に自分が従うこと、協力というチーム精神や良き仲間意識を伴った克己心や自制心などの原則を学ぶのである。

Aids, WB, 24頁 邦訳35-36頁

- 340 班制度の主たる目的は、少年たちの性格を発達させるためにできるだけ多くの少年たちに具体的な責任を与えることにある。隊長が、班長に実質的な力を与えて大きな期待をかけて、自由に仕事をさせるならば、学校教育がこれまでしてきたもの以上に少年たちの性格を発達させることができるだろう。

Aids, WB, 34頁 邦訳50頁

での悪い少年／キャンプ／班長たち／スカウティングの定義の項も参照のこと

平和教育

- 341 [国際平和に向けて] 第一歩は——あらゆる国で——次の世代の人たちを訓練し、絶対的な正義感によって、あらゆる物事を導いていけるようにする事である。人が一方のゲリラになる前に、問題を両面から公平に見て、人生のあらゆる問題を処理する本能を持っていれば、もし二つの国家間に危機が訪れたとしても、彼らは当然にその問題を公平に眺めて、平和的解決をするようになるだろう。こうしたことは、ただ一つの解決手段が戦争をすることだということに慣らされている限りは出来ないことである。

HQG, 1912.6 (BPO, 30頁に再録) (同趣旨のものがHQG, 1914.4に (BPO, 50頁に再録)

- 342 数千人の少女たちが私たちの仲間として、世界中に拡がって普遍的な平和と幸福を作り出すのに多くのことができるということは、考えただけでも素晴らしいことのように思える。しかし、もし私たちがこうした少女たち一人一人が単なるバッジ取得マニアになるのではなく、善意と奉仕の真の使徒になるように訓練するなら、私たちはその目的達成に向けて大きく前進することになるであろう。

1924年のフォックスリースにおける世界ガイドキャンプにおける歓迎演説

- 343 平和を求める精神が人々の心と意志の中にある限り、商業的な利害、軍事同盟、一般的な軍縮、または相互条約などによって、平和が守られるということは全くない。これは教育の問題である。

カンデルステッヒでの国際会議における開会演説

Jamboree, 1926.10(同趣旨のものがHQG, 1911.12 BPO, 26頁に再録)

- 344 警察を無くしても、犯罪が無くならないということと同様に、軍隊を無くしても戦争は無くなりはいしない。我々は戦争の原因を無くさなければならない。軍隊は恐怖と戦闘心の所産である。
そして、これは教育の問題だ。

Jamboree, 1933.1

- 345 平和がどんな形を取るかは、誰にも分からない。連邦連合、経済、国際連盟の復興、ヨーロッパ合衆国など様々なものが提案された。しかし、どんな形をとろうと、一般的かつ恒久的平和のためには一つの重要なことがある。それは、人々の精神の全面的改革である。すなわち、人々の心を密接な相互理解に替えること、国家的偏見を無くすこと、そして、友情のこもった思いやりの目で、他の人々を見る能力を身につけることである。

TS, 1940.4(BPO, 180頁に再録)

スカウティングの目的／元スカウトとガイド／ジャンボリー／旅行／戦争／世界的友情の項も参照のこと

不屈の精神

- 346 スカウトの格言「死んでしまうまでは、決して弱音を吐くな」というのがある。そして、もしこれを実行したなら、あらゆることが自分にとって悪く運んでいるように見える時でも、きっと抜け出せるだろう。これは勇気、辛抱強さ、強さなどが混ざりあったもので、我々は「忍耐力」と呼んでいる。

SFB, WB, 196頁 邦訳276頁 旧邦訳327-328頁 (同趣旨のものが、騎士の属性に関連してSFB, WB, 246頁 邦訳347頁 旧邦訳403頁)

- 347 物事が悪く見える時は、ただ微笑んで口ずさんでみよう。丁度、つぐみが歌うように。「スティック・トゥ・イット(訳注; stick to itは、頑張れの意) スティック・トゥ・イット、スティック・トゥ・イット」と、そうすれば、物事はうまく運ぶだろう。

成功への大きな第一歩は、失望に耐えられることである。

SFB, WB, 246頁 邦訳348頁
旧邦訳404頁 (同趣旨のものが
RTS, 96-97頁 邦訳145-147頁
と AA, 19頁; また RTS, 235頁
邦訳353頁「頑張れば、乗り越え
られるだろう」 YFBS, と The
Scout 1934.9)



Stick to it in spite of difficulties.

348 困難など物ともせず、かじりついて頑張ることだ。

訳注; LVL, 313頁

349 本当のスカウトというのは、最も辛抱強い人のことである。一遍にうまくいかなくても、心配しないで静かに待ち、最後に「成功する」まで固い決意で働く——それが小さいものであろうと大きなものであろうと。

YFBS, 180頁(同趣旨のものがLS, 117頁)GS訳14頁

350 「オークの木もかつては、一個のドングリにすぎなかった」

人生はまだ始まったばかりなのに、人生に成功することの希望を失ったら、大きくて強いあのオークの木も最初は、地面の上に転がっていた小さなどんぐりにすぎなかったことを思い出しなさい。

YFBS, 185頁 GS訳14頁

訳注; オークの木はブナ科ナラ属の木の総称カシワ、カシ、ナラの類。雄大な姿と堅固な木材から、英国を代表する木であり、剛健な英国精神の象徴と考えられている。また、実はacorn(ドングリ)と呼ばれ、‘大きく育つ可能性を持つ物(人)’の比喩に用いられる。

351 死んでしまうまでは、決して弱音をはかないことだ——様々な困難や危険と闘って、それらに負けないことだ。そうすれば、結局はうまくいくだろう。

- 352 あなたの心が不可能だと告げる時、こう答えるのだ。「いや、不可能ではない。どうすれば良いかは分かっている——やってみることができ、勝つこともできる、僕にはできるのだ。そして、僕はやるぞ！」十中八九、あなたはうまくやるだろう。

RTS, 96-97頁 邦訳146頁

- 353 「強い意志を持った人にとって、手に負えないものは何もない。¹」成功したいという意志があれば、成功するだろう。たとえ、何が起ころうともである。

LS, 30頁

- (1)今日の英語で言う「強い意志を持った(訳注;原文はwillit man,編注ではstrong-willed man)男には困難なことはなにもない」出典不明

陽気さ／上進／心の独立／辛抱／精神／仕事の項も参照のこと

個人教育

- 354 自分の預かっているガイドたちを取り扱う場合、ガイダーは一人一人に心を配らねばならない。彼女らは、それぞれ異なった心と能力を持っているのだから。

GG, 171頁

- 355 個人教育とは、教師と生徒の間での年上と年下の兄弟関係のような密接な信頼関係を意味する。個人の気質、年齢、性格の知識を通して、そのケースに応じた様々な扱いをすることである。

The Times, 1918.7.14 Aids(1919年版)16頁に引用

- 356 個人の訓練をなぜ気にするのかですって？それは、君が教育できる唯一の方法だからだ。もし、君が大きな声と魅力的な方法による訓練手段を持っていれば、一度に千人の子供たちに教えることができるだろう。しかし、それは教育ではない。

Aids, WB, 30頁 邦訳43頁

- 357 少年たちの集団に、スカウトのおきてを説いたり、命令したりしても、少しも役に立ちもしない。彼ら一人一人が必要としているものは、おきてが意味するところを教えてもらうことと、それを実行する意志で

ある。ここに、隊長の人柄と能力が入り込む余地がある。

Aids, WB, 30頁 邦訳44頁

性格／規律／贈り物／軍事訓練／スカウターの役割／スカウティングの目的／性／隊・パックの大きさの項も参照のこと

肉体的健康

- 358 我々の目的は、個々の少年に自らの健康と体力に各自注意を払い、かつ責任を持つということを理解させねばならないということである。これは自分自身、国、そして造物主(Maker)への義務である。

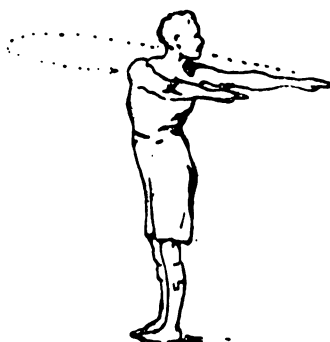
SFB(26版)311-312頁 邦訳538頁 Jamboree, 1928.7 (また、異なった言葉で313頁 旧邦訳541頁「特に、怠慢な者や少し遅れている少年に」)

(さらにAids, (1919年版)56頁とTS, 1931.1(BPO, 137-138頁に再録)

(ブラウニーたちに：「自分を大きく、強く、健康にするか、弱く、繊細で小さな生き物にするかどうかはあなた次第である」GG, 32頁)

- 359 心だけでなく、身体も使って神に祈りを捧げるのは悪いことではない。朝起きたら、その日一日、何か善いことが出来るよう導いてもらえるよう祈るべきである。そして、さらに自分が健康でうまくやっていけるよう、筋肉と身体のような器官も動かすべきである。

YFBS, 75頁 GS訳12頁



- 360 若い市民に、自分自身の発達と健康の責任を負うように教えることは、最も重要なことである。

GG, 119頁(また、Aids, WB, 43-44、56頁 邦訳66, 72頁)

- 361 体育は、肉体訓練と同じものではない。

Aids, (1919年版)58頁

訳注 体 育：心身の発達や発育を助けることを目的とした身体運動を通しての教育

肉体訓練：身体、体力の技術向上を目的として行う練習または訓練

- 362 この素晴らしい身体は、神の御業と神が宿るものとして、維持、発達させるように与えられたものだということを少年に考えさせなさい。そして、この身体が義務感と騎士道精神といった高い徳性によって導かれるなら、立派な仕事や勇敢な行為が肉体的に可能になる。

Aids, WB, 42頁 邦訳63頁

- 363 健康は、自制心と長生きをもたらす。

RTS, 66頁 邦訳96頁

- 364 神はあなたに身体を与え給うた——否、神はあなたに身体をお貸しになったのだ——それを上手に役立てるようになるには、酒びたりになったり、不摂生でぐにゃぐにゃになったり、虚弱にならないように身体に気をつけて、本当に立派な男として、また子供たちの父親として強い身体を作り上げることである。

やる気さえあれば、これはできることであり、君次第である。そして、これはなんと素晴らしい挑戦になりうることだろうか。

RTS, 120頁 邦訳182-183頁 (また、PYOCにも)

- 365 「健康(health)は富(wealth)に勝る。」

RTS, 131頁 邦訳199頁

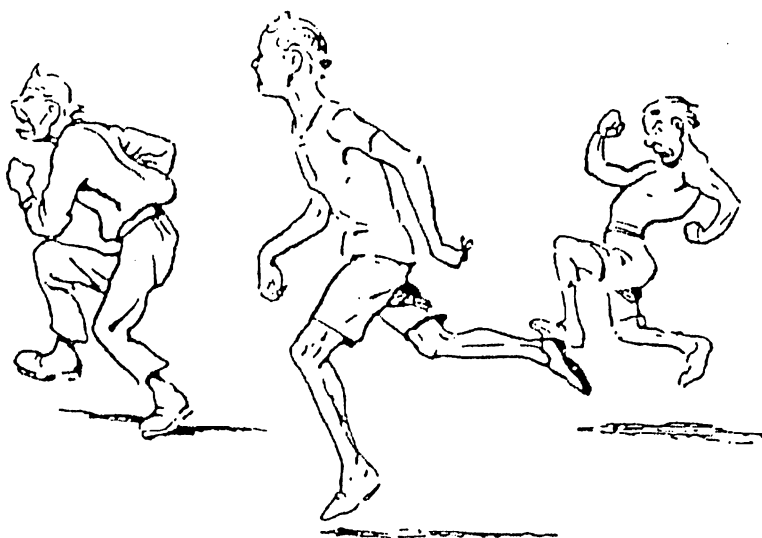
キャンプ／陽気さ／元スカウトとガイド／女の子たち／神／障害児スカウティング／幸福／男らしさ／準備／技能章／スカウティングの目的／水泳／ユニフォームの項も参照のこと

肉体的健康へのヒント

366 スカウトは、鼻で息をし、口からはしない。

SFB, WB, 16頁 邦訳21頁 290頁 旧邦訳79頁 332頁（同趣旨のものがWCH, 102-103頁 邦訳167頁）

367 多くの人は、走り方を知らない。なぜなら、ゲームをして遊んだことがないからである。



368 走ることができる少年が、いかに少ないかということには驚かされる。自然でゆったりとした軽い足の運びは、走る練習なしにはできない。練習をしなければ、哀れな少年は田舎者のようなのろく重い足取りか、街の男のように、足をひきずって歩くようになる（そして、人の歩きぶりでいかに多くの性格が分かることであろうか。）

Aids, WB, 45頁 邦訳68頁（最後の文章は、GG, 104-105頁にも見られる）

訳注；B・Pは、妻のオレーブ・ソームズと世界一周の旅の船上で知り合ったが、その時ロンドンで散歩中のオレーブの後ろ姿の歩き方と同じだったから気がついたと言っている

369 スカウトは何時も口を閉じている¹。

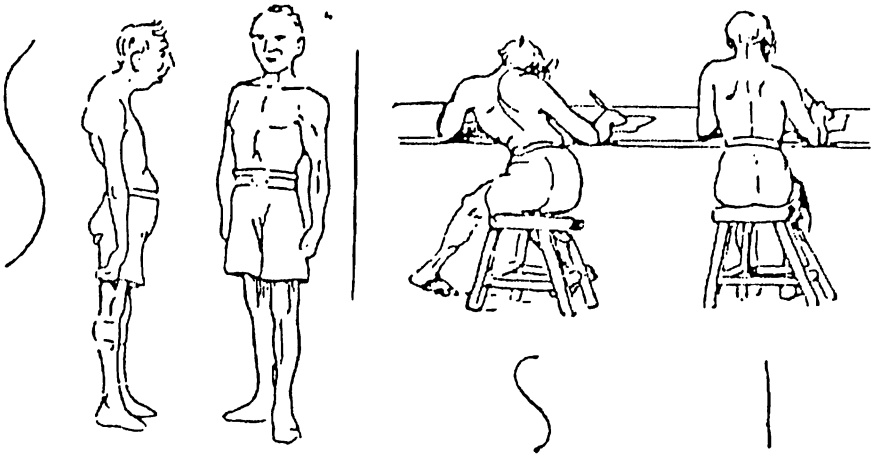
YFBS,79頁(またRTS,116頁) (「口を閉じて命を救え」[カトリンが書いた本の題名] RTS,116-117頁 邦訳176頁)

訳注；ジョージ・カトリン 1796-1872 アメリカの画家で作家。アメリカインディアンと長く暮らし、シートンに影響を与えた。国立公園を提唱したことで有名)

(1)健康のためだけではなく、夜、いびきをかいて敵に気づかれないようにするために、さらに馬鹿なことを言わないようにするために [編注]

370 全てのスカウトたちは、早起きの習慣を身につけるべきである。これは時間を節約する最も簡単で可能な方法である。

YFBS,155頁(同趣旨のものがRTS,79-80頁 邦訳117頁)



371 立っている時は、姿勢をきちんとすること。座る時は、背筋をしゃんと伸ばして、椅子の背もたれにきちんと背中当てること。

GG,77頁 GS訳28頁

372 スムーズで素早く、静かな歩みがガイドである。

GG,105頁 GS訳30頁

373 自分自身のために、私は夏だけでなく冬も戸外で寝る。私は屋内に長くいると疲れたり、気分が悪くなるだけである。そして、部屋の中で寝る時だけ、風邪をひいてしまう。

RTS,115頁 邦訳175頁(同趣旨のものがWCH,101頁 邦訳167頁)

計画

- 374 私より優秀な人たちは、たぶん特別な方法を使うことなしに、少年たちを忙しくして、知識を進歩させることができるだろう。しかし、実のところ、私にはできないことである。私の場合、事前にきちんとしたプログラムを作り、それに沿って実施する以外にはうまくやれるという方法は知らない。

組織的に計画してやる方法のほうが、でたらめに思い付きでやるよりは、四倍も価値があるというのは、決して誇張ではない。少年たちに事前に作業の計画を立てることを教えてやることも、彼らにとっては良いことである。そして、少年たちは、自分が何を目標しているかを知れば、二倍も熱心になるだろう。

HQG, 1910.11 (BPO, 17頁に再録)

- 375 「仕事の計画を立てよ——そして計画に従って作業せよ」

WCH, 130頁 邦訳275頁

- 376 計画を立てない人は、人生でなにも進歩することはない。

LS, 15頁

遊び

- 377 遊びは、最初の最も偉大な教師である——このことは、動物にとっても人にとっても真理である。

私たちは、カブたちに遊びを通して小さな事柄を教えるが、それは結果的には、彼らが大きなことを本気で実行することにつながるであろう。

WCH, 162-163頁 邦訳377頁

- 378 遊びは、少年の生活にとって最も重要なことである。

WCH, 164頁 邦訳381頁

演劇

- 379 ベーコンに言わせると「演劇は、子供を教育するには、最高の方法の一つである」ということだ。これは、全くその通りである。演劇は模倣、機知、それに想像力など、生れつき持っている力を発達させ、それら全てが性格を発達させる助けとなる。そして、同時に歴史と道徳

の勉強は、教師がどんなに多くのことを教え込もうとするよりも、子供自身が出来事そのものの登場人物になって演ずることの方が、心にもっとよく印象づけることができるものだ。

SFB(26版)305頁 旧邦訳527頁

380 演劇は、演説の訓練には最良のものである。

訳注:RTS,156頁 邦訳238頁



381 性格形成の教育において、有益で常に人気があるもう一つのものは、扮装と演劇である。これを基礎として、さまざまに発達する側面について数え上げればきりが無いが、例えば、自己表現力、精神の集中力、声の発達、想像力、哀れみの心、ユーモア、冷静さ、規律、歴史的または道徳的教訓、自意識を無くすことなどである。カブの隊長も、演劇がどれほど自分に援助の手を差し延べてくれるものであるかを知り、また劇的で空想的な年齢のカブたちが、演劇によって自分の努力に答えてくれることに気づけば、すぐにこのことを自分自身で認めるようになるであろう。

WCH,166頁 邦訳385頁

382 演劇は、カブを大いに楽しませる。それは、ロマンが一杯であり、大人たちによって準備されたという利点と手に入れることのできるあらゆる種類の魅力的な衣装を伴った本当の作り事である。
演劇は、カブに本当の喜びを与えてくれる上に、練習や人前で上演す

ることは、カブに自信をつけさせてくれるし、はっきりと物を言うことを教えてくれる。そして、記憶力を鍛え、忍耐と自己制御、それに本当の努力を求めることである。

WCH(15版)188頁 類似の訳が邦訳385頁



- 383 歌を歌うことと演劇は、自己表現力をつけるにはよい訓練である。またこれらはよいチームワークを生み出す。それは、みんなが自分の役割を学び、それを巧く行うよう努力するが、それは自分が喝采を浴びるためではなく、舞台全体のためだからである。

Aids, WB, 61頁 邦訳97頁

- 384 演劇は、全ての少年たちの自己表現力をつけるための教育の一部となるべきである。

Aids, WB, 62頁 邦訳96頁

ゲームをする

- 385 兵隊を訓練する第一のポイントは、彼をナショナルチームの熱心な一員にすることである。

ATS, 19版の序文

- 386 [軍隊の] スカウティングは、フットボールのゲームのようなものである。君は前衛に選ばれた。ゲームを進めなさい。味方が勝つようにプレーして、自分自身の栄光や危険を考えてはいけない——あなたの

味方は後ろで援護してくれる。奮闘して、手にしたチャンスを最高に生かしなさい。フットボールは、良いゲームである。しかし、それよりも良いものは、スカウティングである。

ATS,159頁(訳注;124頁の誤りか?)

- 387 我々は壁のレンガによく似ている——我々には、それぞれの持ち場がある。レンガは大きな壁の一つに見えるかもしれない。しかし、一つのレンガがもろくなったり、抜けたりしたら、他のレンガに余分な重みがかかって、割れ目が生じ、壁はぐらつくようになるだろう。

YFBS,51頁 GS訳14頁(同趣旨のものが、RTS,168頁 邦訳255頁)

- 388 自分が楽しむためにだけ「ゲームをする」のではなく、味方が勝つのを助けるようにすることだ。

「正々堂々と戦うこと」——それが結局は、スカウトの主なつとめである。

WCH,33頁 邦訳47頁(また93頁にも「自分自身の栄光や興奮のためではなく、味方が勝つようにする」邦訳147頁;同趣旨のものがLS,62頁とRTS,235頁 邦訳353頁 GS訳24頁)

- 389 役に立つ市民は、フットボールのうまい選手によく似ている。彼は、先ず個人として自分が役に立つようにする。そうすれば、チームの中の自分の持ち場で効果的にプレーできるようになる。

RTS,157頁 邦訳238頁

- 390 仕事をゲームとして眺めるなら、我々の仕事は楽になる。その場合、我々はチームに加わり、それぞれが自分の持ち場で味方が良くなるようにプレーする。そして、我々がその精神を身につけた時、我々は単なるゲームをしているのではなく、偉大なゲームをしているということが分かるようになる。

LS,58頁

できの悪い少年／協力／規律／幸福／率先／演劇／より恵まれない少年／スカウト運動の項も参照のこと

プレイヤーと見物人

391 ゲームをしろ——見物をするのではなく。

RTS,36頁 邦訳52頁



392 我々の90%を見物人ではなく、ゲームのプレイヤーにしたいものだ。
また、プロ選手、賞品稼ぎ、金儲け、賭けよりは競技する人の方が上位にあるという考えを育て、名誉やスポーツそのもののためにプレイがしたい。

HQG,1920.4(また、SFB(26版)287頁 旧邦訳495頁「若者たちに、どんなゲームであろうとゲームをする時は男らしくするように教え、単なる見物人やブラブラしている者にならないようにさせることである。」)

393 フットボールは、自分を強く活動的で良い気性にするには、最高のゲームである。しかし、自分でゲームをするのに較べて見ているのは全く楽しくないものだ。

ATM,99-100頁

スポーツの項も参照のこと

政治

394 スカウト運動において、政党政治という意味での政治性は我々にはない。我々が〔少年たちに〕身につけさせてやりたいのは、政党人としての活動よりも、国家人としての能力である。

HQG,1918.6(BPO,70頁に再録)

独立心／平和教育／世界兄弟愛の項も参照のこと

より恵まれない少年

- 395 我々の目的は、皆に平等な機会を与えることであり、もっとも幸の少ない者に最大限の援助を与えることである。

GG, 183頁(また、Aids, (1919年版)118頁に「我々は全ての少年に——特に、最もかわいそうな者に——人生で成功する機会を与えたい」)

- 396 スカウトの訓練は、少年たちの階層が高いものであろうと低いものであろうと、あるいは富める者であらうと貧しい者であらうと、あらゆる少年たちを引き付けるものである。そして、さらに耳や口、目の不自由な人たちといった肉体的に障害のある者までも捉えるものである。

Aids, WB, 19頁 邦訳28頁

- 397 より恵まれない少年たちは、ゲームに関心を払わない——ゲームもできない——とよく異議が唱えられる。

これは主として、彼らがこれまでゲームを教えられたこともなければ、ゲームをやってみよう励まされたこともないからである。ここに、我々スカウトたちが入り込む余地がある。我々は、より恵まれない少年たちに、どうすればゲームの参加者になって、人生を楽しめるかという方法を示すことができるし、同時に道徳的資質だけでなく、肉体的資質も強化できる。

Jamboree, 1924.4

- 398 裕福な少年たちは、ヨットやボートに乗る豊富な機会に恵まれている。そして、我々シースカウトの目的は、より恵まれない少年にも、その全ての喜びと恩恵を得られるアマチュア船乗りになれるような機会を与えてやることであらう。

SYM, 33頁

- 399 我々の望みは、少年たちを——主に、より恵まれない少年——援助し、公平なチャンスを手にするようにしてやることである。こうしたチャンスは、自尊心を持ち、幸せで成功した市民になって、他の人々に奉仕しようという理想に満ちあふれたいと願う者を、これまで余りにもしばしば拒否してきたのである。

SYM, 38頁(同趣旨のものがAids, WB, 57頁 邦訳88頁)

清潔／個人と地域社会／ユニフォームの項も参照のこと

祈り

- 400 他の人たちのために祈るのは、よいことである。例えば、汽車が出発するのを見たら、乗客たち全てに神のご加護があるようにと祈るように。

SFB, WB, 250頁 邦訳353頁 旧邦訳411頁とGG, 66頁 GS訳6頁

- 401 少年は、お祈りの暗証の仕方ではなく、お祈りの仕方を学ばねばならない。また、特別に楽しい思いをした時、例えば良い天気の日とか、いいゲームをした時には（単に、美味しい食事をした時だけでなく）神に感謝を捧げたり、「食事の前後のお祈り」をし続けるよう奨めた。このようにして、お祈りによる神との交流は、人生において習慣となり、少年があまり理解できない固苦しい文句を決められた時に、暗唱するといった形式的な行為にとって代わるのである。

1909年に書かれたノートからで1939年5月にTSに発表された。

- 402 祈りは心からするもので、暗記するものではない。

私が個人的に好む主な原則を言うならば、祈りは短く、最も簡単な言葉を使って表現し、次の二つの考え方の内いずれか一つに基礎を置くべきである。すなわち、

——神から受けた恩恵、または喜びを神に感謝すること

——神に何かお返しをするのに必要な精神の保護、体力、または導きを求めること

Aids, (1919年版) 101頁 GS訳44頁に一部訳がある

- 403 スカウトズOWNを行う時、少年たちが大人ではないということを覚えておき、出席者の最も若い者か、最も教育を受けていない者のペースに合わせるなら、スカウトズOWNは教会の礼拝と同じ位、大きな結果を少年たちに及ぼすであろう。退屈は畏敬につながらないどころか、信仰心さえも生み出さないであろう。

TS, 1928.11 (BPO, 125頁に再録)

困難／宗教の項も参照のこと

技能章

- 404 技能章の狙いは、少年たちが興味を持つ問題を自分で学ぶよう励ますことである。

HQG, 1916.1 (BPO, 60頁に再録)

- 405 技能章の目的は、欠点を治すことを助け、性格と肉体的健康を増進することである。

WCH(15版)144頁 邦訳259頁

- 406 バッジは、少年が趣味や職業を持つよう励まし、それを一定の水準まで進歩させることを意図したものに過ぎない。バッジは、少年が何かを成し遂げたということを外部の人に示すものであって、テストに合格し専門的技術を持っている者だということを示すものではない。

Aids, WB, 58頁 邦訳71頁

- 408 バッジ取得に関する我々の基準は、知識や技術の質が一定レベル以上であるということではなく、少年がそうした知識や技術を修得するのに費やした努力によるというものである。このことは、最も見込みのない少年でも、もっと素晴らしく、より優れた仲間と共通の基盤に立てるという可能性を示すものである。

したがって、バッジの考査は競争的なものではなく、単に個人のテストにすぎない。

Aids, WB, 59頁 邦訳92頁 (同趣旨のものがLVL, 288頁)

- 408 バッジ取得作業を通して（そこには、区別が適用される）我々は、最もさえない者や内気な少年にハンディキャップを与える。そうすることで、より優れた少年や最も素晴らしい仲間たちとの間に、公平な機会を与えることができる。そして、我々はこうした少年に野心、希望、そして達成感を与えることができ、さらに大きな冒険に挑戦させることができる。

TS, 1923.10(BPO, 108頁に再録)

進歩

- 409 ただ、じっとしているだけでは、何の役にも立たない。前進するか、休むかどちらかだ。前進しよう——ほほ笑みを持って。

Aids, WB, 5頁 邦訳5頁

計画の項も参照のこと

時間厳守

- 410 [カブの集会で] 少年にとって、時間厳守を従順であることの基準にするよりは、面白いことは逃したくないという強い熱望の現れになる

べきである。指導者の側にとって、時間厳守はもっと必要なことは言うまでもない。

WCH,164頁 邦訳380頁

宗教

- 411 神を信じ、そのおきてに従わない人は決して良い人とは言えない。従って、全てのスカウトは信仰を持つべきである。

SFB, WB, 249頁 邦訳353頁 旧邦訳410頁 GS訳36頁(またYFBS, 165頁に「何らかの形の宗教を持たない人は、価値がある人とは決して言えない」さらに、GG, 66頁「どんな人でも、それは自分にとっても、他人にとっても非常に良いとは言えない……」)

- 412 信仰はとても簡単なように思われる

第一に、神を愛し、仕えること

第二に、あなたの隣人を愛し、奉仕すること

SFB, WB, 249頁 邦訳353頁 旧邦訳410頁(GG, 66頁 GS訳92頁にも最初の点が「神を信じること」；またTS, 1924.7(BPO, 111頁に再録)ここでの「簡単に基本的な倫理」は、マタイによる福音書22章34-40節のキリストの二つのおきてに由来する; Jamboree, 1928.7)

訳注；キリストの二つのおきてとは、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの主である神を愛しなさい」と「隣人を自分のように愛しなさい」

- 413 信仰心の欠如を治すには、最初からあまりに精神的なものを追求するよりは、実際のな宗教活動を通じて行うべきである。

SFB(26版)243頁 旧邦訳422頁

- 414 宗教は、少年に教えることができるし、教えられるべきである。しかし、気の抜けたような方法や神秘的、感傷的なやり方ではいけない。宗教の英雄的な面やきちんとした人にとっては、ごく自然で日常적인ものであるとして、宗教を少年に示すなら、彼らは容易に受け入れるであろう。そして、これは自然学習を通して行えば、少年たちに容易に導入できる。

SFB(26版)314頁 旧邦訳543頁

- 415 我々は日常生活と行動に、キリスト教精神の実践を目指すものであり、単に日曜日にキリスト教に対する信仰を告白することを目的としているわけではない。

SFB(26版)1940年の序文 22頁 旧邦訳50-51頁(同趣旨のものが、RTS,177頁
邦訳266頁それにTS,1928.6(BPO,122頁に再録)

- 416 少年というものは、自然に宗教に心を傾けるものである。しかし、大人の心を惹くような視点から、少年に宗教を教えるなら、恐らく少年は退屈するか若しくは堅物になるだろう。

心から、神の存在を実感させるための確実な方法は、自然学習と善行などスカウト活動の実践を通して、キリスト教徒としての義務を分からせていくことである。

SFB(26版)243頁 旧邦訳422頁 (またはHQG,1918.4(BPO,68-69頁に再録)

- 417 スカウティングは「一つの新しい宗教だ」と言われたことがある。もちろん、そうではない。スカウティングは今、非宗教的な訓練として認められている原理を——子供に明確な目標を与え、学び方を実践させること——宗教訓練に適用しているにすぎない。

HQG,1912.1(BPO,28頁に再録)

- 418 この運動には宗教的な側面はない。

運動全体が宗教に根ざしているのである。すなわち、神の認識と神への奉仕である。

HQG,1920.11

- 419 私がいう宗教とは、日曜日に形式的に万物の創り主たる神に敬意を払うことではなく、我々の内と外に永遠にあるものとしての神を信じ、その結果、神に仕えることにより、思考と行動の基準を高めることである。

HQG,1920.11

- 420 スカウトクラフトは典型的なごろつきに、より高い考えと神への信仰心をもたらす方法である。

Aids, WB, 22頁 邦訳33頁

- 421 神のしもべとして、神を敬い、隣人を敬い、自らを尊重することは、いずれもあらゆる形の宗教の基礎である。

Aids, WB, 38頁 邦訳56頁 GS訳44頁

- 422 我々の運動には、数多くの異なった宗派があるので、宗教的訓練を定義するのはなかなか困難なことである。したがって、神へのつとめに

関する細かい表現については、大部分をその教宗派の手に委ねられねばならない。しかし、我々は少年がどんな形の宗教を信じていようと、それを守り実行することを強く求めている。

Aids, WB, 38頁 邦訳57頁 (同趣旨のものがSFB(26版)294頁 旧邦訳507頁)

- 423 宗教は、ただ「捉えられる(caught)」ものであって、「教えられる(taught)」ものではない¹。宗教は、外から言われて着るような日曜日の晴れ着ではない。宗教は少年の性格や精神の発達の本質的な部分であって、簡単にはがせるベニヤ板のようなものではない。それは、性格や内面的な信念の問題であって、教えられるものではない。人々の行動の大部分は、現在ほとんど宗教的信念によって導かれてはいない。これは教えること(education)に代わって、教える(instruction)ということが、少年の宗教訓練にしばしば行われてきたということに、大いに原因がある。

Aids, WB, 39頁 邦訳58頁 第一段落のみGS訳42頁
(一部がHQG, 1918.4(BPO, 69頁に再録)

(1) B-Pによると(1926.7のスカウト／ガイドコミッショナー会議での演説)これは、インゲ司祭(訳注;William Ralph Inge 1860-1954 英国教会の聖職者、神学者、哲学者、1911-1934ロンドンのセントポール寺院の主任司祭を務めた)のものからの引用

- 424 もし、本当に成功への道(すなわち幸福になること)を切り開こうと思うなら、生活に宗教的基盤を持たねばならない。これは、単に教会に行ったり、バイブルの歴史や理論を知ることではない。多くの人は、そんなことをほとんど知らないし、勉強しなくても心から信仰心を持っている。宗教の意味をごく簡単に言うならば：

第一に、神が誰で、いかなる存在かを知ること

第二に、神が与えてくれた人生を最高にするように、そして神が我々に望んだことを実行することである。これは主に、他の人々に何かすることで行なうものである。

RTS, 176-177頁 邦訳265頁

- 425 インドでは、苦行僧をしばしば見かけるが、彼らは自分のかけた「願」のために、片方の腕を高く挙げて、決して使おうとはしない。彼らの腕は衰え、そして使えなくなる。同じように、あらゆる人々が持っている愛の輝きは、もし、それを使わなければ、衰えて消滅してしまう。しかし、それを使うならば、大きく強く成長し、毎日が活気づいたものになる。

426 「神のチームの一員となれ」

RTS,199頁 邦訳300頁 GS訳56頁

427 私がスカウティングとガイディングを始めた時、宗教に関してどう思っているのか、もっと詳しく述べるよう求められたことがある。それは、「(あなたの運動に) 宗教が入り込む余地はありますか?」というものだった。

さて、それに対する私の答えは、次のようなものだった。「全然ありません。もう、すでに入っているのですから。宗教はスカウティングとガイディングの基盤となる根本的な要素なのです」

1926.7.2スカウト／ガイドコミッショナー会議での演説

428 宗教は、教養のある人たちのための科学ではない。さもなければ、宗教は単に学者にのみ利益をもたらし、貧乏な者たちの手の届かないものになる。また、盲目的な崇拜物でもない。さもなくば、宗教は単に弱い性格の人や感傷的な人、迷信家たちだけのものになってしまう。

1926.7.2のスカウト／ガイドコミッショナー会議での演説

429 どんな少年も（貧民窟の少年も含んで）キリストを自分の英雄として眺められるようになる。それには、キリストのことを少年の本質的な部分に訴えることである——すなわち、痛ましい姿ではなく、むしろ男らしさ、勇気、騎士道精神、ユーモア、謙遜の心、さらには人間そのものとしての怒り（両替商に対して）を持った人として示すことである。

ヨーク会議での演説草稿、Jamboree,1928.7

訳注；両替商に対する怒りとは、キリストが神殿から両替商を追い払ったことを指す。マタイによる福音書21章 12-13節

430 全ての人の心には「愛(Love)」の種が宿っている。それは靈魂の「神の片鱗」と言われている。もし、その種がうまく育てば、それは少年の性格ににじみ出るようになるまで発達するものである。「愛」は、ラジウムのように放出しながら成長する。一旦、少年の心の中に芽生えたと、大人になっても衰えるようなことはない。それは、彼の全存在とあらゆる行動に満ちあふれるまで増え続けるもので、実際にこの地上に天国を見つけだすといった至福を与え、さらに神と同等の存在と永遠の生命をもたらす。

兄弟たちよ、我々ができる間にできることをしよう。

ヨーク会議での演説草稿、Jamboree, 1928.7

(同趣旨のものがRTS, 196頁 邦訳295頁; TS, 1937.12(BPO, 169頁に再録)

- 431 若い人たちにいおう。希望をもって進みなさい。それに、楽天主義とユーモアの感覚をかみ合わせなさい。そうすることによって、困難に釣り合いの取れた感覚で立ち向かうこともできるようになる。この運動の健全さと将来的な可能性に信念を持って進もう。そして、あらゆるものの中で、最も強力な誘因力となる愛をもって進もう。愛の精神とは結局、あなたの内で働き続ける神の精神である。

TS, 1937.12(BPO, 169頁に再録)

キリストの模範／困難／能動的教育と受動的教育／神／善意／天国／登山／自然／祈り／休養／自分本位／奉仕／戦争の項も参照のこと

創意工夫

- 432 経験豊かなスカウトは、創意工夫に満ちているものだ。そういうスカウトは困難や不愉快なことから抜け出す方法を見い出すことができる。

SFB, WB, 103頁 邦訳137頁 旧邦訳195頁(また、YFBS 39頁に「立派なスカウトは……」)

- 433 自分に必要な物全てが、思い通りに自分の手元になからといって、諦めてはいけない。自分の持っている物を利用すること、機転をきかすこと、そして、それを最大限に使うことだ。

ATM, 143頁(同趣旨のものがAA, 125頁)

責任

- 434 我々の訓練の目的は、責任を若い人たちの肩に負わせることによって、半分は達成される。

HQG, 1910.4(BPO, 10頁に再録)

- 435 少年たちに多くを期待しなさい。そうすれば、大抵は成果が得られるものだ。

HQG, 1911.9(BPO, 25頁に再録)

- 436 少年の性格と信頼性に良い結果をもたらす秘訣は、その少年に多くの期待をかけ、その責任感を信頼してやることである。しかし、少年を

深い水の中にほうり投げて水泳を教えるとか、少年が自らの道を安全に切り開くことができると期待するというようなことを、私は言っている訳ではない。あなたがしなければならないことは、先ず最初に、こうしたことができるような力を育てるよう少年を援助してやったり、実際に少年を訓練し、どうやって泳ぐかということを、あなた自身が示してやることである。

HQG,1915.5

- 437 仕事で成功したいなら、責任が取れるようにならねばならない。責任が取れるようになるには、自分自身に自信を持つこと、自分の仕事の知識を持つこと、それに責任を果たす訓練が必要である。

RTS,55頁 邦訳84頁

- 438 よい市民意識を育てるのに、先ず大切なことは少年は自分自身に対する責任を教えられねばならない。それは、自分自身の健康、性格さらには経歴を伸ばすためである。次に、責任ある存在となること。すなわち、自分の両親や上の人から信頼される人になることである。そして、最終的には、自分の属する地域社会に対して、義務感と責任感を持つようになるということである。

TS,1930.5

- 439 仕事に責任を持つ男を作りたかったら、彼に公平であるためにも、手段は彼自身に選ばせてやらねばならない。

LVL,200頁

規律／班長たち／班制度／肉体的健康／自尊心の項も参照のこと

休養

- 440 日曜日は安息日である。ぶらぶらして過ごすのは休養ではない。

SFB(26版)244頁 旧邦訳423頁

- 441 休養というのは、私の解釈では怠けて過ごすということではなく、している事を変えることである。

RTS,80頁 邦訳118頁 GS訳52頁

危険

- 442 何よりも「安全第一」という最近の風潮は、遺憾なことだ。人生にとって、ある程度の危険は必要なことであり、生命を延ばすためにもある程度は危険に対する実習をすることは必要なことだ。スカウトは、人生において困難や危険に遭遇することに備えておかねばならない。従って、我々はスカウトたちの訓練を軟弱なものにはしたくない。

Aids, WB, 56頁 邦訳87頁 (同趣旨のものが LVL, 272, 280頁; LS, 42, 43頁; RTS, 57頁 邦訳86頁)

ローバーリング

- 443 ローバーリングというのは、目的がなく歩き回ることではない。私が意味しているのは、視野の中にきちんとした目的を定めて、愉快的小道を進んで自らの道を見つけ、その途中で出会いそうな困難や危険に対処する考え方を持つということである。

RTS, 15頁 邦訳19頁

- 444 ローバーとは野外を愛し、奉仕をする仲間のことである。彼らは単なる仲間ではなく、キャンプ仲間であり、同じユニフォームで世界中にその「巣(den)」や集会場を持つ愉快的仲間である。

ローバーは放浪する仲間なので、ローバーの一員として、外国にまで旅をして、他の国のローバー仲間と友情を交わすことができる。我々の運動のこうした一面は興味深く、教育的であるばかりでなく、相互の善意を通して、世界の将来の平和を築くために確実に前進して行こうとするものである。

RTS, 210頁 邦訳315-316頁

- 445 規則が「ローバーたちにとって」欠かせないものであるなら、融通のきく規則にすることだ。

TS, 1929.3

- 446 ローバーたちは、我々スカウターの主要な供給源でないといけない。

1932.4.11 ローバー部門に関するノート、未発行

スカウトのおきて／スカウトとガイドのモットー／奉仕の項も参照のこと

スカウト／ガイドのおきて

447 スカウト／ガイドのおきて

- 1、スカウト／ガイドの名誉は信頼されることである。
 - 2、スカウト／ガイドは忠実である。（*）
 - 3、スカウト／ガイドのつとめは役に立つことであり、他の人を助けることである。
 - 4、スカウト／ガイドは全ての人の友であり、国、階級、その所属する宗教¹に拘らず、他のスカウト／ガイドと兄弟／姉妹である。
 - 5、スカウト／ガイドは礼儀正しい。
 - 6、スカウト／ガイドは動物と友達である。
 - 7、スカウト／ガイドは文句なく、両親、班長、スカウトマスター／ガイダーの命令に従う
 - 8、スカウト／ガイドはあらゆる困難の下でも、ほほ笑み、口笛を吹き、歌う。
 - 9、スカウト／ガイドは儉約する。
 - 10、スカウト／ガイドは考え、発言、その行いにおいて清らかで、純粹である²。
- (1) 1907年の初版では「他の人が社会のどんな階級に属していようと」
となっている。
- (2) この項目は、1907年の初版にはなく、後につけ加えられた。
- (*) [スカウトには]
「国王、国、スカウター、両親、雇い主、目下の人に対して
[ガイドには]
「神と国王、両親とガイダー、友人と仕事仲間、学校や職場で
の目上や目下の人たちに対して」となっていた。

SFB(26版)45-47頁とGG,60-62頁 邦訳vi-vx頁 旧邦訳91-94頁 よい青少年を作るには 22-23頁 スカウト運動 58頁

448 スカウトのおきては、スカウト訓練が根ざしているもの全ての基礎である。

Aids, WB, 33頁 邦訳48頁

449 スカウトのおきては、我々を規律正しく結びつける力である。少年というものは「～するな(DON'T)」ということで支配するものではなく、「～する(DO)」ということで導かれるものである。 スカウトのおきては、自分の欠点を矯正するものというよりは、むしろ行動を導き出すものとして考えられたものである。

- 450 少年たちに、スカウトのおきてやその根底にある全てのものを実行させるには、隊長自身が自らの生活の細かい部分まで、おきてに述べられていることを良心的に実行しなければならない。一言も命令しないでも、少年たちは隊長に従うであろう。

Aids, WB, 5頁 邦訳4頁(同趣旨のものがHQG, 1910.7(BPO, 15頁に再録) それにAids, WB, 33頁 邦訳49頁)

- 451 少年から大人になる入口にさしかかるローバーになると、もはやスカウトのおきてを実行することを学ぶのではなく、人生を送る指針として実際に使うものだということを忘れてはならない。

RTS, 222頁 邦訳336頁

- 452 スカウトのおきての全てを、日常の生活や遊びの中で実行するスカウトは、少年の時だけでなく、その後、大人になってからも人生をうまくやっていくに違いないと私は信じている。

ATM, 167-168頁

能動的教育と受動的教育／肯定的教育と否定的教育／11番目のおきて
／名誉／個人教育／世界兄弟愛の項も参照のこと

スカウト／ガイドのちかい

453 スカウト／ガイドのちかい

私は名誉にかけて、私の最善をつくすことを誓います。

神と国王へのつとめを果たします。

何時も他の人を助けます。

スカウト／ガイドのおきてに従います。

Aids, WB, vi頁 旧邦訳95頁 よい青少年を作るには 25頁 スカウト運動59頁
とGG, 49頁

- 454 あらゆる約束は重要であり、決して破られるべきではないが、あることをすると言って、名誉にかけて約束したら、その約束を破るよりは死んだ方がましだ。

SFB(26版)47頁 旧邦訳95頁

スカウト訓育法

- 455 私たちの訓練の方法は、外側から教え込むよりも、内面から引き出すものである。ゲームや活動を提供すること、それらが少年たちにとって魅力的なものであるなら、正に少年を道徳的、精神的、肉体的に訓育することになるだろう。

WCH, 158頁 邦訳368頁 GG, 179頁 Aids, WB, 18頁 邦訳24頁

- 456 スカウティングは、様々な成分を含んだ薬のようなものである。処方せんに従って、適切な割合に調合されていないならば、それを使う者は患者の状態が満足いくものではないからといって、医者責めではない。

Jamboree, 1922.1

少年の本質／一級スカウト（ガイド）／自然／班制度／スカウティングの目的／スカウトのおきての項も参照のこと

スカウト訓育法の継続

- 457 スカウト運動から大きな成果を得ようと思うなら、少年は段階的にカブ、ボーイ、シニアー、ローバーの各段階を経るべきである。

SFB(26版)294頁 旧邦訳505頁

- 458 少年の性格というものは、11歳や12歳で確立するものではない。カブ

隊の活動の実際は、ボーイ隊の活動に導くものだというのを、カプ隊長が承知しておかない限り、大部分は少年たちを駄目にするに違いない。カプが善悪の判断が充分にできるようになるまで、こうした訓練が実行されないなら、カプとして身につけた良いことの多くは、短時間の内に失われてしまう可能性がある。

カプ隊長はカプ隊というものは、単にスカウトになるまでの「待合室」に過ぎないということを、全ての新入カプ隊員とその両親に明らかにし、カプたちに常に「より良いスカウト」としての理想の姿を示し続けるべきである。

WCH,157頁 邦訳366-367頁

- 459 我々の年齢制限は、「8歳から80歳」までであり、同じ四つの原則——すなわち、性格、手技、健康、奉仕——は全ての年齢に適用でき、その訓練の細かい部分は、少年の様々な成長段階に合うように変えられている。

SYM,45頁

上進の項も参照のこと

スカウト運動

- 460 この運動は、愉快的な仲間の集まりである。

Aids,WB,4頁 邦訳3頁

- 461 [我々の運動の運営は] 二点あるだけである。一つは、我々の運動は非常に柔軟な組織だということである。もし、スカウトの指導者がこの運動の目的が嫌になれば、止めてどこか別の所へ行行って活動するのは完全に自由である。もう一つの点は、我々の中に兄弟意識があるということである。それは、正々堂々と闘う精神であり、それぞれがそれぞれの立場で役割を果たすということである。私は、この精神を奨励してやまない。なぜなら、これが我々のような運動を成功に導く秘訣だからである。

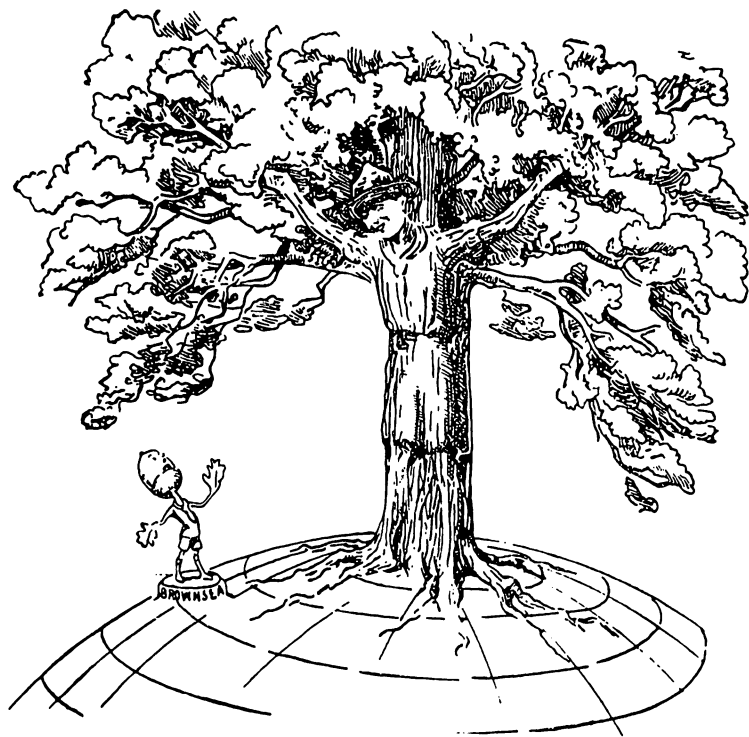
マンチェスター会議での演説1914年イースター

- 462 私は命令するのは好きではない。それは、スカウトの中で取るべき方法ではないからである。我々の内面から生じる義務感が、我々を導くのであって、外部から押しつけられるべきではない。

HQG,1921.2

463 規則がなんだ！試してみようじゃないか。

B-Pの考えが、規則に反していると反対した人に E.E.Reynolds著ボーイスカウトジュビリー1957年オックスフォード大学出版発行 74頁



464 どんぐりは成長して、大きな木になる。B-Pがブラウンシー島で蒔いたスカウトのどんぐりは、その枝を世界中に広げるようになった。

訳注；SFB(34版)273頁 邦訳419頁

465 隊長は、自己犠牲と規律を自らが実践することで教えるという義務を負っている。したがって、隊長は個人的な狭い感情を乗り越えて、全体のより高い方針に自分を従わすことができるような広い心を持たねばならない。

Aids, WB, 5頁 邦訳5頁

466 私は「この運動が」まあまあの成功をして欲しいとは思っていない。その程度の成功は確実に得られようが、私は大きな成功を目にしたいのだ。そうすれば、必然的にこの国の全ての少年たちは、市民性の訓練を受けることになるだろう。

パーシー・エヴェレット卿の「最初の10年」からの引用 GS訳116頁
(訳注：パーシー・エヴェレット卿は、B-PがSFBを出版する際、発行元のピアソン社で担当して以来、スカウト誌の発行などを手がけた。1941年には、英国連盟の総長代理になり、1930年にはスカウティングへの貢献により、サーに叙せられた。1951年没)

- 467 スカウト運動は、自然発生的に成長したもので、計画的に組織されたものではない。この運動は、若い人たちの自然な欲求から生まれたもので、教育科目として彼らに押し付けられたものではない。

Jamboree, 1921.4

- 468 我々は運動であって、組織ではない¹。

我々は「愛と法」によって行動する。

HQG, 1921.7 (BPO, 99頁に再録) GS訳110頁 (TS, 1932.3にも我々は法律によって運営される組織ではなく精神によって行動している自然な運動である。そして、TS, 1937.11に「我々は、愛によって行動する自然な運動であって、規則によって指示される組織体ではない」)

(1) もとは、オレーブ・B-Pの所見

- 469 我々が何か良いことをしようとするならば、我々と少年とは兄弟であり、我々指導者も兄弟でないといけない。[スカウト運動内部に]我々が求めるものは、単に心からの寛容さだけではなく、注意深い思いやりと他の人を何時でも、助けられるようにしておくことである。

TS, 1926.3 (BPO, 115頁に再録)

- 470 目的を本当によく理解していれば、人は言われたことを実行するものである。

Aids, WB, 序文 邦訳7頁

- 471 我々の目的はできる限り、管理の権限を地方に委譲することである。それは、官僚的な形式主義を避けるためであり、地方にできるだけ多くの民主的自治を与えるためである。我々は組織というよりは、兄弟のような関係であり、印刷されたルールや規則よりも精神や規制されぬ忠誠心によって動くものである。

TS, 1917.5 (同趣旨のものがAids, WB, 5頁 邦訳6頁とHQG, 1917.11 (BPO, 66頁に再録)

- 472 最初は考えることから始まり、次に理想を私は知った。いま、我々は運動をしている。そして、あなた方が気をつけなければ、単なる組織

に終わるだろう。

出典、年代共に不明 P.シーボルドの提供

規律／ガイディング／政治／スカウティングとガイディングの項も参照のこと

スカウターの役割

- 473 ドリル（教練）はうまいが、追跡や料理はへただという隊を見て、私はこの隊の隊長はあまりよくないと思った。無頓着だったり、想像力のないスカウターは、ドリルを唯一の手段として頼りがちである。

SFB(26版)220頁 旧邦訳377頁

- 474 隊長の態度は、最も重要である。なぜなら、少年たちの性格形成は隊長によるところが大きいからである。したがって、隊長は単なる個人的観点より、広い視野を持って自分の立場を見ること、そして、全体の幸福のためには、自分の感情の多くを殺してしまう覚悟をすることが義務づけられるのである。これが本当の規律である。

SFB(26版)298頁 旧邦訳515頁

- 475 モンテッソーリ法の秘密は、教師が作業を計画し、やる気を起こさせるようにするだけで、子供が完全に自由に目的を達成するということである。系統だった目的のない自由は混乱するに決まっている。スカウティングが、少年たちにとって第二のモンテッソーリ法だと定義されているのは、疑いもなくこの理由からである。

HQG, 1914.8(BPO, 52頁に再録)

訳注；モンテッソーリ教育法とは、児童自身に自学させることを主眼とし、特に感情教育を強調する。

- 476 カブ隊長の仕事は、カブたちを良い方向に熱中させることである。

WCH, 158頁 邦訳368頁 GG, 179頁（ガイダーの仕事のために）

（また、「隊長の仕事は、単に少年に努力するように促し、そのために良い方向に行くよう促すことに過ぎない」 SFB(26版)243頁 邦訳422頁）

- 477 カブの訓育者として、本当に成功できそうな者は、カブたちの「兄貴」になれるような人間だけである。「指揮官」のようにするのはまずいし、「教師」のようにすると必ず失敗するだろう。

私が意味する「兄貴」のような者とは、自分をカブたちと親密な関係の仲間になるようにすることができ、ゲームに加わって共に笑えるよ

うな者のことである。そうすれば、カブたちの信頼を得られ、教える者としての正しい立場に自分を置くことになる。すなわち、自分自身が模範を示すことで、カブたちを良い方向に導くというもので、単に行く先を示すために、時として高すぎる場所に掲げられている道標のような存在であってはならないのである。

しかし、誤解してもらっては困るのだが、私はカブ隊長に「やさしくしろ」とか「べたべたしろ」と言っているのではない。それどころか、仲間意識を長く価値あるものにしようとするなら、厳しさと率直さが必要である。

WCH,159頁 邦訳370頁とGG,180-181頁（最後の文節を除いて）

（また、「ガイダーの立場というものは、士官のように少女たちに命令したり、押し付けたりするよりは、少女たちと一緒に遊び指導することで、若い頃のことを再現する姉のような立場である」）GG,説明文；一般的な考え方はSFB(26版)1940年の序文 21頁 旧邦訳49頁）

- 478 カブ隊長が、伝統や規則やプログラムなどに束縛されていると感じるようであって欲しくない。

カブ隊長たち自身の経験と想像力、少年のような心、それに少年の気質に対する思いやりなどこそが、最高の手引きになる。

WCH,168頁 邦訳390-391頁

- 479 立派なガイダーは決して追い立てはしない——彼女は導く(lead)のである。

GG,171頁

- 480 いい隊長になりたいなら、少年の心を持った大人(boy-man)になりさえすればよい。

すなわち、

- 1)少年の心を持ち、先ず最初に少年たちと同じ立場に自分を置くことができないといけない。
- 2)少年期の年齢に応じた欲求、未来を見通す力、願望を知っておくこと。
- 3)集団として少年を扱うのではなく、個人として少年を扱うこと。
- 4)そして、最高の結果を得るために、個人の中に協力の精神を養う必要がある。

Aids, WB, 3頁 邦訳2頁

- 481 隊長は、学校の先生、軍隊の隊長、牧師、指導員のいずれになっても

いけない。隊長というものは、兄のような立場に立たねばならない。というのは、少年のような見方でものを眺め、少年たちを良い方向に指導し熱意を持たせることである。そして、隊長は本当の兄のように家族の伝統を知り、それが守られているかどうかを見極めねばならない。それが例えかなりの意志の強さを必要とするとしてもである。

Aids, WB, 3-4頁 邦訳2頁 (同趣旨のものがLVL, 283-284頁)

- 482 少年たちにとって英雄である隊長は、少年たちの発達を促す強力な手段を持っているが、同時にそれは自分自身に大きな責任をもたらすものである。

Aids, WB, 4頁 邦訳4頁

- 483 隊長の仕事というものは、ゴルフや大鎌を使った草刈りや毛針釣りに似ている。もし、「力を入れ過ぎれば」うまくいかないし、といって、気軽に楽々とするスイング程度ではどうにもならない。

Aids, WB, 5頁 邦訳5頁

- 484 スカウティングの原則は、全て正しいものである。その適用がうまくいくかどうかは、隊長とその適用の仕方にかかっている。

Aids, WB, 25頁 邦訳38頁

- 485 隊長は教練の本を持っている将校や手引きとなる教科書を持っている学校の先生と較べて、当然ハンディキャップを負っている。

隊長には、外から助けてくれるものは何もない。彼はやるべきことを「スカウティング・フォア・ボーイズ」と「隊長の手引き」から引き出す他はないが、その際、信頼しなければならないのは自分の持っているその少年に関する知識と共に自らの想像力である。しかし、彼には大きな助けがある。それは少年のスカウトになりたいという願望である。

あなたが相手にする少年のスカウト精神は、まだ4分の3くらいである。それを潰さないで伸ばしてやることだ。残った25%に精神を与え、完全なスカウト精神にすることだ——そのために、あなたがいるのだ！

HQG, 1921.5

冒険／実例による訓練／リーダーシップ／聞くこと／両親／個人教育／スカウティングの定義／性の項も参照の事

スカウティングの目的

- 486 スカウティングの全目的は、少年たちの性格が固まらないうちに捉えて望ましい形にまとめ上げ、その個性を発展させるように促すことである——そうすれば、少年は国にとって善良かつ価値のある市民になるよう自分を磨くであろう¹。

SFB(26版)316頁 旧邦訳546頁 Aids, WB, 70頁 邦訳108頁 (また、HQG, 1914.1(BPO, 43頁に再録)「そして、お互いに兄弟のような感情を持った立派な男らしい者になる」)

- (1)「人格形成が、教育の目的である」(ハーバート・スペンサー社会学原論Ⅱ X VII4)も見よ [編注]

訳注; Herbert Spencer 1820-1903 英国の哲学者、社会学者で進化論哲学の樹立者

- 487 ガイドの訓練の目的は、少女たちの環境がどうであろうと、少女たちに一連の健康的かつ楽しい活動を与えることである。そして、これらは少女たちを楽しませながら、次の四つの特定の項目に従って、学校外の教育を施すものである。すなわち、

- 性格と知性
- 技能と手技
- 肉体的健康と衛生
- 他の人への奉仕と仲間意識

GG, 説明文

- 488 ガールガイド運動の目的は、学校の外に好ましい環境と健康的な活動を与えて、両親、学校の先生、牧師たちを支援することである。

GG, 175頁

- 489 スカウトの訓練は、少年たちをより立派な人間にしようというものである——事実、紳士になる者は(バーナード・ショウの定義によれば)、この世界から何か得るよりは、自分からもっと多くを与えたいという者のことである。

HQG, 1919.6

訳注; George Bernard Shaw 1856-1950 アイルランド生まれの英国の劇作家、批評家。1925年にノーベル賞を受賞した。

- 490 スカウト訓練の目的は、我々の将来の市民意識を基準に、特に性格と健康の点において、改善することである。私利を奉仕に置き換えて、

少年たちが地域社会に奉仕するのに必要な能力が発揮できるように、少年たちを個人として有能で精神的、肉体的に立派な者にしてやることである。

Aids, WB, 16頁 邦訳23頁 LVL, 277頁

(「……などに置き換える」SFB(1940年版)序文 旧邦訳50頁)

- 491 この運動における我々の目的は、地球上に神の国をもたらすことができるように、若い人たちの生活の中に、無私と善意と協力の精神、そして、それらを日々の実践として教え込むものである。

1926.7.2スカウト／ガイドコミッショナー会議での演説

- 492 ボーイスカウトとガールガイド運動の目的は、市民男女に三つのH、すなわち健康(Health)、幸福(Happiness)、役にたつこと(Helpfulness)を授け、育成することである。

LVL, 13頁 Jamboree, 1928.7 GS訳128頁

- 493 我々の目的は、次の世代の者たちをかつてよりは、より広い展望を持った役に立つ市民を育てることである。そして、過去において戦争や不安を多く作り出した階級、人種、国家間に広がる敵対意識に代わって、仲間意識と協力を通して、この世界に善意と平和をもたらすことである。我々全ての人間は、唯一の父(神)の息子たちとして、兄弟であると考えて互いに寛容と善意を——すなわち愛を通して——発達させることによってのみ、幸福をもたらすことができる。

Jamboree, 1932.10 GS訳46頁に一部類似したものの訳がある

- 494 我々の究極の目的は、それぞれの国に強い身体と知力、精神力を持った男らしい男たちを作り出すことである。すなわち、信頼される人間、つらい仕事だけでなくつらい局面にも直面できる人間、多数派の意見に従うことなく自分の考えを持てる人間、国家をより良くするためには、個人のかかなりな部分を犠牲にできる人間のことである。その愛国心は決して偏狭なものであってはならないし、広い視野を持って、他の国々の愛国者の大望に対しては、思いやりを持った目で眺めることができないといけない。

1937.8 ハーグにおける第9回国際スカウト会議における即興の閉会演説

- 495 道徳的なことより、技術的なことに重きをおいてはならない。戸外での能力、森林開拓者としての能力、キャンプ、ハイキング、善行、ジャンボリーでの仲間意識、これらは全て手段であり、最終の目的では

ない。最終目的は性格——すなわち、目的を持った良い性格の者の養成である。その目的とは、気違いじみたこの世界で、次の世代の者の心を健全にして、神への奉仕をより高い水準にまで高めて、積極的に愛を行い、神と隣人に対するつとめを果たすことである。

TS,1939.3(BPO,173頁に再録) GS訳130頁

- 496 スカウティングが目指しているのは、少年たちにどう生きるかということ
を教えるのであって、単に生計の手段を教えることではない。¹

SFB(26版)1940年版の序文21頁 旧邦訳50頁 (同趣旨のものがHQG-
,1920.2(BPO,92頁に再録;LS,26頁 Aids,WB,35-36頁 邦訳53頁)

(1) この一節は、HQG,1919.1に掲載されたバーミンガムのスカウト事務
長サム・ハリソンの記事「ファクトリー・トゥループス」に示唆され
たものである(Aids,1919年版50頁を参照のこと)

スカウティングの定義

- 497 「スカウティング」という言葉は、森林開拓者、探検家、狩人、船乗
り、飛行士、開拓者、辺境開拓者の仕事や特性の意味である。

Aids,WB,18頁 邦訳25頁

- 498 スカウティングは、ウッドクラフトを通して、市民意識を養う学校で
ある。

SFB(26版)1940年版の序文21頁 旧邦訳49頁(Aids,WB,序文に同趣旨のものが、
しかし、「ゲームを通して」、そして「少年少女のために」が付け加えられて
いる。邦訳6頁)

- 499 スカウティングは楽しい戸外のレクリエーションにふさわしい冒険と
して提案されたもので、それは教育に対して現実的な手助けになること
が分かっている。

SFB(26版)1940年版の序文21頁 旧邦訳49頁



- 500 スカウティングではないというものを幾つか挙げると
- 貧しい子供たちの利益のために運営される慈善団体ではない。
 - 明確なカリキュラムや試験の基準がある学校ではない
 - 士官や私人が少年少女たちに勇ましい教練をするための軍事訓練団体ではない
 - 公共の便宜のためのメッセンジャー代理業ではない
 - 勲功章やメダルなどを取得した結果を披露する場ではない
- これらは全て外部からもたらされるのに対し、スカウトの訓練は全て内部から生じるものである。

Aids, (1919年版), 13頁

- 501 スカウティングは少年たちのゲームであり、それは少年たちの指導の下で行われる。そこで、年上の少年たちは年下の少年たちに健全な環境を与えることができ、市民意識を育てるのに役立つような健全な活動を促す。

Aids, WB, 15頁 邦訳21頁



- 502 スカウティングは真面目に勉強しなければならないような学問でもなければ、学説や出典を集めたものでもない。さらに、少年たちに規律を繰り返し教え込んだり、その個性ややる気を抑圧するような軍隊的な規則でもない。そう、それは野外での楽しいゲームである。そこでは、少年の心を持った大人たち¹と少年たちが兄弟として一緒に冒険に出かけ、健康と幸福、手技と役に立つことを身に付けることができる場なのです。

TS, 1931.1 (BPO, 137頁に再録) (Aids, WB, 序文 邦訳6頁に短くしたものがある。Jamboree, 1931.1; 第二文節はAids, WB, 19頁 邦訳28頁)

スカウティング誌62年1月号 よい青少年を作るには 57頁

(1) この言葉の意味は、No480を参照のこと

- 503 [ボーイスカウトとガールガイドの] 二つの運動は、かいつまんで言うと、奉仕で結ばれた一つの普遍的な兄弟愛である。

ソルボンヌにおける演説、Jamboree, 1922.10
訳注；ソルボンヌはパリ大学の文理両学部の通称

- 504 そう、スカウティングはゲームである。しかし、我々のパンフレット、規約、スカウター誌の中の論文、会議、コミッショナーやその他の指導者たちの訓練など、あらゆるものを見てみると、時として我々はゲームにしては、余りに深刻なものにしようとしているのではないかといぶかしむことがある。

TS, 1931.1 (BPO, 135頁に再録) (同趣旨のものがJamboree, 1931.1)
スカウティング誌62年1月号 よい青少年を作るには 56頁

- 505 我々のことを「倫理性普及協会」と呼ぶようにしていたら、少年たちは必ずしも、それには殺到しなかったであろう。スカウティングと呼び、見習スカウトになるチャンスを与えたら、全く別な結果になってしまった。

LVL, 278頁
宗教の項も参照のこと

スカウティングの人生における価値

- 506 少年たちにとって、スカウティングは良いものだとして私が奨めているのは、私がスカウティングを子供の時から始めたからである。そして、人生を楽しみ続けたいなら、若い時にスカウティングを学ぶことが、その大きな一歩となる。

1908.4発行のThe Scout第一号にB-Pが初めて寄稿した文章の最初の一句



- 507 スカウトとして、何ができるかを学んだ少年は、社会で良いチャンスを掴むものだ。

訳注;SFB, WB, 237頁 邦訳361頁

- 508 スカウティングは、どんな生活をしようとも、大変役に立つものであ

る。それが例え、軍隊生活であろうと都会で仕事しようと。

SFB(26版),26頁 邦訳4頁 旧邦訳58頁とYFBS39頁(35頁に繰り返されており、最初の言葉は「スカウトクラフト」となっている)

訳注;SFB(29版)35頁 旧邦訳74頁にもある

宗教の項も参照のこと

スカウティングとガイディング

- 509 [スカウトとガイドの] 原則は同じである。細かい部分が異なっているだけだ。

Aids, WB, 序文 邦訳7頁

- 510 [スカウティングとガイディングの] 我々の目的と方法は事実上、同じのものであり、成り立ちも同じである。我々が明確には一緒に活動していないことは、外部の人たちによって注目され始めている（また、指摘もされている）個人的には、私は両方が協力することに、大きな利点があることは分かっている。それは、両者にとって力と名声が増すということである。

HQG, 1919.11

- 511 我々が一掃しなければならないことが一つある。それは、ガイドたちの中には、スカウトたちは自分たち程には有能ではないと多少たりとも思っていて、また幾人かのスカウトたちは、女の子たちはただ遊んでいるだけだと多少たりとも思っていることである。ガイドとスカウトは、決してお互いに批判してはならない。両者は、一つの船の乗組員のように、一緒に働かねばならない。

M.De. ボウモント著「決して眠らない狼」(1953年、ロンドン) 47-48頁

ガイドと……以下GS訳 122頁

訳注；ボウモントの書名はマタペル族がB-Pのことをイムピーサー（眠らない狼）と呼んだことから。

スカウトとガイドのモットー

- 512 先日、ある老夫人が私に送ってきた封筒を「見慣れぬ銘句が書かれた旗印¹」として置いてある。それには、「B-P」の文字以外は何も書かれていなかった。しかし、私にとってこれは隠された意味を持つものである。あらゆる状況において、例えば平和の時であろうと戦争の時であろうと、人生の真ただ中であろうと死においてであろうと適用で

きるもので、全ての人が覚えておくべきものである。「そなえよつねに
(BE PREPARED)」ということだ。

1901年1月20日付けA.M.S.Methuen (出版者)宛の手紙から。E.E.Reynolds
著「ベーデン・パウエル」121頁から引用

- (1)「一人の若者が雪と氷の中で、エクセルシオ！という見慣れぬ銘
句が書かれた旗を持って……」H.W.Longfellow(1807-1882訳
注；米国の詩人)著のExcelsiorより

訳注；エクセルシオとは、より高く、向上しての意味で米、N.Y.州の
標語

- 513 スカウトのモットーである「そなえよつねに」の意味は、スカウトは
自分のつとめを果たし仲間を助けるために、何時でも危険に対処でき
るように常に準備しておかねばならないということである。

SFB(26版)24頁 旧邦訳71頁

- 514 スカウトのモットーは、そなえよつねにである。これは務めを果たす
ために何時も心と身体の準備をしておくということだ。

心の準備とは、どんな命令にも素直に従えるよう自分を律しておくこ
と。また、起こるかもしれない事故や状況をあらかじめ考えておく。
そうしておけば、必要な時に正しいやり方が分かっているので、進ん
でそれをするようになる。

身体の準備とは、自分の身体を強く活動的にしておくことで、必要な
時に的確な処置ができるようにしておくこと。そして、実際にそれを実
行することだ。

SFB,WB,22頁 邦訳29頁 旧邦訳71頁(また、LSにも)

- 515 今している仕事は、あなたが過去に行った訓練を通じて何とか成し得
るものである。

訳注;RTS,60頁 邦訳91頁

- 516 ガイドのモットーは「そなえよつねに」である。それは、彼女たちが
果たさないといけないであろういかなる務めにも準備しているという
ことであり、更には事前に練習することで何をするかを知っていると
いうことだ。

GG,59頁 GS訳32、34頁



517 良くない市民というのは、自分の都合だけを考える人のことである。
逆に良い市民とは、何時でも地域社会に力を貸す準備のできている人のことである。

私は「準備」といっているのであって、単に進んでとは言っていない。
大抵の人は進んでやろうとしているのだが、いざという時になると（それは、しばしば生じることだが）その処理の仕方を知ったことがないので、役に立たないのである。

従って、ローバーの務めは他の人たちのために、緊急の時に備えて、
どう準備しておけば、うまくいくかということを学ぶことである。

RTS、217頁 邦訳326頁

518 現実には起こりそうもないように見えたとしても、起こる可能性がある
かもしれないから「つねにそなえておく」ことに勝るものはない。

自制心

- 519 自制心が性格の大部分を占めている。

RTS,97頁 邦訳147頁

- 520 怒り、恐れ、誘惑などを——つまるところ、良心と恥を除く全て——自分自身でコントロールできる人は、紳士になる道を順調に歩んでいる人である。

RTS,84頁 邦訳124頁

- 521 自制心は、悪い習慣を克服できるだけでなく、考え方そのものも抑制できるようになる。

そして、これが幸福にとって、非常に重要な点である。困ったことが起こったなら、悪い考えを抱いている脳細胞を閉ざして、優れた理想を抱いた新鮮な細胞を開く習慣をつけることができるからである。このようにして、あなたは自分を新しい人間に作り上げることができる。

RTS,86頁 邦訳128頁

- 522 気分次第というのは、他の人に迷惑をかけるだけでなく、一般的には自分自身にとっても損失である。もし、議論をする中であなたが正しければ腹を立てる必要はないし、逆に間違っていれば腹の立てようが無い。

LS,67頁

(もしくは、RTS,88,234頁 邦訳131,352頁 それに、LVL,315頁)

- 523 個人的に気がついたことだが、怒りを鎮める最高の方法は、口笛を吹くことである。

LS,67頁 (またDP,165頁「改善される見込みがないことに腹が立つ時は、空に向かって口笛を吹くにこしたことはない」)

- 524 気性というのは、良かれ悪しかれ成長するものである。怒りやすいといった悪い気性は、抑えることで直に克服できる。

悪い気性を克服する方法は、努めて口笛を吹き微笑むことである。

ATM,174頁

班制度／演劇／スポーツマンシップの項も参照のこと。

利己主義

- 525 世界にはびこっている悪徳とは何かと聞かれたら、それは利己主義であると私は答える。

Aids, WB, 65頁 邦訳101頁

- 526 いわゆる「愛国的な国家」がそうであるように、九割の人は自己愛が先に立ってしまう。自己を推し出すことは、結局は戦争を意味することになる。これは、悪魔のルールである。これに対するのは、無私の愛と奉仕で、世界に神のおきてを明らかにすることである。宗教とは、神のおきてを実行するものである。

1926.7.2スカウト／ガイドコミッショナー会議での演説とSYM, 58-59頁

- 527 利己主義が国家を作ったことはない。

LS, 17頁

協力／奉仕の項も参照のこと

自立

- 528 少年を自立させ、人生に立ち向かえるようにするものとして、スカウティングはこの世で最も良いものである。

YFBS, 146頁

- 529 ゴルファーとして、私は自分のクラブを運ぶのにキャディーを雇うつもりはない。私はこのゲームを自分自身でしたい。これは、鹿にそっと忍び寄ったり、鮭を釣り上げるのと全く同じことだ。私は髪だって、他の人に刈って貰わないで、自分で刈っているのだから——髪がある限りはね！

RTS, 42頁 邦訳62頁

- 530 一人で物事をする習慣が身につくと、人の日常生活のあらゆる面に浸透してゆくものである。そして、これは非常に健全な習慣である。「もし仕事を成し遂げたいなら、自分でやることだ」ということが、日常の決まり事となる。家庭での細々とした仕事も魅力的になり始め、多くのことを教えてくれる。

RTS, 45頁 邦訳68頁

- 531 何時も自分自身を当てにするようにして、他人があなたにしてくれることを当てにしてはならない。「自分のカヌーは自分で漕げ」
PYOC,序文(RTS,22-23,45,109-110頁 邦訳32,68,166頁
キャンプ／有能／水泳の項も参照のこと

自尊心

- 532 自尊心は少年に責任を与えて、能力の限り務めを果たす名誉ある人間だということで信頼してやり、甘やかすことなく、尊敬と思いやりを持って接することによって育むことができる。
Aids, WB, 42頁 邦訳63頁

- 533 うぬぼれではない自尊心は、他の人からの尊敬を生みだす。
RTS, 97頁 邦訳147頁

ユーモアの精神

- 534 若者として、あまりに真面目に考えすぎると堅苦しい人間になってしまう。ユーモアの精神があれば、こうした危険から抜け出し、同時に苦境の時も切り抜けることができる。
RTS, 168頁 邦訳254頁
- 535 どんなものにも、少なくとも5パーセントは良いところがある。だから面白いことだって5パーセント位はあるだろう。
RTS, 235頁 邦訳353頁

- 536 ユーモアの精神とは、危険や不快な状況においてさえ、こっけいな面を見ることができるもので、人生を過ごすのに最高の価値がある。
PYOC, 92頁

奉仕

- 537 私が意味する奉仕というのは、返礼や報酬を考えるとなく、自我を殺して喜んで他の人の役に立つことをすることである。
Jamboree, 1924.1
- 538 スカウトの主な務めの一つは、自分のできる何か可能な方法で、困っている人々を助けることである。

- 539 隣人への務めは慈善を施すということに限られるものではなく——それ以上のものが必要であり——本当に役に立つためには、しばしば自己犠牲が求められるものである。

Aids(1919年版),101頁

- 540 奉仕を教えることは、単に理論を教えればよいのではなく、二つの異なった面を伸ばすことである。すなわち、善意の精神を繰り返し教え、それを実際に行動に現す機会を与えることである。

これは主に、実例を通して教えられる。隊長は自分が少年たちに奉仕するのは、自己を愛国的に献身することであり、楽しいからするのであって、物質的な報酬を求めてやっているのではないのだということを身をもって示すことにより、彼らを正しく導けるだろう。

Aids, WB, 67-68頁 邦訳105頁

- 541 自己を抑えて、他の人に対する愛と奉仕の心を育むことは、神が心に宿ることであり、個人の心を全面的に変化させてしまう。そして、それは真の天国の栄光をもたらす。これは、彼を別の存在にするものである。彼が問うのは、「何を得ることができるか」ではなく「人生で私は何を与えることができるのか」というものになる。

Aids, WB, 69頁 邦訳107頁 (同趣旨のものがLS, 16頁)

- 542 私はローバースカウトの生活のごく普通の環境における〔奉仕〕の可能性と必要性を強調したい。そして、ローバーは、先ず第一に普段の生活に自らの理想を適用しなければならないということを指摘したい。

RTS, 240頁 邦訳361頁

- 543 少年たちは〔奉仕〕を教えられるものである。最初はウルフカブとして母親に初歩的な善行をし、スカウトとしては日々の善行と人命を救うための準備をすることを経て、最後にローバーとして他の人々へ日常的に公共奉仕するようになる。

TS, 1924.1(BPO, 109頁に再録) (同趣旨のものがJamboree, 1924.1とTS, 1929.9)

- 544 奉仕というものは、暇な時だけにするものではない。奉仕は、あらゆる時に、実践されるべき生活態度でないといけない。

ローバーのヴィジルに使う自省 日付け不詳でほぼ1927年のもの

訳注；ヴィジルとは、元々はカソリックの徹夜の祈とうのことで、B-Pが準ローバーがローバーになる直前に行う自省として取り入れたもの。詳しくは、スカウティング誌1965年11月号中村知著「英国ローバーの研究」を参照のこと

- 545 奉仕をして、我々はいかなる支払いも報酬も受けない。この結果、我々は、自由に物事を実行することができる。我々は、一人の雇い主のために働いているのではなく、神と我々自身の良心のために働いているのである。

ローバーのヴィジルに使う自省 日付け不詳でほぼ1927年のもの

- 546 あらゆる人に対して、二つの道が開かれている——私利か奉仕である。そのどちらが自分の本当の目的か、自分自身で選ばねばならない。私利の方が安楽であり、奉仕は犠牲を含む。もし犠牲を引受られないなら、自分のことを男だというべきではない。しかし、愛を表現するのに犠牲を払うのであれば、人生は本物になり幸せなものとなるに違いない。

LS,16-17頁（またRTS,221頁 邦訳333頁に「犠牲は奉仕の塩である」）

- 547 愛の真の目的は、人柄がよければ充分というものではない。それでは、あまりに消極的である。人は利己的であっても、人柄の良い場合があるかもしれない。

我々は少年たちを嫌々教会通いする人にするよりは、むしろ積極的なクリスチャンにしたい。

我々の目的は、自己に奉仕する以上に他の人に奉仕することによって、愛を育てることではないといけない。

ヨーク会議での演説草稿 Jamboree,1928.7

- 548 ローバーのモットーは「奉仕」であり、ローバーはウルフカブ、スカウトとして、自分に備えてきたもので他の人への奉仕を実行することを期待されている。

SYM,35頁（またもっと簡単にRTS,266頁 邦訳341頁「奉仕は、ローバーたちのスカウティングの実践の賜物である」）

少年の本質／能動的教育と受動的教育／神／個人と地域社会／愛国心／ローバーリング／スカウティングの目的／利己主義の項も参照のこと

裁縫

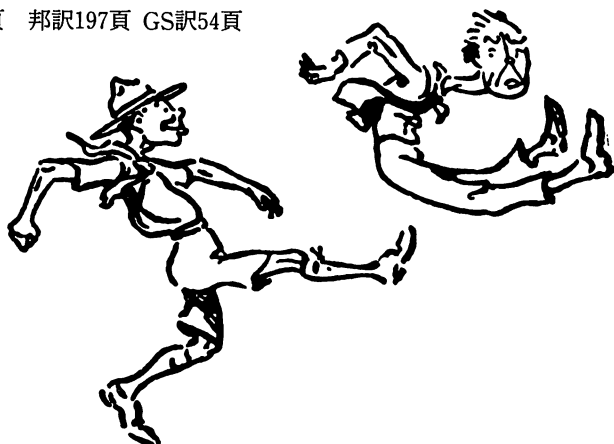
- 549 針仕事は、我々全てにとってよいものである。針仕事は心を休ませ平静にしてくれる。裁縫をしながら、ヨーロッパのあらゆる心配事を静かに考えることができる。裁縫は、あらゆる困難な問題、主に他の人々の問題を解決する。

GG,133頁

性

- 550 性はあらゆる生物に普遍的なものである。性に罪はない。罪は、性が濫用された時に生じる。

RTS,129頁 邦訳197頁 GS訳54頁



- 551 スカウトは「考え、言葉、行動の全てが清潔である」スカウトはひよいな話をする者をどうしたらよいか知っている。

SFB,WB,216頁 邦訳305頁

- 552 少年の教育で、最も困難で重要なものの一つは性衛生学である。身体、精神、心、健康、道徳心、性格、全ては性の問題に関っている。これは、隊長が一人一人の性格によってうまくアプローチしなければならない問題である。これは教育の専門家によってもまだうまく行われていないことである。しかし、これは少年の教育において、無視できないものの一つであり、ましてや少女の場合はそれ以上である。もちろん、子供たちが適当な指導を受けているかどうか確かめるのは、基本的には両親の務めだが、かなりの両親がその務めを避けて、言い訳を考えている。このように無関心は犯罪に他ならない。

隊長にとって大切なことは、先ず少年たちの全面的信頼を得ることで、兄のような関係になることである——そこでは、両者が極めてオープンに話しあうことができる。

Aids, WB, 53-55頁 邦訳82頁

- 553 性は人生における全てではない。別のエネルギーが性にとって代わり、緊張を和らげる。別の関心事に興味を持てば持つほど、それに熱心になり、原始的な性あなたが悩ますことは少なくなる。そして、時が来れば、あなたの伴侶になる女性と自然に喜びを分かち合うことになるだろう。

RTS, 106頁 邦訳160頁

美／自然の項も参照のこと

沈黙

- 554 話をする前に、今から言おうとしていることは本当に必要かどうか、先ず考えてみるべきである。そして次に、もし必要でないなら言葉を無駄に使ったり、他人の関心を失わないようにすること。

YKE, 61頁 GS訳18頁

- 555 沈黙を守ることは、非常に価値があり、巧みな技術を必要とすることである。このやり方を学ぶべきである。話続けることは、多くの人を遠避けて沈黙の傍観者にする。何か言わなければならない本当に重要なことだけ言う人は無口の人であり、人から耳を傾けられる人である。「何かを成すのは寡黙の人である」

RTS, 156頁 邦訳236頁

- 556 「自然は、我々に一枚の舌を与えたが、耳は二つだった。だから、話をするより、二倍聞こう。」

RTS, 169頁 邦訳256頁

組長の役割

- 557 [組長と次長は] カブ隊長の直接の監督の下でのみ、指導や教えるという実際の責任を与えられるべきである。組長は「年少の班長」ではない。したがって、組の世話を引き受けたり、訓練したりできると見なすべきではない。

WCH, 163頁 邦訳379頁

隊、パックの大きさ

- 558 隊の人数は、できれば32人を越えるべきではない。私が、この人数を提案したのは、私自身が少年を訓練する場合、せいぜい16人位しか面倒をみれない——それは、個人個人の性格を理解し引き出すということ——ということが分かったからである。他の人なら、私の倍はできると思って、総計32人ということにしたのである。

Aids, WB, 31頁 邦訳43頁 (同趣旨のものがWCH, 163頁 邦訳379頁「B-Pなら18人、もっとよくできる読者なら24人」)

喫煙



- 559 スカウトは皆、スカウトのおきてを知っている。しかし、書かれてはいないが、スカウト皆が知っている特別なおきてがある。それは、「スカウトは馬鹿ではない」というものだ。だから、まだ成長段階の少年であるスカウトは、煙草を吸わないのである。

SFB, WB, 213頁 邦訳299頁 (また若干異なる表現でATM, 122頁 RTS, 75頁 邦訳109頁とLVL, 272頁)

- 560 好きで煙草を始める少年はいない。一般的には、煙草を吸うのが怖いんだろうと他の少年からからかわれるのを恐れたり、煙草を吸うと偉そうな大人に見えると考えているからである——煙草を吸う者は何時も見たって、小さな馬鹿者に見えるだけなのに。

SFB, WB, 213頁 邦訳300-301頁 旧邦訳352頁 また26版39頁 旧邦訳90頁 RTS, 69頁 邦訳100頁 (「10人中9人の少年は、大抵は空威張りから煙草を吸い始める」)

- 561 一般的に煙草を吸う人は吸わない人ほどには、鼻がきかない。だから、最も立派なスカウトは煙草を吸わないということが分るだろう。

WCH, 79頁 邦訳121-122頁 (同趣旨のものがLVL, 271-272頁)

- 562 かつてある人がスカウティング・フォア・ボーイズの改訂版を書いた。その中で彼は「スカウトは決して煙草を吸ってはならない」と命じていた。してはいけないと少年に命令するのは、一般的には危険なことである。これは、彼らに命令に反することをすぐにしようという冒険心を起こさせるからである。

何かに例えて忠告するとか、見下げ果てた馬鹿げたことだということを話してやると、少年たちもそれを避けるようになるだろう。これは、不純な話、賭博、その他、若い時にありがちな失敗に関しても同じことだと私は確信している。

こうしたことを「他の人に、かっこよく見せようということは、ガキのすることだ」とけなすようになるまで、少年たちの間に良い風潮や世論が確立するようにするのは良いことである。

Aids, WB, 55頁 邦訳85-86頁

- 563 個人的には、私はずっと煙草を吸わないでいる。

TS, 1931.10

肯定的教育と否定的教育の項も参照のこと

俗物

- 564 スカウトは俗物になってはいけない。俗物というのは、人が自分より貧しいからといって見下げたり、逆に金持ちだからといって不愉快だと言う哀れな者のことである。スカウトは、相手のありのままを見て、その最も良い所を見てやるものだ。

SFB(26版)46頁 邦訳vii頁 旧邦訳92頁 (またYKE, 36頁(ガイダーに)GG, 61頁)

スパルタ精神

- 565 [ゲームで少年たちがけがをした時] カプ隊長は、スパルタ精神を示すように期待し励ますべきである。克己の精神は、カプたちにとっては、全く新しい考え方である——しかし、これは素晴らしいものである。競技場において「死ぬほど痛い目」にあったとしても、それに対して涙を許すべきではない。

ゲームにつきもののむこうずねを切ったり、けがをして、少年が痛みを訴えたりしても、軽く受け流して、大げさに取り合う必要はない。もちろん、けがが軽ければだが。

WCH(15版),213頁 邦訳350頁

精神

- 566 [美術章を与えるのに] 少年たちの作品に対する気持ちと心意気は、理論的な原則に対するのと同じ程度に重要視してやるべきである。

WCH(15版),147頁 邦訳294頁

- 567 自動車というのは、素晴らしい新たな工夫をした機械装置である。その弁、気筒、電気系統と複雑な歯車は、全て組み合わせられて、互いにきちんと動くようにしてある。しかし、健全な精神のない動力は何も役に立たない。

ハンプトン卿著 スカウティング・スケッチ(1925年 ロンドン・ピアソン社発行)の序文から

- 568 どんなに最悪の少年でも——あえて言わせてもらおうなら——健全な心はいっぱい持っているもので、機会さえ与えられれば、何時でも応えられる。

SYM,24頁



- 569 何時も言っていることだが、健全な精神さえあれば「不可能(impossible)」という言葉の「不(im)」を蹴っ飛ばしてしまうことができる。

LVL,235頁 GS訳128頁 訳注;SFB,邦訳360頁に類似のものがある

- 570 外から見える表面的なものではなく、内面の精神こそ重要である。そして、精神はあなたがそれに気づき、光を当てるなら、あなたが接するどんな少年にもあるものである。

少年の本質／キャンプ／肯定的教育と否定的教育／男らしさ／平和教育／ユニフォーム／世界兄弟愛の項も参照のこと

スカウティングの精神

- 571 一度スカウトになると——何時までもスカウトである¹。

訳注；英国連盟once-for-all edition(34版)233頁 邦訳340頁



(1)元は、キッチナー卿（訳注；Horatio Herbert Kitchener(1850-1916)アイルランド生まれの陸軍元帥、ボーア戦争(1899-1902)で総司令官を務めた。1914年陸軍大臣）の言葉

- 572 この運動の精神を解く鍵は、ウッドクラフトのロマンスと自然学習にある。

SFB(26版)292頁 旧邦訳503頁とAids, WB, 20頁 邦訳30頁(また15頁にも邦訳25頁)

- 573 精神こそ全てである。一度、それが作られると全ては簡単だ。精神なしには少年の訓練は實際上、不可能だ。

HQG, 1913.7(BPO, 33頁に再録) (同趣旨のものがAids, WB, 22頁 邦訳33頁 QTW, 2頁と11頁にも出ている)

- 574 スカウティングは聴衆を前にして、言葉などで教えられるようなことではないし、文字によって定義づけられるものでもない。これをうまく適用するには、訓練をする人と受ける側の相互が、スカウト精神を

完全に把握できるかどうかにかかっている。

HQG,1920.7(BPO,94頁に再録)

- 575 スカウト活動は、父親が子供たちに持って帰る新しいおもちゃのようなものだという冗談がある。というのは、最初にこのおもちゃと遊びふけるのは父親だからである。そう、スカウティングも、これと同じでないといけない。

HQG,1922.4(BPO,102頁に再録)

スポーツ

- 576 どんな種類のゲームや活動であろうと、真のスポーツとは、あなたを健康にするものであり、見るものではなく自分でするものである。

RTS,43頁 邦訳64頁

プレイヤーと見物人の項も参照のこと

スポーツマン精神

- 577 神よ、私が勝てるよう助け給え。しかし、あなたの英知が、私の勝利を望まなければ、私を良き敗者にしたまえ。

SFB,WB,242頁 邦訳341頁 旧邦訳398頁

- 578 スポーツをする人は、興奮し腹の立つような状況でも常に平静さを保つべきである。どんなゲームにおいても、負けた時には取り乱したり、不機嫌になることがないような態度を身につけないといけない。ゲーム中はベストを尽くしなさい。しかし、「敵は勝つには勝ったが、我々の方がもっと良いチームだ!」などと言ったり、考えたりしないようにしなさい。立派なスポーツマンというものは、ぶつぶつ言ったり、くよくよすることなく負けを認め、勝った人に対しては常に敬意を払うものだ。

WCH(15版)216頁 邦訳355-356頁

- 579 審判の決定を批判してはならない。どんな審判でも間違いはするものだ。事実、人間は誰でも間違いはするものだ。そう、カブさえも時には、誤りを犯すものだ!したがって、審判に不満を感じたら、自分で一度か二度、審判をやつてみるとよい。そうすれば、すぐに審判の仕事に同情するようになるだろう。

WCH(15版),216頁 邦訳356頁

580 ゲームでは、厳格なルールが守られないといけない。それは、プレイヤーとしての自己抑制と人柄を意味している。そして、最後には勝者が敗者を思いやるのがふさわしいやり方であり、敗者は先ず相手に声援を送って祝福すべきである。これは、習慣になるまで実行するべきである。

Aids, WB, 31頁 邦訳45頁 (同趣旨のものがSFB, WB, 242頁 邦訳341頁 旧邦訳397頁とGG, 157頁)

581 チームが負けた時、少年たちが敵をねたんだり、ジャッジが不公正だったとか、敵の戦術について、不満を言ったりしないようにするのは「当たり前」のことである。そして、どんなに不満であったとしても、心から敵を讃える言葉を贈るべきである。これは、真の自己規律と克己心を意味するものである

Aids, WB, 48頁 邦訳74頁

582 真のスポーツマン精神でゲームができないなら、全くしないほうがよい。

WSCD, 28頁

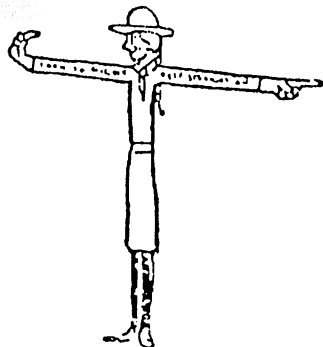
スパルタ精神の項も参照のこと

お話

- 583 カブ隊長は、どんな時でもカブたちにお話をする事で、彼らを引き付けておくことができる。そして、それを通してカブ隊長は教えたい教訓をカブたちに伝えることができる。

WCH,166頁 邦訳384頁

率直さ



- 584 回れ右をして、真っ直ぐに進め。

GG,58頁 GS訳30頁

訳注；挿絵の腕に、同じ文章が書いてある。回れ右をする (turn to the right) には、正しい方向を向くという意味がある。

- 585 出発点で真っ直ぐに行かなかった者は、その後の人生もきっと曲がって進むだろう。

YKE,80頁

- 586 黒白をはっきりすることができないようなことは言ってはならない。

書記章のモットー WSCD,164頁

成功

- 587 「頑張れ、そして居なくてはならない人になれ」

仕事で成功したい少年にB-Pが与えた忠告

Aids(1919年版)83頁

- 588 成功というのは、障害を乗り越えることによってのみ得られる。勝利を得るには、先ず敵に会って戦い、打ちのめすつもりにならないといけない。

LS,120頁 GS訳68頁

- 589 成功は自分次第で、寛大な運命のせいでもなければ、強力な友人たちの力によるものでもない。

LVL,13頁

性格／教育の成功／女の子たち／幸福／リーダーシップ／母親／辛抱／班長たち／宗教／スカウトのおきての項も参照のこと

水泳

- 590 泳ぐことができるのに、溺れている人を助けることができないようでは、完全なスカウトだと思ふべきではない。

SFB,WB,111頁 邦訳149頁 旧邦訳205頁 GG,148頁 (ガイドたちへ)

- 591 全ての人は、泳ぐことができるようにすべきである。水泳は、心理的な面では少年に自信と勇気という新しい感覚を身につけさせてくれるし、道徳的な面では困っている人を助ける力を与え、さらには何時でも他の人々のために、実際に生命を懸けるという責任をもたらす。そして、肉体的には呼吸器や手足を発達させる素晴らしい運動である。

HQG,1914.2(BPO,49頁に再録)

チップ

- 592 スカウトは仕事の報酬ではない限り、決してチップは受け取らない。チップは出されたら、時として断るのはなかなか難しいこともある。しかし、スカウトなら簡単である。「有難うございます。しかし、私はスカウトで、善いことをした時には何も受け取らない規則になっています」というだけでよい。

SFB,WB,235-236頁 邦訳331頁 旧邦訳387頁
(同趣旨のものが、RTS,90頁 邦訳136頁)

- 593 チップを渡すことと施しとは、正反対のものである。チップを渡すことは、チップを受け取るのと同じくらい悪いことである。

LS,82頁

寛容

- 594 寛容ということについて一言。人はそれぞれ違う。だから、他人が自分たちより劣っているように見えるからといって、軽蔑してもよいなどと決して考えてはいけない。

例えば、あなたは運動が上手で、スミス君は下手だが、本のことに
ついては詳しいかもしれない。彼を軽蔑してはいけない。「世の中は持ち
つ持たれつ」なのだから。

RTS,110頁 邦訳167頁

追跡

595 追跡のないスカウティングは、パンのないバター付きパンのようなも
のだ。

ATS,54頁とLVL,134頁

旅行

596 私が首相だったら、議員に選ばれる人は、その前に少なくとも一度は
世界旅行をするよう義務づけたい。

RTS,166頁 邦訳251頁

597 ハイク——それは、冒険に満ちた旅をすることである——を軽視する
のは、神への務めを軽視することである。神は、美と驚異に満ちたこ
の世界で育て上げるようにと、私たち一人一人に肉体、心、そして魂
をお与えになった。

TS,1932.1

598 人生は短い。にも拘らず、活気がなく退屈な人々はその大部分を何も
しないで過ごしている。そしてしかも、この人たちはちっとも楽しん
でいないし、満足もしていない。しかし、自分たちが住んでいるこの
素晴らしい地球をちょっと歩き回ってみれば、より広い視野と人の心
と善意、世界の平和を促すより大きな思いやりを持てるようになる。

AA,7頁

ローバーリングの項も参照のこと

ユニフォーム

599 ユニフォームは、あなたが大きな友愛団体の一員だということを意味
している。そして、このユニフォームは世界中に通用するものである。
人々は、このユニフォームを着ている少年は、非常に重要だと考えて
いる。なぜなら、このユニフォームを着ている少年は普通の少年と違
っていることを知っており、清潔かつ聡明で活気にあふれ、しかも自

分のベストをつくして命令に従い、他の人々に善いことをする者だと信じているからである。

WCH,55頁 邦訳94頁

- 600 私自身のことを言うなら、私は春だろうと夏だろうと何時も半ズボンである。それで、風邪をひいたと思ったことは一度もない。それでは顔や両手を出しているから、風邪をひくと思うのと同じようなものだ。

MFB,58頁

- 601 よく言うことだが、「自分の仕事に専念して、スカウトのおきてを実行する限りは、スカウトがユニフォームを着ていようが着ていまいが、気にはしていない」しかし、実際の所、ユニフォームを買うことのできるスカウトで、ユニフォームを着ていない者はほとんどいない。気持ちそうさせるのである。

Aids,WB,24頁 邦訳37頁

- 602 スマートにユニフォームを着たり、細かいところまできちんとしていることは、取るに足らないことかもしれないが、自尊心を発達させる上では大切なことである。そして、目に見えるものだけで判断する外部の人たちの中におけるこの運動の評判を考えると大きな意義がある。

Aids,WB,25頁 邦訳37頁 GS訳108頁に一部訳がある

- 603 帽子をかぶっていないユニフォーム姿をよく見かける。そう、もしあなたが流行の髪型をしていたり、ふんわりしたまき毛だったら、きっと人に見せたいと思うだろうということは分かる。同時に、これは格好いい五分刈りを見せられない他の哀れな男に、むしろ見せびらかすことでもある。さらに言うと、これは皆と同じ（ユニフォーム）ではない

Jamboree,1929.4

- 604 スカウトはシャツの袖をまくって着る。なぜなら、こうしているとより自由に動けるからであり、何時生じるかもしれないどんな仕事にも「つねにそなえている」ことを示せるからである。

スカウティング誌（アメリカ連盟）1932.3

- 605 少年にとって、ユニフォームは大きな魅力である。これが、森林開拓者が着ているような服なら、少年にとって英雄である開拓者と自分が想像の世界で直接結びつけられる。

ユニフォームはまた、兄弟愛を養う。というのは、ユニフォームが世界中で着られたなら、階級や国の違いを全て覆い隠してくれるからである。さらには、スカウトのユニフォームは質素で衛生的である。

LVL,284-285頁

- 606 同じユニフォームは、あらゆる違いを覆い隠し、国を一つにするのに役立つ。しかし、それよりなお重要なのは、国や人種の相違を包み込んで、一人一人がお互いに一つの世界の兄弟の一員であることを感じさせてくれることである。

Jamboree,1938.7 (同趣旨のものがATM,189頁)

ビジョン

- 607 努めて黒雲の裏にある明るい面を何時も見るようにしなさい。そうすれば、自信を持って、暗い局面に正面から対応することができるだろう。

RTS,86頁 邦訳128頁 GS訳48頁(また、少し異なった言葉でYFBS,184頁, PYOC,37頁,それとJamboree,1932.1)

- 608 楽天主義は勇気の一種で、他の人々に信頼感を与え成功に導く。

RTS,236頁 邦訳354頁

- 609 あなた方に言おう。広く見よ、行く手の目前にある石を乗り越えて、道がどこに通じているかを見極めて、元気よく前進しよう。あなたと同じ道を歩んでいる人は、十分な装備をしていないかもしれない。その時は歩みながら、彼らに援助の手を差し延べよう。

HQG,1923.10

- 610 我が山〔ケニア山〕が「より広く、高く、遠くを見よ。そうすれば、道は見えてくるだろう」と語りかけている。

TS,1939.3(BPO,171頁に再録)GS訳110頁

- 611 完全な人がいるなどと期待してはいけない——人には必ず欠点があるものだ。馬鹿な連中には、人の悪い所ばかり見えるものだ。相手の良い所を見つけ、それを自分の心に持ち続ければ、それらが少しずつ相手の欠点を消していつてくれる。

TS,1929.8(BPO,128頁に再録)

訳注；初版では楽天主義の項にNo74、607、608、610、611があったが、この項に変更になり、No611に変わってNo609が追加されたが、初版にあったので掲載しておく。
少年の本質の項も参照のこと

歩くこと



- 612 歩くというのは、元気よく歩くことで、だらだらとうつむいて歩くというのではない。

RTS,118頁 邦訳179頁 GS訳52頁

戦争

- 613 私たちは、戦争の原因を無くさないといけない。軍隊は単に結果にすぎない。

ザ・タイムズ紙への投書から 1918年

- 614 もし、全ての人が自分の身体のことやその働きについて、少しでも研究したなら、すぐにも神の奇跡のような御業や神がいかに私たちの心だけでなく、身体の中にも存在しているかが分かるだろう。

そして、君たちの何人かが経験しているように複雑で美しく作られた生のメカニズムを持つ神の手による素晴らしい身体が、人の作った卑劣な行為による戦争の中で、爆弾や砲弾によって砕かれたり、破壊されたり、あるいは片輪にされるのを見たなら、戦争というものは、何か悪いものであり、神を汚すものだと思うだろう。

RTS,190-191頁 邦訳286頁

平和教育／世界兄弟愛／世界兄弟愛と愛国心の項も参照のこと

仕事

- 615 仕事をうまくなし終えることは、大きな喜びをもたらしてくれる。それがたとえ、やかんをきれいに磨くことであったとしても。
GG,166頁 GS訳26頁
- 616 人生を送る中で、あなたの前途に取り組むべき新しい仕事や活動が、次々と常に現れることに喜びを感じるようになるだろう。
RTS,42頁 邦訳63頁
- 617 もし、君が四角い杭なら、四角い穴を探し、そこに到達するまでは満足してはならない。
RTS,49,62頁 邦訳73,93頁
- 618 仕事は非常に限られているし、型にはまったことをずっと続けるように見えるからといって、全く仕事に興味を持てないという人たちがいる。その人たちは、周りを見まわして、自分の仕事が完成した仕事全体の中で、どの部分に位置しているかを見るとよいと思う。先の方に目をやると、その仕事が仕事場や事務所の壁をこえて役に立っている究極的な価値を持つものであることが分かるだろう。
RTS,58-60頁 邦訳90頁
- 619 仕事を好んでするなら、どんなに差がつくことだろう。
RTS,80頁 邦訳117頁
- 620 仕事からどれだけ得られるかではなく、仕事にどれだけ打ち込めるかという野心を持ちなさい。
RTS,168頁 邦訳254頁
- 621 仕事……それは若さを保つ秘訣である。働かなかったり、働くのが嫌いな人は、活気のない退屈な人になり、早く年をとる。仕事は寿命を短くするどころか、人生の万能薬である。
LS,125頁 GS訳68頁
計画／ゲームをする／休養の項も参照のこと

世界兄弟愛

- 622 キムはインド人たちから「世界のちっちゃなお友達」と呼ばれた。す

すべてのスカウトは、この名で呼ばれるべきである。

SFB(26版)46頁 邦訳viii頁 旧邦訳92頁とGG,61頁

- 623 大切なのは精神である。スカウトのちかいとおきてを本当に実行に移すなら、国家間の戦争や紛争はなくなる。

SFB,WB,285頁 邦訳407頁 旧邦訳485頁

- 624 スカウトは世界中どこで会っても兄弟である。スカウトはお互いが分かる秘密のサインを持っている。そして、全ての人を助け、暖かくもてなす。スカウトは自分の持っている最上の食事と寝場所をあなたに提供するが、その報酬は期待しない。それは、顔に唾を吐きかけることを期待しないのと同じことだ。スカウトは「友人」は言うまでもなく、見知らぬ人（特にそれが婦人や子供であったなら）を救うためにも、自分の命を犠牲にするだろう。

YFBS,12頁（同趣旨のものがSYM,75頁）



- 625 スカウティングは、兄弟愛である。それは、定義できないあふれるような精神で（それは神のしもべたる精神である）階級、人種、国家、肌の色の違いを本当に超越した者の集まりである。

Aids,WB,67頁 邦訳104頁

- 626 スカウト兄弟たち！私はあなた方に厳粛な選択をしてもらいたいと思う。この世界に生きる人々の間には、ちょうど言葉や体格が違うように、考え方や意見の違いがある。一つの国が、自分の国の意見を他の国に押し付けると、必ずやむごたらしいことが起こるということを、戦争は私たちに教えてくれた。一方、ジャンボリーは、もし私たちが相互の寛容と互譲の精神を身につければ、そこには思いやりと調和が

もたらされることを教えてくれた。もし、その意志があるならば、今ここから心からの決意を持って、私たちと私たちの少年たちの中に、スカウト兄弟愛という世界的な精神を通して、仲間意識を育てることに邁進しよう。そうすれば、私たちは世界に平和と幸福を、そして人々の中に善意を培う助けになるであろう。

スカウト兄弟たちよ、答えてくれ。あなた方は、これに加わって努力をする気はあるか？

1920.8オリンピアでの第一回世界ジャンボリーでの閉会演説

SFB,旧邦訳485頁 スカウト運動201頁 ベーデン・パウエル伝207頁



- 627 神は、私たち人間が宗教、政治、愛国心、階級というの名の下に、小さな相違を作り、より大きな結びつき（それは、人類という家族における兄弟愛である！）を省みようとしないうことを笑っておられるに違いない。

1921.10.Jamboree

訳注：挿絵、柵の上から利己主義、人種的偏見、宗教上の相違、階級意識、不機嫌

- 628 次の世代の人には、より広く物を見て欲しい。そして、お互いを一人の父（神）の息子、世界に拡がる兄弟として見て欲しい。それが、主義や肌の色、国、カーストがどんなに異なっていたとしても。

1921.10.Jamboree

- 629 もし、全ての人が兄弟愛を育て、他の人々が願っていることを、先ず最初に考え、自分自身の個人的な望みや楽しみ、興味を二の次にし

たならば、世界は随分変わってしまうだろう。

「無想家の夢は、単に夢にすぎない。だから、試しても仕方がない」という人もいるだろう。しかし、私たちが夢見るだけで、手を伸ばして、私たちの夢の実態を掴もうとしないなら、私たちは決して進歩することはないだろう。

カナダ教育会議での演説 ハンプトン卿著 スカウティング・スケッチ（ロンドン、ピアソン社発行）1925年 20-21頁からの引用

- 630 善意と協力があれば、国家を分断している取るに足らない不和は、無くなるであろう。階級や宗派を同じくする人々でも敵となったり、分裂した場合は、もはや仲間ではないのだから。

善意と協力は、国家間に共感をもたらす。そして、政治家たちは互いに友好的でありたいと考えている人々を、もはや戦争に引き込むことができないということを知るだろう。また、彼らはそれが大事な国民の意志であることを知るだろう。

1926.7スカウト／ガイドコミッショナー会議での演説

元スカウトと元ガイド／友情／障害児スカウティング／平和教育／ローバーリング／スカウティングの目的／スカウティングの定義／旅行／制服の項も参照のこと

世界兄弟愛と愛国心

- 631 国家的野心を増大させると、常に他の国々に対して狭い嫉妬心を持つようになる危険性がある。幸運にも、我々のスカウト運動は世界中のほとんどあらゆる文明国に、スカウト仲間を組織している。そして、我々はすでに世界兄弟の核を形成している。

この可能性は協力的なガールガイドという姉妹運動の協力のより広い発展で補完されている。

SFB(26版)316頁 旧邦訳546頁（Aids, WB, 70頁 邦訳108-109頁に再録）

- 632 世界大戦によって、我々は大きな混乱に陥り、新しい秩序に目覚めた。もはや、国の優劣などはありはしない。戦争は我々に、物質的、知的に発達した現代の状況の下で、我々自身を改造し、文明の恩恵を利用すべきであること、さもなくば、この野蛮な争いという形を取った地獄を思わせる罰は（我々は既に味わっているが）最後には、我々を破滅させるであろうことを警告してきた。

1921.1.Jamboree

- 633 一国に対する愛国心は偏狭であるのみならず、害である。もし、それが地平線を超えて眺め、他の国の良さを知り、認識したりすることを防げるならば。

1926.7.2スカウト／ガイドコミッショナー会議での演説

- 634 少年や少女たちに、愛国心を教える時には、注意しないとイケない。愛国心というものは、自国だけに限られた心の狭い感情の上に立つものであるから、他国との付き合いにおいては、嫉妬や敵意をひき起こすものである。我々の愛国心はもっと幅広く、かつ高貴なものであるべきで、他の人々の主張に、公平さと理性を認めるべきものである。そうすることで、自国は世界の他の国々の仲間となり、また他国を承認することになるのである。

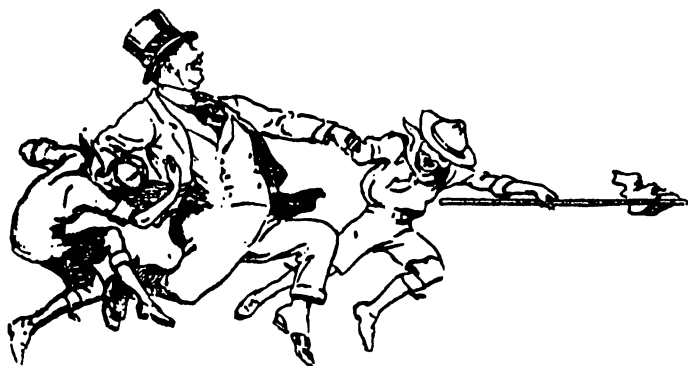
SYM, 12-13頁 GS訳76頁に後半部分(RTS, 164頁 邦訳249頁とJamboree, 1933.4.7に同趣旨のものが)

スカウティングの目的の項も参照のこと

結び

635 種を蒔いた我々のほとんどは、自然の成り行きとして、その収穫を見ることはないであろう。しかし、我々の作物がすでに、とても立派に育ったことは感謝しているし、非常に嬉しいことである。

TS, 1940.4 (BPO, 179頁に再録)



創始者の祈り¹

636 我ら全ての父よ。

我らは、今日ここであなたの御前に集まりました。我々は様々な土地から集まり、様々な人種を代表しています。しかし、聖なる父たるあなたの下では、我々は兄弟です。

あなたが、我々に与えてくれた多くの御恵みと我々の運動があなたの御目に認められて栄えていることへ感謝と喜びの念を持って我々はあなたの御前にいます。我々が他の人に奉仕し、役に立ってゆくことをささやかな感謝の捧げ物としてあなたの御前に捧げます。

ここに集う者皆があなたの御心によって、幅広い視野とこれから起こる全ての事と、私たちに与えられる機会を見逃すことのない優れた洞察力を与えられますように。

それによって、我々が人間の理想と力をより高めるという使命を強い信念で果たしてゆくことができ、そして、更なる理解をもって助け合い、この世を平和と善意に支配された幸せなものにして行けますように。

父よ、我らはここにいます。

(1) 国際的な行事に使うために創始者が書いたもの (編注)

訳注；最後の一行は、初版にはあったが、増補版では落ちている。

付 録

よりよく知るために

☆ 世界の総長 ☆

1920年、ロンドンのオリンピックで開催された第1回世界ジャンボリーの閉会式で、一部の参加スカウトが次のように叫んだ。

We, the Scouts of the world salute you.

Sir Robert Baden-Powell Chief Scout of the World!

このChief Scout of the World という一少年の呼かけによって、ベーデン・パウエルを「世界の総長」に推戴するというスカウト史上特筆すべきハプニングがおこった。

☆ ビーピー ☆ B.P

ボーイスカウト創始者、ベーデン・パウエルを略してこのように呼ぶことがある。正式な名前は Robert Stephenson Smyth Baden-Powell

☆ Baden-Powellの発音について ☆

日本語での表記は「ベーデン・ポエル」と表記した書物もあったが、昭和35年「ベーデン・パウエル」にしようということが、日本連盟で定められ統一されている。

さて、Baden-Powellの発音であるが、このことはベーデン・パウエル自身が次のように書いている。

Man, Nation, Maiden. Please, call it Baden.

Futher, for Powell. Rhyme it with Noel

(The Scoutmasters Guide from AtoZ)

Man, Nationのaのようにエの発音でBadenをMaidenのように発音してください。

さらにPowellについてはNoelの発音がもつと同じ韻（イン）を含むこと。ベーデン・パウエルは Maiden Noelのような感じで発音するのが一番正しいと彼は言っている。

☆ レディ・ベーデン・パウエル ☆

レディ B-P。オレーブ・レディ・ベーデン・パウエル。フルネームは、オレーブ・セント・クレア・ソームズ (Olav St. Clair Soams) 1889年 (明治22年) 2月22日生まれ。

B-Pが夢の中で、聖ペトロの啓示で日本訪問を決意し、アメリカ訪問の後、日本を訪問すべく、1912年1月3日、客船アルカディアン号に乗った。オレーブは父と共に、西インド諸島を巡航するため、このアルカディアン号に乗っていた。B-Pは、船上でミス・オレーブ・ソームズを紹介され、一目で好意を持った。そして、二人とも2月22日の誕生日であることも奇縁として毎日甲板で明けても暮れても語り尽くした。1912年10月30日に二人は結婚式をあげた。

B-Pは55才、オレーブ・ソームズは23才であった。

その後、ガールスカウトのワールドチーフガイドとなり、1964年には日本を訪問した。

☆ キム ☆ Kim

イギリスの文豪 ラジャード・キップリングの書いた物語。

キップリングは、この本で1907年にノーベル文学賞を受賞している。キム (Kimball O'Hara) は、インドに駐留していたアイルランド連隊軍曹の息子で、彼が小さいときに父母に死に別れ、叔母の世話になっていた。遊び仲間がみんな土地の少年だったので、かれはインドの言葉を覚え、その地方の風習習慣をよく知ることになった。彼は冒険好きであった。しばらくして、キムは、政府の情報部員で宝石商のラーガンという人と知り合った。ラーガンは、キムが土地の風俗習慣をよく知っており、機敏なのに目をつけ、役にたつ情報部員にできると考えた。ラーガンは、キムにいろいろな宝石を1分間見せて、布でおおい、どのような宝石が何個あったかをテストした。何回かの訓練の後、キムは大切な注意力と記憶力の技能を身につけた。

このキムの話から、ボーイスカウトの訓練で行う「キムス・ゲーム」のアイデアが生まれた。キムは、その後、いろいろな訓練を受け、立派な情報部員となり、ある時は「こじき」に変装したりして大きな手柄をたてた。

☆ スカウト ☆ Scout

ボーイスカウト運動の青少年加盟員。当初、ボーイスカウトだけであったものが、ビーバー・カブ・シニアー・ローバーと部門が増えたことから、全体を総称するのにスカウトが使われる。また、指導者を含め、運動全体を示すのに「スカウト運動」と言う。

本来の意味は「斥候」

「斥候」とは軍隊用語で、スパイとは異なり、自軍の陣地前面の敵陣に潜入し、敵軍の状況を偵察して来ることを意味する。斥候は他人からの情報を得るのではなく、自らの目を見て、耳で聞き、正しい判断を下すことが必要であり、冷静な判断と勇気と機敏な行動が要求される。ボーイスカウトはこのような技能を身につけた平和のための斥候である。

☆ カビング ☆ Cubbing

カブスカウト活動のこと。B-Pは、ボーイスカウト年齢以下の少年の達のために作った部門や少年をウルフカブと呼んだ。日本では年少部という時代もあったが、戦後の昭和26年アメリカのカブスカウトに準拠することになった。

☆ アケイラ ☆ Akela

ベーデン・パウエルがジャングルブックを背景としてウルフカブを始めたとき、カブ隊長をアケイラと呼んだ。いまでもカブ隊長のことをアケイラという国がある。アケイラとはインド語で「ひとりだけ」という意味でジャングルブックに登場するおおかみたちの頭領（Bosswolf）

☆ インダバ ☆ Indaba

原義は、アフリカのズール族の部族の代表の酋長らの最高会議のことで、ベーデン・パウエルが、ボーイスカウトの指導者たちの会合を「インダバ」と呼ぶようになった。

第1回世界インダバは1952年イギリスのギルウェルパーク、第2回世界インダバは1957年に開催されたが、それ以後は開催されていない。

☆ ジャンボリー ☆ Jamboree

国内的、国際的及び世界的なボーイスカウトの野営大会のこと。

もともとは、アメリカの日常の言葉で、底抜けの騒ぎ、騒がしい会合、陽気な宴会などを意味する。ベーデン・パウエルはアメリカ旅行中にこの言葉を耳にし、響きよいから、ボーイスカウトの大会に使おうと決めた。彼は、世界のスカウトが一堂に会して、スカウトの心の中に燃え上がる兄弟愛を通して、新しい世界的運動を展開していくことを考え、その名称を、従来のエキシビジョンとか、ラリーなどという言葉を用いずに、この「ジャンボリー」を採用した。それは、少年たちの歓喜に満ちた、元気はつらつな集まりということになる。

ヴィジル ☆ Vigil

（徹夜で祈る）祝日の前夜、夜の勤行。イギリスにローバースカウトが存在していたときには、正式にローバースカウトに叙任直前に決心する神聖な時間およびそのプログラム。

（自己を見つめ、今後どういう生き方をしようかと自問することである）

〈ヴィジルのねらいとするところは〉

- ・自分は人生において何をしようとするのか
- ・成人として「ちかい」の意味を十分に理解したか、そして叙任されるのに十分な準備が整ったか考えるためである。

〈セルフイグザミネーション〉

- ・自分の過ごしてきたことを振り返り、将来の可能性を考え、神への奉仕を無言のうちに言い、仲間に尽くすことを確認することである

B-Pの足跡索引

はじめに	篠田 常生
記者から	於保 信義
序 文	E.W.グラットストーン
本書の紹介	ラズロ・ナジ
編者のノート	マリオ・シカ
引用文献の略語	
B-P ことば	636の引用句
付 録	よりよく知るために
索 引	

ア	引用文番号
愛国心	326-327
愛と恐怖または憎しみ	264-267
遊び	377-378
歩くこと	612
一級スカウト (ガイド)	157-158
祈り	400-403
飲酒	117-119
絵を描くこと	115-116
演劇	379-384
お金	281-288
贈り物	165-166
男らしさ	272
お話	583
女の子たち	168-173
カ	
神	174-178
観察と推理	308-317
寛容	594
カビン	93- 97
ガイディング	189-192
聞くこと	255-256
危険	442
騎士道	75
喫煙	559-563
救急法	156
休養	440-441
教育と教授	137-145
教育の重要性	130-131
教育の成功	135-136
共学	83
協力	85- 87
規律	105-112
技能章	404-408
キャンプ	29- 46

	引用文番号		引用文番号
キリストの規範	76-77	11番目のおきて	148
ギルウェル訓練	167	常識	84
組長の役割	557	上進	179-180
軍事訓練	276-280	自立	528-531
計画	374-376	人生	244-254
継続する教育	318	ジャンボリー	230-234
結婚	273-275	水泳	590-591
ゲーム	162-164	スカウターの役割	473-485
ゲームをする	385-390	スカウティングとガイディング	509-511
幸運	268-271	スカウティングの人生における価値	506-508
好奇心	98	スカウティングの精神	571-575
肯定的教育と否定的教育	132-134	スカウティングの定義	497-505
幸福	195-209	スカウティングの目的	486-496
心の独立	216-224	スカウト運動	460-472
個人教育	354-357	スカウト訓練法	455-456
個人と地域社会	225-226	スカウト訓練法の継続	457-459
困難	99-104	スカウト／ガイドのおきて	447-452
サ		スカウト／ガイドのちかい	453-454
最善をつくす	113-114	スカウト／ガイドのモットー	512-518
裁縫	549	スパルタ教育	565
仕事	615-621	スポーツ	576
自然	294-307	スポーツマン精神	577-582
市民性	78	性	550-553
宗教	411-431	性格	47- 55
趣味	211-212	清潔	79- 82
障害児スカウティング	193-194	成功	587-589
少年の力	25	精神	566-570
少年の本質	15- 24	政治	394
進歩	409	世界兄弟愛	622-630
辛抱	322-325	世界兄弟愛と愛国心	631-634
時間厳守	410	責任	434-439
自制心	519-524	戦争	613-614
自尊心	532-533		
実行によって学ぶ	240-243		
実例による訓練	149-154		

	引用文番号		引用文番号
善意	188	冒険	1- 2
善行	181-187	マ	
創意工夫	432-433	名声	155
率先	227-229	名誉の観念	213-215
率直さ	584-586	元スカウトとガイド	159
俗物	564	ヤ	
タ		野心	3
退団	259-260	勇気	88- 91
隊・パックの大きさ	558	友情	160-161
地域的条件	257-258	有能	146-147
沈黙	554-556	ユニフォーム	599-606
チップ	592-593	ユーモアの精神	534-536
追跡	595	陽気さ	56- 74
つとめ	120-126	より恵まれない少年	395-399
天国	210	ラ	
できの悪い少年	4- 8	利己主義	525-527
登山	291-293	両親	319-321
動物への愛情	261-263	旅行	596-598
ナ		リーダーシップ	235-239
肉体的健康	358-365	礼儀正しさ	92
肉体的健康へのヒント	366-373	ローバーリング	443-446
能動的教育と受動的教育	127-129	ワ	
ハ		悪い習慣	9
母親	289-290		
班制度	333-340	結び	635
班長たち	328-332	創始者の祈り	636
バランスの練習	10		
広い心	26- 28		
美	11- 12		
ビジョン	607-611		
不屈の精神	346-353		
プレイヤーと見物人	391-393		
平和教育	341-345		
奉仕	537-548		
本	13- 14		

京都連盟 指導者研修資料
たどってみよう B-P の足跡

1996年 5 月26日発行

原 書 Footsteps of the Founder
Lord Baden Powell
原書編者 MARIO SICA

訳 者 於 保 信 義 (おほ のぶよし)

発 行 日本ボーイスカウト京都連盟
〒601 京都市南区新町通九条下ル
京都府民総合交流プラザ3階
電話 (075) 662-8801
FAX (075) 662-8803
編 集 日本ボーイスカウト京都連盟創立80周年
記念事業特別委員会第4事業部会
製 作 エンドー京都
〒602 京都市上京区烏丸寺之内上ル
電話 (075) 431-0291
印刷・製本 (株)遠藤写真工芸所

たどつてみよう
BIPの足跡



Footsteps of the Founder

Lord Baden Powell

日本
ボーイスカウト
京都連盟